

九州医療科学大学 学修行動・学生生活に関するアンケート結果 報告書

令和6年度(2024年度)まとめ

教育イノベーション委員会

1. はじめに

本学では平成28年度(2016年度)より、「学生生活並びに事務部門アンケート」として、全学の学生を対象に、毎年、調査を実施してきた。調査の目的は、学生生活及び、それに関わる大学事務部門の実態を把握し、学生生活に対する大学側の支援の更なる充実や改善を図るための基礎資料を得ることであった。

令和5年度(2023年度)より、教育イノベーションの観点から、学生の学修行動を把握した上で、その行動をより好ましく改善していく必要があることを踏まえ、従来の「学生生活並びに事務部門アンケート」に「学修行動」調査も含める形とし、新たに「学修行動・学生生活に関するアンケート」(※以下「アンケート」と表記する。)としてリニューアルが図られることになった。「アンケート」は、「学修行動」調査、「学生生活」調査、「自由記述」の3部構成となっている。

「学修行動」調査は、学生自らの学修行動を振り返ってもらい、それに基づいて大学や学科のレベルで必要となる教育的な支援につなげることを企図している。また、「学生生活」調査についても、学生生活が学修行動を支える土台となっていることから、その調査結果を教学マネジメントに活用していくことを企図している。「学修行動」調査、「学生生活」調査での回答は、複数の選択肢から選択できる方式としている。「自由記述」では、大学の改善点や要望を自由に記載できる方式としている。

令和6年度(2024年度)の「アンケート」について、実施方法と全体および学科単位での集計結果を以下に示す。この結果を踏まえて、大学や学科での教育的支援のあり方を検討した。

2. アンケート実施方法

アンケートの内容と配付・回収：アンケートの設問(別紙1)は「学修行動について」に関する項目(結果の図Ⅰ-1~10)、「学生生活について」に関する項目(結果の図Ⅱ-1~10)の2項目と自由記述である。回答は選択肢から1つまたは複数選ぶ形式及び「自由記述」の欄があり、大学生活の中で相談したいことや要望、大学に対して改善してほしいことや提案等があれば記入することになっている。

※アンケート設問(別紙1)

実施時期については、9月~10月に本学学習支援システムユニバーサルパスポート(本学WEB学習支援システム)において、学生自身がWEB上で回答した。

アンケート対象学生数：(913名中 回答者507名 回答率55.5%)

令和6年度(2024年度)のアンケートの対象となった学生数を下記※表1にまとめた。

学科	学年	回答者数	無回答者数	合計	回答率	備考
スポ	1年	44	19	63	70%	
	2年	17	14	31	55%	
	3年	11	23	34	32%	
	4年	13	16	29	45%	
	計	85	72	157	54%	
臨床	2年	7	12	19	37%	
	3年	8	21	29	28%	
	4年	5	17	22	23%	
	計	20	50	70	29%	
動物	1年	16	6	22	73%	
	2年	8	15	23	35%	
	3年	8	16	24	33%	
	4年	5	10	15	33%	
	計	37	47	84	44%	
生命	1年	25	5	30	83%	
	2年	31	16	47	66%	
	3年	28	19	47	60%	
	4年	32	22	54	59%	
	計	116	62	178	65%	
心理	1年	12	6	18	67%	
	2年	7	15	22	32%	
	3年	7	24	31	23%	
	4年	11	27	38	29%	
	計	37	72	109	34%	
薬	1年	34	8	42	81%	
	2年	34	14	48	71%	
	3年	26	10	36	72%	
	4年	45	10	55	82%	
	5年	26	30	56	46%	
	6年	47	31	78	60%	
	計	212	103	315	67%	
大学全体	合計	507	406	913	55.5%	

※表1

アンケート集計・解析方法とフィードバック：

各学科の学年単位で回答の割合を図示した。令和6年度のアンケート回答率は全体で55.5%となった。オンラインでのアンケートで学生の自由なタイミングでの回答を求め、多くの学生から意見を集約することができたが、一部の学科では改善が必要である。来年度も引き続きアンケート実施計画を学生に配付し、事前周知を行うことで、回答率のさらなる向上を図っていく。

集計されたカテゴリーデータについては、薬学科（6年制学科）と薬学科以外の大学全体（4年制学科群）に分け、さらに学科ごとの全体集計結果と学年別集計結果に分け、グラフとして纏めた。グラフは、1）質問別の各選択肢の度数分布、2）質問別の各選択肢の相対度数分布、の2種類を作成した。集計された自由記述データについては、回答内容別に関係する学科・部署別に振り分け、表として纏めた。前年度より全学レベルや各学科・部署レベルで纏められた集計結果を共有して検証できる体制としているが、今後も改善すべき点をタイムリーにあぶり出して対策を講じていくことで、学生のより好ましい学修行動・学生生活に結び付けていく必要がある。

※「薬学科（6年制学科）」以下「6年制学科」と表記する。

※「薬学科以外の大学全体（4年制学科群）」以下「4年制学科」と表記する。

3. アンケート結果

アンケート結果については、アンケート内容である「学修行動について」、「学生生活について」、各学科学年単位での回答割合を図で示した。

全学的アンケート結果（913名中 回答者507名 回答率55.5%）

「学修行動について」（図I-1～10）

・学修時間（設問I-1, 2）

6年制学科（薬学科）及び生命医科学科では30～60分程度の学修時間を1年次から3年次まで維持していた。その他の4年制学科では1年次から2年次に向かい、学修時間が減少していく傾向にあった。一方、全学的に中学年から最高学年に向かっては、学修時間が増加していく傾向にあった。中学年での中だるみの状況は、前年度より若干改善されているように見受けられた。

大学全体での学修時間の最頻値は、前年度と同様の結果であるが、「30～60分未満」であった。そして最高学年の学修時間の最頻値だけが「120分以上」であった。概して、学修時間が十分に確保されているとは言えない結果であった。

・学修内容（設問I-3, 4）

6年制学科では1年次から4年次まで、4年制学科では1年次から3年次まで、「授業の予習・復習（専門科目）」を最優先した学修内容となっていた。一方で、中学年から最高学年まででは、全学的な傾向として、「授業の予習・復習（専門科目）」から「国家試験や資格試験の勉強」へと学修内容がシフトしていた。この結果は前年度と同様であった。

・学修環境（設問I-5, 6）

学修場所としては、全学的に学科の別なく、「自宅・下宿」が約40%を占めて最多となっていた。学内では「図書館」、「教室」、「食堂・カメリア」がそれぞれ10～20%程度ずつ占めていた。一方、「ラーニングcommons（図書館2階）」と「ラーニングサポートセンター（英語村）」は、合わせて4%程度であり、学修場所としての活用度は相対的に低かった。この結果も前年度と同様であった。

学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）をよく使用している群（「大いに使用している」群、「ときどき使用している」群の合計）は、6年制学科では83%、4年制学科群では68%であった。デジタルツールの使用頻度は、学年間での極端な差はみられなかった。この結果は、デジタル

ツールが、低学年ではすららのリメディアル学習で、高学年では国家試験や資格試験の対策用の教材やオンライン授業の受講等で、また学年によらず日常の勉強などで、広く使用されている状況を示していると考えられた。

・学修形態（設問Ⅰ-7,8）

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」、又は「同級生（友人に聞く）」がいずれも約35～38%を占めて最多となっていた。「教員に聞く」は約17～19%に留まっていたため、前年度と同様、「教員に聞く」ことに対して敷居が高いと感じている学生が相当数存在する可能性がある。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関しては、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて約56～60%、「いつも一人で勉強している」と「ほとんど一人で勉強している」を合わせて約40～44%であった。また「ときどき他の学生と勉強している」がいずれの学科においても最も多かった。この結果も前年度と同様であった。

・学修意欲（設問Ⅰ-9,10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「非常に合っている」と「比較的合っている」を合わせて約81～84%であった。しかしながら、前年度と同様であるが、「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて約16～19%を占めていたことは看過できない。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」を合わせて約26～32%であったことから、学科・コースの学びが自分の興味・関心に「合っていない」又は「あまり合っていない」と回答した約16～19%の学生などは特に、意欲的に学修できていない可能性がある。これらの回答を行った学生には、学修意欲を沸かせるような対応が必要と思われる。

・学修行動 全学考察

全体として、昨今の「国家試験や資格試験の勉強」では、デジタルツールを用いた弱点の発見や強化が欠かせないことから、学年間であまり偏りなく、前年度と極端な差はないものの、デジタルツールを使用した学修行動が定着しつつある状況が読み取れる。

学生が一人で勉強するのか、他の学生と勉強するのかは、特に一方に偏った結果とはならなかった。分からないことがあった時の解決法では、「自分で調べる」、又は「同級生（友人に聞く）」が最も多かった。もし「教員に聞く」ことは敷居が高いと学生に思われているようであれば、教員はこれからも継続して学生を温かく受け入れる雰囲気をもっと積極的に作り出していかなければならないだろう。

学生の勉強場所としては、今年度も「自宅・下宿」、「図書館」、「教室」、「食堂・カメラ」が主であり、「ラーニングサポートセンター（英語村）」の活用度が相対的にかなり低かった。センターの活用度を高めるような改革も工夫が必要であろう。特に留学生にとっては、日本人学生との交流を深められることでセンターが居場所となれば、学修意欲が湧いてくるということはある。

学修意欲が低いという学生は約16～19%を占めることが示された。これらの学生は、留年、転学科、退学などに至るリスクを孕んでいるため、学修意欲を沸かせるように大学全体で継続的に対応していくことが必要と考えられる。

「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

全体では68.4%（前回78.1% 以下同様）が活動をしておらず、『週に1～3回』が24.9%（13.1%）であり、前回調査に比べてやや参加頻度が高くなっていた。

学年別にみると、1年生は『週に1～3回』の比率が51.0%（20.5%）で他の学年より高い。4年生は『全くしていない』の比率が83.3%（87.7%）で学年のなかでは最も高い一方で、『毎日』の比率も3.0%（3.5%）で1年生と同程度で高く、いずれも前回調査と同様の傾向であった。

・アルバイト（設問Ⅱ-2）

全体では『全くしていない』が 44.6% (38.5%)、『週に 1～3 回』が 38.5% (35.0%)、『週 4～6 回』が 13.2% (22.6%) であった。前回調査に比べて、アルバイトの頻度が低くなっていた。

学年別にみると、1～3 年生は『週 1～3 回』の比率が 45%前後であるのに対して、4 年生は『全くしていない』の比率が 51.5% (50.0%) で、他学年に比べて比率が高かった。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

授業のある日は『5～6 時間』が 65.9% (65.7%) であるのに対して、授業のない日は『7～8 時間』が 53.0% であった。授業のある日では睡眠時間が 5 時間未満の比率が 12.9% (11.2%) であり、授業のない日は 5.2% であった。

学年別でみると前回調査では、授業のある日では『3 時間未満』が 4 年生において高い比率 (5.3%) であったが、今回の調査では 2 年生が 4.3% で他の学年よりも高かった。また、授業のない日も同様に、2 年生で『3 時間未満』が 2.9% で他の学年よりも高かった。

・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

授業のある日は『3～4 時間』が 43.2% (46.0%)、『1～2 時間』が 40.0% (31.7%) であり、授業のない日は『5 時間以上』が 59.1% (69.0%) であった。

学年別にみると、授業のある日では 2 年生において『ない』が 4.3% で比率が高く、授業のない日では 1 年生において『ない』が 3.1% で他の学年よりも比率が高かった。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全体では『時々ある』が 58.2% (56.3%)、『毎日ある』が 37.2% (38.7%) であり、おおむねリラックスする時間が確保されていた。

学年別でみると、3 年生で『ない』の比率が 6.5% と他の学年よりも高かった。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全体では『参加していない』が 76.9% (69.7%) でもっとも比率が高く、次いで『年に 1～2 回』は 14.2% (16.9%) であり、前回調査よりも活動する者の比率が高くなっていた。

学年別にみると、1 年生では『月に 1～2 回』が 12.4% (12.8%) で他の学部よりも比率が高く、3 年生では『年に 1～2 回』が 33.9% (24.0%) で高かった。前回調査では 4 年生の『参加していない』の比率 (80.7%) が他の学年よりも高かったが、今回は 1 年生が 76.3% で最も高くなっていた。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全体では『感じていない』が 36.3% (40.9%)、『あまり感じていない』が 38.3% (36.0%) であった。学年別にみると、2・3 年生で『感じている』が 15% 程度、『大いに感じている』がそれぞれ 8.6%、5.0% で他の学年に比べて高くなっていた 4 年生は 12.1% (23.2%) で低学年に比べて低かった。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

全体では『保護者や家族』が 59.7% (59.2%)、『学内の友人』が 59.5% (60.0%)、『学外の友人等』が 32.7% (41.8%) と比率が高く、前回調査と同様の傾向であった。

学年別にみると、1 年生では『学外の友人等』が 43.8% と比率が高いのに対して、2・3 年生は『学外の友人等』とともに『チューター教員』が 17.1% と 16.7% と高くなっており、4 年生になると『チューター教員』が 37.9 と比率が高くなっていた。

・学生生活 全学考察

部活動・サークル活動は全体では、前回調査に比べて所属する比率が高くなっていた。なかで 1 年生の活動比率が高く、これは今年度から社会福祉学部スポーツ健康福祉学科に新しく救急救命コースが開設されたことに伴い、高校時代にスポーツ等のクラブに所属していたものが入学し、大学でも活動に参加していると推察される。

アルバイトは全体では、前回調査同様、約 6 割がおこなっているが、国家試験受験予定者が多く在籍する本学の特性から、とくに 4 年生においてアルバイト頻度が減る傾向が読み取れた。2・3 年生において週に 4～6 回程度アルバイトをする学生が 2～3 割程度おり、これらの学生の学業への懸念とともに、4 年次にアルバイトができないことを見越して低学年時に経済的準備をしようとする背景も読み取れる。

ボランティア活動は、全体では約 7 割が参加しておらず。1 年生では月に 1・2 回と他の学年よりも頻度が多いのは、一部の実習要件に大学共通基礎科目の『ボランティア活動』を必須としているためと考えられ、これは前回調査と同様の傾向である。回数は少ないものの 3 年次は 3 割が年に数回ボランティア活動をしており、働きかけによっては活動促進につなげる可能性がある学年といえる。

睡眠時間、自由な時間、ストレス解消の時間の確保は、前回調査と同様、1 割に満たない回答数ではあるが、確保できているとは言えない学生が存在している。また、不安や悩みについても前回と同様、約 2 割が感じており、今回調査においてはとくに 2・3 年生で悩みを抱えている学生の比率が高かった。学年による傾向が前回調査と比べて異なっていることを考えると、これらの項目は学年による特徴ではなく入学した学生の個別性に影響を受ける項目といえ、したがって個別の生活状況の把握や対応が重要であることが示唆される。相談相手としては、前回調査と同様に、低学年においては学外の相談者とのつながりを保つことができているといえるが、入学後、時間の経過とともにそのつながりも薄れてくる。4 年次ではチューターが相談者となっているのが 4 割あり、とくに重要な役割を担うといえる。前回調査の報告と同様、学内教職員は下級学年の学生と積極的にコミュニケーションを図り、高学年になるまでの間に学生と信頼関係を築き、学内で相談しやすい環境づくりが必要である。

「自由記述について」(設問Ⅲ)

『大学に対して要望や改善すべき点などがあれば、ご自由にお書きください。』の設問に回答いただくことで、学生から大学に対する学生の声を募った。

学生からの要望に対し、すべての項目に対応することは難しいが、大切な意見を真摯に受け止め、大学として可能な対応を優先的に行うことで、大学のクオリティを維持できるものと考えている。

《今年度の具体的な対応》

Wi-Fi 環境の改善要請 (5 件) については、脆弱との要請があった箇所の環境調査を実施し、昨年度 1 月末までに無線 LAN ルーターを増設し、範囲の拡大と安定した通信環境の改善を行った。

学食・売店に対しての要望 (土日営業及び営業時間帯の拡大) <9 件>については、集中講義が実施される土曜日のみラウンジエリア (学生ホール) において軽食販売を試験的に行ってみたが、利用率が低く、継続的な実施には至らなかった。今後も状況を見ながら、引き続き検討していく予定である。

駐車場の環境整備 (8 件) については、引き続き協議を重ねながら環境整備に努めていく。

その他、エントランスへのゴミ箱設置、グラウンド芝の定期的なメンテナンスを実施するなど、対応可能な改善については適宜実施した。

総合的に見ると、学生から寄せられた改善点や要望の中には、大学からの情報発信が不十分であったことが要因と考えられるものも見受けられた。また、大学の各種取り組みに対するフィードバックの不十分さが認められるため、今後は学生の意見を踏まえた改善計画に努め、得られた意見や要望を適切に回答することで学生の満足度向上に繋げたい。

各学科においても改善できる点を検討しているが、現時点では対応を協議している段階である。

スポーツ健康福祉学科アンケート結果（157 名中 回答者 85 名 回答率 54%）

「学修行動について」（図 I-1～10）

・学修時間（設問 I-1, 2）

1 年次から 2 年次に向かい学修時間が減少し、3 年次から 4 年次へと学修時間が増加していく傾向がみられた。授業のある日の学習時間は、1・2 年次に『0 分』の学生が 2 割程度確認されたが、3 年次以降その割合は 1 割程度に減少した。授業がない日の学習時間は、『0 分』の回答が最も多いのは 2 年次、1 年次の順で、4 年次では観察されなかった。学修時間の最頻値は授業がある日は『30～60 分未満』、授業がない日は『30～60 分未満』であった。

・学修内容（設問 I-3, 4）

1 年次から 2 年次まで、『授業の予習・復習（専門科目）』を最優先した学修内容となっていた。3 年次より『国家試験や資格試験の勉強』と『卒業研究』の項目がみられるようになっていた。3 年次から始まる卒業研究やゼミの内容が学修内容に反映される形となった。また 4 年次では資格試験、卒業研究、就職試験の対策など卒業や将来に向けた学修内容の増加が確認された。『ほとんど勉強しない』と回答した割合は学年が上がるに従い減少傾向を示した。

・学修環境（設問 I-5, 6）

学修場所としては、『自宅・下宿』が最も多く、次いで『図書館』、『食堂・カメラア』の順だった。1 年時には『自宅・下宿』が半数以上と最も割合が高かった。2 年次では『自宅・下宿』の割合は減少し、『食堂・カメラア』を活用する学生が増加した。3 年次になっても『自宅・下宿』の割合は高いが、『食堂・カメラア』の活用はやや減少し、『図書館』の活用が増加した。4 年次においては、『自宅・下宿』の減少と『大学図書館』の増加により、これら 2 項目の割合が同程度となっていた。加えて、これまで割合の少なかった『教室・演習室』の割合が増加した。『ラーニングコモンズ』（0%）、『英語村』（2%）はほとんど活用されていなかった。

学科全体で見ると、学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使用している割合（『大いに使用している』、『ときどき使用している』の合計）は 55%であり、いずれの学年次においても半数以上の学生がデジタルツールを活用している。『ほとんど使用していない』と回答した学生の割合が最も多かったのは 2 年次で、4 割の学生がデジタルツールを活用せずに学習に取り組んでいた。

・学修形態（設問 I-7, 8）

分からないことがあった時の解決法は、『同級生（友人に聞く）』が 39%、『自分で調べる』が 29% を占めた。『教員に聞く』は 18%で大学全体と比較して低い数値ではなかったものの、『教員に聞く』よりも自分で調べたり同級生に頼ったりする傾向がみられた。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関しては、『ときどき他の学生と一緒に勉強している』が 45%と最も高い割合を示した。『いつも一人で勉強している』、『ほとんど一人で勉強している』を併せた割合は 39%で、大学全体（40%）と比較して同程度の割合を示した。

・学修意欲（設問 I-9, 10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、『非常に合っている』と『比較的合っている』を合わせて 81%あり、概ね学生の興味関心と学びが一致していた。また『合っていない』、『あまり合っていない』との回答が、1 年次から 3 年次を通して各学年に約 20%あった。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、『取り組んでいない』が 6%、『あまり取り組んでいない』が 35%で、41%の学生が学習に取り組めていない状況がうかがえた。設問 9 の興味・関心に合っていないと回答した 19%を上回っている。『取り組んでいない』、『あまり取り組んでいない』を併せた割合が、1 年次には 40%未満であったが、学年が上がるにつれ微増しているという傾向も観察された。

・学修行動 考察

本年度のアンケート回収率は54%となり、昨年度19%を大きく上回ることができた。3年次、4年次の回収率が悪く、3年次が最も低かった。スポーツ健康福祉学科の学習行動を把握するためにも引き続きアンケートの回収率を上げる必要性が感じられた。

本学科において1～3年次における学習時間の中心は『授業の予習・復習（専門科目）』であり、3年、4年と学年が上がるに従い『卒業研究』や『資格試験』に移行していく傾向がみられた。『ほとんど勉強しない』と回答した割合は学年が上がるに従い減少傾向を示しているものの、学習時間で見ると学科全体の最頻値は授業のある日は『30-60分未満』が40%、『30分未満』が34%、授業のない日は『30分未満』が36%、『30-60分未満』が32%となり、学習時間は十分であるとは言えず、学習時間の確保が昨年度から引き続きの課題である。特に、学習時間が減少する2年次にどのように学習時間を確保し学習習慣を身につけるかが課題であると思われた。

学修場所としては、『自宅・下宿』が最も多く、次いで『図書館』、『食堂・カメラア』の順だった。1、2年次では『食堂・カメラア』が活用されているが、3年次以降は『図書館』、『教室』の活用にシフトしているようである。授業時間以外には一人で学習する（『いつも一人』、『ほとんど一人』、『ときどき他学生と』）割合が多いのは、『自宅・下宿』で学習に取り組む割合が高いことが関係していると考えられる。3、4年次では学習内容の高度化、資格試験対策など集中して学習に取り組まなければならない、静穏な環境が好まれていると予想される。こういった大学内の学習環境の整備も重要と考えられた。

わからないことがあった時の解決法では、『自分で調べる』、または『同級生（友人に聞く）』が最も多かった。デジタルツールの活用も学生の半数以上にみられた。学修に関する問題を学生の力で解決に取り組んでいるものと想像される。教員は学生自らが知り得た内容が正しいものか、適切に判断・評価する必要があると考えられた。

学習意欲について、概ね学生の興味関心と学びが一致していた。スポーツ健康福祉学科は様々な資格取得を目指せることから、学びと興味・関心が一致しやすいと考えられる。しかしながら、16%の学生が『合っていない』、『あまり合っていない』と回答した。特に一年次で『合っていない』の回答が多い。臨床福祉学科と合併後のスポーツ健康福祉学科では2年次にコース決定が行われるため、学生の意思を十分確認したうえでコース決定を行うよう指導が必要になると考えられた。

積極的に学修に取り組んでいるかに関して、41%の学生が学習に取り組めていなかった。設問9の興味・関心に合っていないと回答した19%を上回っている。興味関心を持っているのに学修に取り組めていない学生がいる現状は改善の必要があり、学生個々の状況を教員側が把握し、学習に取り組めていない原因を明らかにする必要があると考えられた。

「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

部活動・サークルへの参加頻度は高く、『毎日』(6%)、『週4～6回』(22%)、『週1～3回』(40%)を合わせると68%の学生が部活動やサークルに参加している。これは他学科と比べても高い割合で、スポーツ健康福祉学科の学生が部活動やサークル活動に積極的であることがうかがえる。

・アルバイト(設問Ⅱ-2)

全くしていないは17%で、他学科と比較しても最も低い割合となった。『週に1～3回』が48%、『週4～6回』が34%であった。回答した学生のうち82%の学生が何らかのアルバイトを行っていた。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

授業のある日は『5～6 時間』が 71%、『7～8 時間』が 19%、『9 時間以上』が 1%で、少なくとも 5 時間以上の睡眠がとれている割合が 91%を占め、昨年度より高い割合を示した。授業のない日では『7～8 時間』が 45%で最も割合が高く、『5～6 時間以上』が 43%、『9 時間以上』が 7%であった。7～8 時間、9 時間以上の割合が、授業のある日より増加した。

・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

授業のある日は『3～4 時間』が 53%で最も割合が高く、次いで『1～2 時間』が 38%であった。最も割合が低いのは『5 時間以上』で 9%であった。授業のない日は『5 時間以上』が 50%で最も高く、『1～2 時間』が 14%、『3～4 時間』が 35%であった。

学年別にみると、授業のある日では、1 年次では『3～4 時間』が最も多かった。2～3 年次では『3～4 時間』は減少し『1～2 時間』と回答する割合が増加した。4 年次では『3～4 時間』が増加し、『1～2 時間』をわずかに上回る結果となった。自由な時間が『ない』と答えた学生の割合は全体の 1%にとどまった。授業のない日では、すべての学年で『5 時間以上』の回答が確認され、最も割合が高かったのは 1 年次（約 6 割）、次いで 3 年次（5 割強）であった。自由な時間が『ない』と答えた学生の割合は、授業のある日と同様、全体の 1%にとどまった。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全体では『時々ある』が 56%、『毎日ある』が 40%、『ない』が 4%であった。ストレス解消の時間に関しては、96%の学生がストレス解消・リラクスの時間を持っており、何らかのストレス解消手段をほとんどの学生が有していることが観察された。学年別でみると『ない』と回答した学生は 1 年次、2 年次、4 年次で確認された。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全体では『参加していない』が 65%で最も高く、次いで『年に 1～2 回』が 14%、『月に 1～2 回』が 13%と続いた。学年別にみると、『参加していない』の割合が最も高いのは 2 年次、最も低いのは 3 年次であった。人数は少ないながらも、すべての学年でボランティア活動に参加する学生がいることが確認された。ボランティア活動に参加する学生は学科全体的に見ても割合が低く、参加している学生の参加頻度を見ると、学年が上がるに従い参加頻度も低下する傾向がみられた。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全体では『感じていない』が 47%、『あまり感じていない』が 43%であった。『感じている』、『大いに感じている』の割合は 10%であった。昨年は『感じていない』、『あまり感じていない』を合わせて 77%であり、学生生活に不安や悩みを感じている学生の割合は減少した。

学年別にみると、『感じている』、『大いに感じている』と回答した学生が 1・2 年次で確認された。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

全体では『学内の友人』が 36%と最も割合が高く、『保護者や家族』が 31%、『学外の友人等』が 21%の順に割合が高かった。『教員』や『事務窓口』といった大学教職員への相談は合わせて 9%に留まった。

・学生生活 考察

部活動・サークルへの参加頻度は高かった。昨年度の部活動・サークルへの参加割合は 66%であったが、本年度は 69%と微増を示した。高校時代に部活動をしていた学生が多く在籍していることが、部活動やサークル活動に積極的である一要因であると考えられる。

アルバイトに関しては、『全くしていない』は 17%で他学科と比較しても最も低い割合となった。回答した学生のうち 83%の学生が何らかのアルバイトを行っていた。『週 1～3 回』の 48%が最も割合が高かった。昨年度は『週 4～6 回』の 39%が最高であったことを考慮すると、アルバイトに行

く頻度はやや低下していると考えられた。しかしながら、本年度の『週 4～6 回』は 34%と昨年度に引き続き高い割合を示したことから、勉強時間の確保とアルバイトのバランスが十分に保たれているか注視し、学業に影響を及ぼすようであれば指導の必要があると思われる。

睡眠時間、自由時間とも授業がある日より授業がない日の方が増加する傾向が観察された。昨年度は、他学年と比較し 4 年次の自由時間が多い傾向が観察されたが、本年度は 1 年次の自由時間が他の学年より多くなる傾向がみられた。2、3 年次では専門科目や実習が徐々に増えるため、自由な時間が得られにくいと予想される。4 年次では就職活動や卒業研究、資格試験など様々な活動があるものの、1～3 年次と比較して睡眠時間や自由時間が極端に少ない状況は確認されなかった。4 年次には講義科目数が減る傾向にあり、時間的余裕が生まれやすいのではないかと考えられた。

学生生活で不安や悩みについては 9 割の学生が『感じていない』、『あまり感じていない』と回答しており、昨年度より悩みを感じていない学生の割合が増加した。不安や悩みを『感じている』、『大いに感じている』と回答した学生は 1、2 年次に集中しており、入学後 2 年間は学生の様子を注意深く観察する必要があると考えられた。相談相手は、昨年度に引き続き、学内外の友人、保護者や家族が多くみられた。教職員以外の人に相談する人の割合は昨年 79%から本年度 88%と引き続き高い割合を示した。不安や悩みを抱える学生の割合は少ないが、そのような学生を見逃さずフォローできるようチューター制度がある。教員に気軽に相談できる環境づくりが、引き続き重要であると考えられた。

臨床福祉学科アンケート結果（70 名中 回答者 20 名 回答率 29%）

「学修行動について」（図 I-1～10）

・学修時間（設問 I-1, 2）

学修時間は 60 分未満が、授業のある日・ない日ともに 65%であった。大学全体と比較すると大差はないが、概して、学修時間が十分に確保されているとは言えない結果であった。学習時間が 0 分の学生は授業のある日が 10%、ない日が 15%であった。

・学修内容（設問 I-3, 4）

「授業の予習・復習（専門科目）」と「国家試験や資格取得の勉強」で、授業のある日・ない日ともに 77%であった。大学全体と比較すると大差はなかった。少数ではあるが、国家試験等の勉強を 2 年時より取り組んでいる学生がいた。

・学修環境（設問 I-5, 6）

学修場所としては、「自宅・下宿」が 29%で最も高かった。学内の「図書館」、「教室」、「食堂・カメラリア」で 57%を占めていた。学修場所としての活用度は低いが、「ラーニングサポートセンター（英語村）」2%、「ラーニングコモンズ（図書館 2 階）」2%、公立図書館 4%使用していた。

学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を「大いに使用している」、「ときどき使用している」は 75%で、大学全体（68%）と比較するとデジタルツールの使用頻度は高かった。

・学修形態（設問 I-7, 8）

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」が 32%、「同級生（友人に聞く）」が 30%、「教員に聞く」が 17%の順であった。「そのままにしておく（調べない）」が 4%であった。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関しては、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて 45%、「いつも一人で勉強している」と「ほとんど一人で勉強している」を合わせて 55%であった。大学全体と比較すると、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」が 60%であり、低かった。

・学修意欲（設問Ⅰ-9,10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「非常に合っている」と「比較的合っている」を合わせて65%であった。「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて35%で令和5年度に比べ高くなっている。3.4年生では「合っていない」「あまり合っていない」と答えた学生は減少してきている。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、「大いに取り組んでいる」「取り組んでいる」は70%であった。大学全体と比較すると大差はなかった。

・学修行動 学科学生考察

本学科はアンケートの回収率が低いため、情報量が少ない。今回の集計結果が臨床福祉学科の学修行動を反映しているとは言い難い状況である。そのため、今回の集計結果は参考として考える必要がある。アンケート回収率の向上が今後の課題である。

学修内容では「授業の予習・復習」「国家試験や資格試験の勉強」と大学全体と比較して大差はなかったが、学修時間で60分以上が少なく、十分に確保されていなかった。2年時より国家試験の勉強をしている学生がいるが、入学時より学修する習慣をつける取り組みが必要である。

学生が一人で勉強するのか、他の学生と勉強するのかは、「他の学生と勉強している」が多かった。実習指導や演習・実習等で、日頃より他の学生と関わっていることが関係していると思われる。

学生の勉強場所としては、「自宅・下宿」、「図書館」、「教室」、「食堂・カメラア」が主であった。「ラーニングコモンズ」、「公立図書館」の活用が少なからずあった。ラーニングコモンズの活用方法は入学時に行っている。当学科では、学生指導や専門ゼミで4F.5Fの演習室（教室）を活用している。そこが使い慣れた落ち着ける場所であることが考えられる。学生が一番落ち着ける、学修しやすい場所を見つけることが大切である。

「学科・コースの学びが自分の興味・関心にあっているか」については、3～4年時に「合っていない」と思っている学生は減少してきている。2年時より各実習が始まるため、資格取得後の将来像や自分に合っているのかなど、具体的に体験し考えることができるのではないと思われる。今回のアンケートにはないが、実習後、意欲的に学修に取り組む学生と、資格取得をあきらめる学生が少数いることも事実である。また、当学科は転科生が多い学科である。転科し受験資格の取得や、国家試験に合格する学生と、途中で資格取得をせずに卒業のみを目指す学生が、半々である。資格取得の要件が卒業要件ではないが、資格取得をしない学生への学修支援、就労支援が課題である。

「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

「全くしていない」が90%、「週に1～3回」が10%であった。

大学全体と比較すると「全くしていない」68%であり低かった。

・アルバイト（設問Ⅱ-2）

「全くしていない」が30%、「週に1～3回」が30%、「週4～6回」が40%であった。「週4～6回」が一番多い結果となった。大学全体と比較すると、アルバイトをしている学生の割合は全体的に高い結果となった。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3,4）

授業のある日は「7～8時間」が55%で、授業のない日は40%と最も多かった。睡眠時間が4時間未満の割合は、授業のある日では25%、授業のない日では15%であった。

睡眠時間が4時間未満の割合は、大学全体では、授業のある日は13%、授業のない日は6%であり、低かった。

・自由時間（設問Ⅱ-5,6）

授業のある日は「1～2時間」が40%、「3～4時間」が35%であり、授業のない日は「5時間以上」が75%、「3～4時間」が15%の順であった。大学全体と比較して、授業がない日は「5時間以上」が56%で高かった。自由時間が「ない」はともに0%であった。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

「時々ある」が60%、「毎日ある」が40%、「ない」が0%であった。大学全体と比較すると、「時々ある」が58%、毎日あるが37%とやや高かった。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

「年に1～2回」、「参加していない」がともに35%であった。

大学全体と比較すると、ボランティア参加の割合は、「参加していない」が76.9%であり、ボランティア活動の割合が高い結果となった。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

「感じている」「大いに感じている」が45%であった。大学全体と比較すると、「感じてる」「大いに感じている」が26%であり、不安や悩みを感じている割合が高かった。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

「保護者や家族」が28%、「学内の友人」が24%、「学外の友人等」が15%であった。

「チューター教員」19%は、大学全体と比較すると大学全体が9%であり、割合が高かった。

・学生生活 学科学生考察

本学科はアンケートの回収率が低いため、情報量が少ない。今回の集計結果が臨床福祉学科の学生生活を反映しているとは言い難い。今回の集計結果は参考として考える必要がある。アンケート回収率の向上が今後の課題である。

部活動・サークル活動は90%が所属していない。コロナ禍での活動自粛期に高校時代を過ぎた学生の特徴と思われる。今後、増加することを期待したい。

アルバイトは70%がおこなっている。週4～6回の学生が、大学の中で一番多い結果となった。バイトをする理由の詳細は分からないが、バイトの頻度が多い学生については、チューターがバイトの理由等の状況を把握し、場合によっては経済的支援に繋げるようなはたらきかけも必要である。また、バイトにより、学修に影響がないかどうかの状況把握の必要性である。

ボランティア活動は、約50%が参加している。割合が多い理由として、当学科では、大学共通基礎科目の『ボランティア活動』が、一部の実習要件に必須としていることがあげられる。『ボランティア活動』は1年生の科目ではあるが、単位取得後も引き続きボランティア活動を継続している学生がいると思われる。また、3、4年生ではゼミ活動としてボランティアに参加している学生もいる。

不安や悩みを感じている学生が45%いる。学年が上がるにつれ、学外実習や国家試験勉強、就職活動、卒業研究など、授業に依らない時間が大半を占め、いろいろなことを並行して実施しなければならない。自分で優先順位をつけ計画を立てるなど、自分で考え実行していかなければならないので、ストレスを抱える可能性がある。これらの学生に対する指導・支援が必要である。

相談相手としては、「保護者や家族」「学内の友人」が多かった。大学全体と比べるとチューター教員が相談者となっている割合は高い。当学科は転科生や編入学生がいるので、その学生も含め学生と積極的にコミュニケーションを図り、さらに学内で相談しやすい環境づくり、例えば学生同士の横・縦のつながり、また、個人情報の取扱いに注意しながら学科全体で共通認識を持ち対応できるよう努めていきたい。

動物生命薬科学科アンケート結果（84 名中 回答者 37 名 回答率 44%）

「学修行動について」（図Ⅱ-1～10）

・学修時間（設問Ⅰ-1, 2）

全学年において、「授業のある日は、授業以外でどれくらい学修」しているかは、30 分未満が 38%、「授業のない日」では、30 分未満が 35%と最も高かった。

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低かったために結果を述べることはできなかった。

・学修内容（設問Ⅰ-3, 4）

全学年において、「授業の予習・復習（専門科目）」が、授業のある日は 51%、授業がない日が 39%であり、いずれもこの回答項目の比率が最も高く、これを最優先した学修内容となっていた。次いで授業の予習・復習（教養科目）」が、授業のある日は 29%、授業のない日は 27%と高かった。なお、「就職試験」は、1 名が授業のない日のみと回答、ほとんどの学生が就職試験対策をしていないことが分かった。さらに、授業がない日は、ほとんど勉強をしない学生が 7 名（12%）いた。

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低いために結果を述べることはできなかった。

・学修環境（設問Ⅰ-5, 6）

学修場所としては、全学年において、「自宅・下宿」が 40%と最も高かった。次いで「大学図書館」が 17%、さらに「教室」、「食堂・カメリア」が共に 16%であった。一方、「ラーニングcommons（図書館 2 階）」と「ラーニングサポートセンター（英語村）」は、それぞれ、4 と 3 %と低かった。

学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）をよく使用している（「大いに使用している」あるいは「ときどき使用している」の合計）は、全学年において 51%であった。

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低いために結果を述べることはできなかった。

・学修形態（設問Ⅰ-7, 8）

「分からない内容があった時の解決法」は、全学年において、「自分で調べる」が 42%と最も高く、次いで「同級生（友人に聞く）」が 31%であった。「教員に聞く」は 21%、「先輩に聞く」は 3%であった。「

「他の学生と勉強をすることはありますか」について、全学年において、「ときどき他の学生と勉強している」が 46%、「ほとんど一人で勉強している」が 41%と高く、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と回答した学生は全くいなかった。

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低いために結果を述べることはできなかった。

・学修意欲（設問Ⅰ-9, 10）

「学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているか」については、「非常に合っている」が 51%と最も高く、次いで「比較的合っている」が 35%、2つの合計は 88%と高かった。また、アンケート回収率が高かった 1 年生の「非常に合っている」と「比較的合っている」の合計は 94%（15/16 名）と高かったが、全学年で、「あまりあっていない」または「あっていない」と回答した学生が、5 名（1 年生 1 名、3 年生 2 名、4 年生 1 名）いたことは留意すべきことと思われた。

「積極的に学修に取り組んでいるか」については、「取り組んでいる」が 52%、「大いに取り組んでいる」16%で、合計は 68%であった。しかし、「あまり取り組んでいない」が 24%、「取り組んでいない」が 8%で、合計 32%であった。

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低いために結果を述べることはできなかった。

・学修行動 学科学生考察

学年別の結果は、1 年生以外のアンケート回収率が低かったために結果を述べることはなかった。全学年において、「授業のある日は、授業以外でどれくらい学修」しているかは、30 分未満、また、「授業のない日」では、30 分未満の比率がいずれも高かった。すなわち、学修時間は短い。学修

内容は、「授業の予習・いずれも復習（専門科目）」が、中心であったが、ほとんどの学生が就職試験対策をしていないこと、授業がない日は、ほとんど勉強をしない学生が7名（12%）いた。学修場所としては、「自宅・下宿」が最も比率が高かったが、「ラーニングコモンズ（図書館2階）」と「ラーニングサポートセンター（英語村）」は、いずれも低かった。学修に約5割の学生はデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）をよく使用していた。「分からない内容があった時の解決法」は、全学年において、「自分で調べる」あるいは「同級生（友人に聞く）」で、「教員に聞く」は低かった。この理由は、「自分で調べる」あるいは「同級生（友人に聞く）」ことで、解決できる内容が多いのか、あるいは、「教員に聞く」ことに距離を感じている学生がいるのかは、この設問では不明であった。ほとんど他の学生と一緒に勉強している学生はなく、ほとんど一人あるいは時々一緒に勉強していた。「学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っている」学生の比率は高かったが、「あまりあっていない」または「あっていない」と回答した学生が、5名（1年生1名、3年生2名、4年生1名）いたことは留意すべきことと思われた。さらに「積極的に学修に取り組んでいるか」と「学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているか」の設問の回答に乖離が見られた。これらの設問に対して、学科・コースの学びがあまりあっていない、学修に積極的に取り組んでいない、学びがあまりあっていないと回答した学生は、留年、休学、退学対策につながる。教員間でこれらの情報を共有し、学生対応を実施する必要がある。

「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

全学年では、「全くしていない」が67%と最も高く、次いで「週に1～3回」が30%であった。

・アルバイト（設問Ⅱ-2）

全学年では、「週に1～3回」または「全くしていない」が共に43%と高く、次いで「週に4～6回」が14%であった。「毎日している」学生はいなかった。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

全学年では、授業のある日は「5～6時間」が76%と最も高く、次いで「7～8時間」であった。また、授業のない日は「7～8時間」が49%で最も高く、次いで「5～6時間」であった。なお、授業のある日のみに、3名が「3～4時間」、1名が「3時間未満」と回答していた。授業がある日に睡眠時間が「3時間未満」の学生には留意、配慮する必要がある。

・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

全学年では、授業のある日は「3～4時間」が46%と最も高く、次いで「1～2時間」が30%であった。なお、1名（4年生）が「ない」と回答していることに留意する必要がある。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全学年では、「時々ある」が67%で最も高く、次いで「毎日ある」が30%であった。なお、1名（3年生）が「ない」と回答していることに留意、配慮する必要がある。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全学年では、「参加していない」が78%と最も高く、次いで「年に1～2回」が11%であった。したがって、ほとんどの学生はボランティア活動をしていなかった。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全学年では、「あまり感じていない」が46%と最も高く、次いで「感じていない」が43%であった。なお、1名（3年生）が「大いに感じている」と回答していたことに留意、配慮する必要がある。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

全学年では、「保護者や家族」が35%と最も多く、次いで、「学内の友人」が32%であった。なお、4名（6%）が「相談する相手がいない」と回答していることに留意、配慮する必要がある。

・学生生活 学科学生考察

部活動・サークル活動は全体では約7割が所属していない。この原因は、部活動・サークル活動の内容・魅力と各学生の活動思考とのミスマッチの問題かは、この設問では不明であった。原因を知るためには、「なぜ所属・活動しないのか」についての質問項目（自由記載など）が必要と思われた。

次に、アルバイトについては、本学科の半数以上（57%）が実施しているが、逆に43%もの学生は実施していない。過剰なアルバイト時間は学業への悪影響が考えられる反面、本学科のように卒業後に社会で必要なものは、高い専門知識・技能のみならず、優れたコミュニケーション能力を必要とする（愛玩動物看護師など）である。優れるコミュニケーション能力を在学中に得るには、社会人と接する機会が多い適切な職種でのアルバイト、適切な時間のアルバイトの実施は必要と思われる。

ボランティア活動は、本学科では約8割が参加していなかった。

睡眠時間、自由な時間、ストレス解消の時間の確保、学生生活で不安や悩み、相談相手が、少ないながらも「ない」、「いない」と回答した学生が存在している。これらの学生に対しては留意するとともに学科並びに全学的に配慮する必要があると考える。なお、学科ではチューター教員を中心として相談者になっている。また、学科教員間では指導に必要な情報の共有を図っている。

生命医科学科アンケート結果（178名中 回答者116名 回答率65%）

「学修行動について」（図Ⅰ-1～10）

・学修時間（設問Ⅰ-1, 2）

授業のある日

まず、このアンケートの回答数は1年次では83%もの回答があり2年次から4年次においても59%から66%から回答を得ており、このアンケートは概ね正確な状況を把握できていると思われる。

学修時間について大学全体と同様に学科内でも学修時間は30～60分未満が最も多かった。学科内で昨年の同時期では30分未満が最も多かったことから若干勉強時間の増加が見られた。これは1年次から3年次で同様な傾向が見られた。しかし4年次は国家試験を控えた学年であるためか、120分以上の学習時間が回答者の約47%を占めている結果が得られたが、これは国家試験前という事で概ね予想された結果と思われる。特に60分以上勉強したというのは1年次から3年次迄21～25%程度であったが、4年次では75%であったが、これも国家試験に関連するものと思われる。

尚、勉強時間0分が全体で8名いることと、4年次にも1名いたことは驚きである。

授業のない日

全体での学修時間は30～60分未満が最も多く全体数値では概ね変わっていない。

しかし1年次から3年次までは全体的に30分未満側（勉強時間が少ない側）へ若干のシフトが見られる。4年次においても同様な傾向が見られ、120分以上勉強したものは40.6%にとどまり、60分以上でも62.5%であることがわかった。授業のない日にリラックスしてメリハリを付けている可能性があるが、勉強時間を生活の一つに入れるよう教員による積極的な指導が必要である。

・学修内容（設問Ⅰ-3, 4）

授業のある日、授業のない日を含め、学修内容については1年次から2年次で「専門科目の予習・復習」が最も多く他学科と概ね似たような傾向を示していた。3年次では授業のある日の内容は同じであるが、授業のない日では国家試験や資格取得の勉強が最も多くなっている。しかし4年次では「国家試験の勉強」が最も多い。そのため学科全体の傾向にバイアスがかかり、「専門科目の予習・復習」

に次いで「国家試験や資格取得の勉強」となっている結果となっていた。

・学修環境（設問Ⅰ-5, 6）

・授業以外の学修先

全体では自宅・下宿が最も多く、続いて教室（演習室・実習室を含む）であり、食堂・カメラ、図書館がほぼ同数と言う結果であった。自宅・下宿が最も勉強しやすい場所であることが示唆された。

また、これ以外では学内のこれらの場所が使用されており、学内施設の教室、食堂・カメラ、図書館が有効に使用されている結果が得られた。

・デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使った学修について

「時々、使用している」、「大いに使用している」と合わせて61%を占めており高いデジタルツールの使用が示された。また学年別にみると、1年次では40%、2年次では65%、3年次では75%、4年次では63%使用しており、3年次での高い使用率が認められた。

・学修形態（設問Ⅰ-7, 8）

・授業時間以外に分からないことがあった時の解決法

学科全体では「同級生（友人）に聞く」、「自分で調べる」が他を引き離し最も多く、次いで教員に聞くが多かった。学年別にみると、1年次から3年次迄は「同級生（友人）に聞く」、「自分で調べる」がほぼ同数でおおいが、4年次では「同級生（友人）に聞く」は変わらないが、「自分で調べる」が減少し、代わりに「教員に聞く」が増加している。

・他の学生と勉強を一緒に行うかに関して

学科全体では①「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と②「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて77%を示している。また、「ほとんど一人で勉強している」と「いつも一人で勉強している」を合わせて23%であった。学年別にみると、①と②を合わせた誰かと勉強しているのが1年次は72%、2年次は71%、3年次は75%、4年次は88%となっており学年が上がるにしたがって一緒に勉強する傾向が見られた。

・学修意欲（設問Ⅰ-9, 10）

・学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関して

学科全体では③「比較的合っている」と④「非常に合っている」を合わせて77%であり昨年より4ポイント低下していた。また、①「合っていない」と②「あまり合っていない」を合わせて23%を占めており昨年より4ポイント増加していた。学年別にみると1年次では①と②が32%もの学生がいた。2年次から4年次では20%前後であった。尚、4年次では③と④が78%いた反面、①と②の合計が22%もいたことには驚きを隠せない。

・積極的に学修に取り組んでいるかに関して

学科全体では③「取り組んでいる」と④「大いに取り組んでいる」を合わせて64%であり、昨年より13ポイントも低下しており全体的に学習意欲が低下している傾向を示した。

学年別では1年次では③と④の合計は52%、2年次は58%、3年次は61%、4年次は81%を示し学年が上がるにつれ学習意欲の増加が見られた。これらのデータから低学年の内からもっと専門教科による専門職の高い意識を持ることが重要だと思われる。

・学修行動 学科学生考察

授業以外の学修時間については、「授業のある日」「授業のない日」に関わらず少し時間が増加している傾向が認められたことは学生としての使命を果たす傾向が見られた。とはいえ、定期試験を落とす学生がいることか全体的な学修時間が少ないと思われる。0分の学生がいるため、この事については教員の指導が必要と思われる。

また、学習内容については、専門科目の授業の予習・復習が最も多いのは将来の職種を目標とした

行動の一端ではないかと思われる。このまま基礎に基づいた専門科の学修を行なっててもらいたい。

尚、4 年次は、他学年と異なり国家試験の学修が最も多く国家試験を前にした時期であることから理解できる。しかし 4 年次でも学修時間が 0 分の学生が少なからず存在しており国家試験前と言う意識の欠如しているように思われる。

学修の場所については、自宅・下宿が最も多いが、次いで教室、図書館、学食、カメラ等が示されており学内施設が有効に使用されている。

デジタルツールの使用については、スマホ・PC・タブレット端末による学習は学科全体で 61%であり半数以上が使用している。しかし 3 年次で 75%と最も多く使用しているが、ネットの中には誤った情報も混在しているため適切な使用法を認識する必要がある。

分からない内容の解決法とし「自分で調べる」と「同級生（友人）に聞く」ということが多い結果が示され、基本的には自分で調べ、解決しない時には友人に聞くというスタイルが、この結果から想像される。尚、4 年次では他学年と異なり「教員に聞く」が増加しており、国家試験前で「自分で調べる」時間的余裕がなくなっているため「教員に聞く」が増加したのかもしれない。

他の学生との勉強については、ひとりで学修するよりも他人と一緒にやるという学生が、学年が上がると共に増加しており、グループ学習によるプラスの効果が期待できるのではないかとと思われる。

コースの選択については「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて 23%を占めており昨年より 4 ポイント増加していた。これについては入学前のオープンキャンパスや合格者相談会に参加しコースの内容を熟知してほしい。また毎年大学へのコース選択を自分の意思ではなく親の意見に流されて入学する学生がおり高校生の時に進学のコースを決めていない学生が毎年少なからず居ることもその原因の一つと思われる。

「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

大学全体では①「全くしていない」学生が 68%だったのに対して生命医科学科では 80%と高い部活動やサークル活動への不参加であり、これは昨年より 2 ポイント増加している。

学年別にみると週に 1 回以上参加する学生は 1 年次では 56%、2 年次では 6%、3 年次では 11%、4 年次では 9%程度であり生命医科学科では、専門教科の始まる前の 1 年次には半数が部活動やサークルに参加しているが、2 年次から 4 年次では部活動やサークル活動を行っているのはごく少数であった。その一方、国家試験前の 4 年次で「毎日（行っている）」と言う回答が 1 名（3%）見られた。

・アルバイト（設問Ⅱ-2）

大学全体ではアルバイトを『全くしていない』が 45%だったのに対し、生命医科学科では 53%、学年別では 1 年次で 60%、2 年次で 39%、3 年次で 39%、4 年次では 75%がアルバイトをしていないという事であった。特に 3 年次は臨地実習前であるため臨地実習施設から接客業務禁止の依頼があるためアルバイト率が他学年と比較し少ない傾向を示していると思われる。そして 4 年次は国家試験前であることが少ない原因の一つと思われる。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

大学全体では授業のある日は『5～6 時間』が最も多く 66%であるのに対して、授業のない日は『7～8 時間』が 53%で最も多かった。学科内でも概ね同様な傾向を示したが 3 年次の授業のない日では、『5～6 時間』と『7～8 時間』が 39%の同数であった。

・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

大学全体では授業のある日は『3～4 時間』が 43%、次いで『1～2 時間』が 40%であり、授業のない日は『5 時間以上』が 59%であった。また授業のある日、ない日を含め自由時間がないという学生が 2

～6%いるという結果が得られた。学科内でも同様な傾向を示し授業のある日は『3～4 時間』が 44%、次いで『1～2 時間』が 39%であり、授業のない日は『5 時間以上』が 60%であった。また授業のある日、ない日を含め自由時間がないという学生が 1～3%いるという結果が得られた。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

大学全体では「時々ある」が 58%、「毎日ある」が 37%でありストレス解消法を有する学生が、95%いることが示された。学科内では「時々ある」58%「毎日ある」が 36%であり 94%の学生がストレス解消やリラックスのための時間を有しており健全な学園生活が行っていると思われる。その一方、ない学生が 6%おり昨年と同一な数値を示した。学年では 3 年次の学生でストレス解消法等がない最も多く約 11%が「ない」と回答しており早期にストレス解消等を作る必要性がある。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

大学全体では『参加していない』が 77%でもっとも比率が高く、次いで『年に 1～2 回』が 14%であった。学科内では『参加していない』が 78%と最も比率が高く、次いで『年に 1～2 回』が 20%であった。「参加しない」学生が昨年と比較し 18 ポイント増加する一方、「年に 1～2 回程度参加する」学生が 3 ポイント増加していた。

学年別にみると、1 年次ではボランティア活動者が 4%で最も少なく、2 年次では 23%、3 年次ではボランティア活動者が約 39%であり最も高く、昨年より 9 ポイント増加していた。4 年次では 22%がボランティア活動を行っている結果であった。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

大学全体では『感じていない』及び『あまり感じていない』の合計が約 75%であった。その一方『感じている』『大いに感じている』が約 25%との回答であった。学科内で見ると『感じていない』及び『あまり感じていない』の合計が約 79%であった。その一方『感じている』『大いに感じている』が約 21%との回答であった。学年別にみると『感じている』『大いに感じている』と回答したのは 1 年次が最も多く 33%の回答であった、次いで 2 年次が 26%の回答であった。1 年次ではクラスに馴染めない学生がいる可能性があり、特に退学者低減を鑑みどのような悩みであるかを調査する必要があると思われる。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

大学全体では『保護者や家族』と『学内の友人』が最も多く（33%）、次いで『学外の友人等』（18%）と言う順で比率が高かった。中には「相談する相手がいない」と回答した学生が 4%程度見られた。学科内でもほぼ同様な結果であった。『保護者や家族』（34%）と『学内の友人』（32%）が最も多く、次いで『学外の友人等』（18%）と言う順で比率が高かった。各学年相談する相手がいる一方、1 年次では 3 名、2 年次では 4 名、3 年次では 2 名、4 年次では 1 名の学生が相談する相手がいないと回答している。

・学生生活 学科学生考察

・部活動・サークル活動は大学全体と比較し生命医科学科では効率に参加していない学生が多い傾向である。昨年より部活動・サークル活動参加していないが、14 ポイント低下しており従来のアニメやゲーム等の個人活動から団体活動が増えてきているように思われる。生命医科学科ではアルバイトは半数以上が行っておらず、特に 4 年次については国家試験前でありアルバイトを行なっている時間がないため 75%の学生がアルバイトを行っていないと思われる。また 1 年次から 3 年次についても日常の実習（レポート）、小テストと頻繁に時間を要する事柄が多く実施しにくい状況が考えられる。しかしながら 4 年次でも毎日行っている学生もいることから、学修とアルバイトの両立ができている可能性、またはアルバイトにより生活費を工面している学生がいることも否定できない。

- ・睡眠時間については「授業のある日」と「授業のない日」を比較すると「授業のない日」で概ね1～2時間程度睡眠時間が多くなっている。但し3年次では授業の有無に関わらず変わらない学生が見られたが学科全体としては5～6時間の睡眠が最も多く健全であると思われる。尚、3時間未満の学生が3名いることからこれらの学生には適正な睡眠時間を確保し規則的な生活を送ってもらいたい。
- ・自由な時間については自宅通学者とアパート暮らしによるものの差が大きいと思われる。そのため以降のアンケートでは自宅通学か一人暮らしに分類した方が良いと思われる。また授業のある日、ない日を含め自由時間がないという学生が2～6%いるという結果が得られたが、これは一人暮らしによるものかまたは、アルバイトのため生活費を工面しているかのどちらかと思われる
- ・ストレス解消やリラクセスのための方策については学科全体で94%が何らかの方法を有している。しかし3年次では11%ものストレス解消法が無い学生がいた。そのため適切なストレス解消法を設けるよう指導していきたい。
- ・ボランティア活動では学科内では全体的にはボランティア意識が低い傾向にある。しかし僅かであるが積極的に活動を行う学生も居るようである。
- ・学生生活での不安や悩みについては学科内では75%が感じていないという事であったしかしながら25%では不安や悩みを感じており、特に1年次が最も多くクラスに馴染めない学生がいる可能性があり、特に退学者低減を鑑み、どのような悩みであるかを調査する必要があると思われる。
- ・相談相手は例年と変わらず、保護者、友人が最も多く、外部の友人が多かった。身内や同年代の学生に相談しているようであるが、相談相手が全くいない学生も居ることから、話ができる相手を見つけ、また学内の施設・教員で協力可能なことはサポートしたい。

臨床心理学科アンケート結果（109名中 回答者37名 回答率34%）

「学修行動について」（図I-1～10）

・学修時間（設問I-1, 2）

本学科では1年次から4年次に向かい、学修時間が増加していく傾向にあった。4年生の学修時間の最頻値は「60～120分」であった。

しかし、学科全体での学修時間の最頻値は「30～60分未満」であった。大学全体の同様に、学修時間が十分に確保されているとは言えない結果であった。

・学修内容（設問I-3, 4）

本学科では1年次から3年次まで、「授業の予習・復習（専門科目）」を最優先した学修内容となっていた。4年次は、「卒業研究」や「国家試験や資格試験の勉強」が多く、大学全体の同様に、「授業の予習・復習（専門科目）」から「卒業研究」や「国家試験や資格試験の勉強」へと学修内容がシフトしていた。「その他」は皆無であった。

・学修環境（設問I-5, 6）

学修場所としては、「自宅・下宿」が最も多かった。次いで、「図書館」と「食堂・カメリア」が多かった。

デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）は、「ときどき使用している」が多い一方で、「ほとんど使用していない」が比較的多くみられた。デジタルツールの使用は、学年が上がるにつれ増える傾向にあった。

・学修形態（設問I-7, 8）

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」「同級生（友人に聞く）」が多かった。「教員に聞く」も今回、38%で比較的多かった。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関して、「ときどき他の学生と勉強している」が最も多かった。

・学修意欲（設問Ⅰ-9, 10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「非常に合っている」と「比較的合っている」を合わせて81%であった。「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて19%を占めていた。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」を合わせて35%であった。

・学修行動 全学考察

本学科は、学年を重ねるにつれて、学修時間が増加している。しかしながら、3年生までの大部分は「30～60分未満」であり、その内容をみても「授業の予習・復習（専門科目）」に留まった。学修時間の量的な確保は第一の課題である。それとともに、質問項目の設定が十分と言えない面もあるが、「授業の予習・復習（専門科目）」に留まらず、学生自ら探究的な学習に発展させる必要がある。教員は、授業などで、学生の知的好奇心を拡大するような機会を与える必要があると言えるだろう。

学修の場をみると、「自宅・下宿」が最も多かった。このことは、帰宅後の学習が確保されているとも考えられる。しかし、学修時間が十分に確保されていない現状を考慮すると、大学内において、学修の場が有効に活用されていない現状が窺える。「図書室」や「演習室」の活用だけでなくその活用方法に関し、教員を含め、大学側がオリエンテーションなどで啓発していく必要がある。

分からないことがあった時の解決法に関し、大学全体と同様に、「教員に聞く」が以前より上昇したものの、十分な割合とは言い難い。多くの場面において、学生自身や学生間で自己解決が図られていることが考えられる。その一方で、教員とのコミュニケーションが不十分であると考えられる。その対応方法として、教員との連絡方法を明示しておくことが考えられる。オフィスアワーが設けられているものの、学生個々の空き時間やスケジュールと合致するとは限らない。その意味で、シラバスにメールアドレスを明記するなど、授業内に教員との連絡方法を具体的に提示する必要がある。

デジタルツールの使用は学年が上がるにつれ増える傾向にあるものの、「ほとんど使用していない」が一定数みられた。『使用できる』と『使用する』には乖離があることは十分考えられる。パソコンなどのソフトの活用は現代社会において必要不可欠である。「ほとんど使用していない」の一群の学習の進捗を見定めるとともに、これらの活用スキルがどの程度あるか把握する必要がある。

学科・コースの学びが学生の大部分が概ね学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っていた。しかし、興味・関心に合っていないと回答した学生が一部存在した。本学科が複数の資格や進路を選択できるメリットを活かして、チューター面談を通じて、早い段階から随時、各学生の軌道修正を行う工夫も必要である。それと同時に、各学生の学修の進捗を把握して、進捗に応じた内容を個別に用意して達成感を持つ機会を設けることも大切であろう。

「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

本学科では、73%が活動をしておらず、『週に1～3回』が22%であった。

学年別にみると、1年生は『週に1～3回』が33%で他の学年より高い。4年生は『全くしていない』が100%で最も高い。

・アルバイト（設問Ⅱ-2）

全体では『全くしていない』が24%、『週に1～3回』が49%、『週4～6回』が16%であった。学年別にみると、3年生は『週1～3回』が43%で高く、4年生は『週に1～3回』が30%、『週4～6回』が30%であった。

・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

授業のある日は『5～6 時間』が最も多く 65%であり、授業のない日は『7～8 時間』が最も多く 57%であった。授業のある日では、4 時間未満が 16%であった。4 年生は、授業のある日では『3～4 時間』が 18%で他の学年よりも高い。

・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

授業のある日は『3～4 時間』が 49%、『1～2 時間』が 35%であり、授業のない日は『5 時間以上』が 62%であった。

学年別にみると、授業のある日では、1 年生において『1～2 時間』（42%）が他の学年よりも高かった。

・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全体では『時々ある』が 59%、『毎日ある』が 38%であった。学年別でも、全体と同様の傾向であった。

・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全体では『参加していない』が 65%で最も高く、次いで『年に 1～2 回』が 24%であった。学年別にみると、4 年生の参加の割合が他の学部よりも高かった。1 年生は『参加していない』が 83%で他の学年よりも比率が高い。

・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全体では『感じていない』が 30%、『あまり感じていない』が 43%であった。

学年別にみると、3 年生は『感じている』が 53%で他の学年よりも高かった

・相談相手（設問Ⅱ-10）

全体では『学内の友人』が 32%、『保護者や家族』が 31%、『学外の友人等』が 18%の順で高かった。

学年別にみると、『チューター教員』は 4 年生が 55%で他の学年と比べて、割合が高かった。

・学生生活 全学考察

部活動・サークル活動及びボランティア活動は、大学全体同様、約 7 割が所属していない。所属するかどうかは、学生の意思によるものである。しかし、これらの活動は、就職活動にプラスに働くことから、ここでの経験を、積極的に大学として促して活動の場を拡げていく必要がある。

アルバイトは全体では 7 割が行っている。学年が上がるにつれて頻度が減る傾向がある。経済的事情により、アルバイトを行わざるを得ないことも十分考えられる。大学側としては、アルバイトをなるべく避けて、学修時間を確保して欲しい。今後、学生の経済的な事情やアルバイトの目的などについて把握する必要がある。

睡眠時間、自由な時間、ストレス解消は、大部分の学生がほぼ適切といえる。ただ、4 年生では睡眠時間が皆無である学生もあり、これを避けるように、早めの国家試験や就職試験の準備が求められる。

また、全体では約 3 割が不安や悩みを感じており、今後、これらがどのような種類のものであるか把握する必要がある。学生のプライベートな悩みにまで、大学が対応するのは限界がある。また、対応可能な部分に関して、その種類に応じて、相談相手や相談方法などの相談システムを構築することが望まれる。

薬学科アンケート結果（315 名中 回答者 212 名 回答率 67%）

「学修行動について」（図Ⅰ-1～10）

・学修時間（設問Ⅰ-1, 2）

大学全体の傾向と比較し、学修時間は長めの傾向にある。

【授業のある日】

1 年次は、「120 分以上」の学生がおらず、「30～60 分未満」の学生が最も多い。

2～3 年次は、概ね同様の分布となっており、「30～60 分未満」の学生が最も多い。

4～5 年時は、概ね同様の分布となっており、「60～120 分未満」の学生が最も多い。

6 年次は、約 65%の学生が「120 分以上」となっているが、60 分に満たない学生が 17%程度存在する。

【授業のない日】

授業のある日に比べ、学修時間は長い傾向にあるが、「0 分」の学生が 5%程度存在する。

6 年次以外では、2 年次の学修時間が他年次よりも長い。

3 年次から 5 年次にかけて、学修時間は増加傾向にある。

6 年次は、約 74%の学生が「120 分以上」となっているが、60 分に満たない学生が 13%程度存在する。

・学修内容（設問 I -3, 4）

【授業のある日】

専門科目の予習・復習が行われている傾向にある。

国家試験に向けた学修は 4 年次以降に行われており、学年が上がるに連れ、比率が増加している。

【授業のない日】

国家試験に向けた学修は 2 年次以降に行われており、学年が上がるに連れ、比率が増加している。

若干名ではあるが、6 年次以外の全ての学年で、「ほとんど勉強しない」学生が存在する。

・学修環境（設問 I -5, 6）

他学科の傾向と大きな差はない。「自宅・下宿」が最も高い比率を占めている。

5 年次は、長期実務実習があるため、「自宅・下宿」の比率が特に高い。

他学科に比べ、デジタルツールの使用が明らかに多い。1～6 年次にかけて、傾向は概ね変化なし。

・学修形態（設問 I -7, 8）

他学科の傾向と大きな差はない。「自宅・下宿」が最も高い比率を占めている。

5 年次は、長期実務実習があるため、「自宅・下宿」の比率が特に高い。

他学科に比べ、デジタルツールの使用が明らかに多い。1～6 年次にかけて、傾向は概ね変化なし。

・学修意欲（設問 I -9, 10）

学科の学びが自身の興味・関心と合っているかに関しては、84%の学生が「比較的 or 非常に」合致していると考えている。

積極的な学修への取り組みに関しては、74%の学生が「取り組んでいる」と考えており、他学科に比べて、やや多い傾向にある。

・学修行動 学科学生考察

まず、薬学科のアンケート回答率は 67%となっており、全学科中で最も高く、前年度の 59%から上昇している。しかし、5 年次の回答率は、46%と低い結果だった。これは、5 年次に実施される長期実務実習の影響が考えられる。

回答率の上昇はあるものの、まだ 3 割以上の学生は未回答であり、「学業に熱心な学生の方が、回答率が高い」などのバイアスが生じている可能性がある。そのため、本アンケート結果の解釈には十分な注意が必要と考える。

学修時間については、1 年次の学修時間が、前年度および他学年よりも短い傾向が見られた。これは、今年度から新カリキュラムに移行となった影響が考えられるが、学年のモチベーションが低い可能性も考えられるため、来年度以降のデータを注視し、状況によっては対策を講じる必要がある。

授業のない日に関して、2 年次の学修時間のヒストグラムに二峰性があり、モチベーションの高い学生と低い学生の 2 グループが存在している可能性が考えられるため、これにも注視が必要である。

また、6 年次においても十分な学修時間を確保できていない学生が 3 割程度存在するため、これらの学生へのアプローチは急務である。

学修内容については、4 年次から国家試験対策の学修が本格化している。これをより前倒しに行うべきか否かは検討の余地があるが、基礎薬学総合演習試験や CBT・OSCE の成績を評価し、カリキュラムや学生指導の継続的な調整が必要であると考ええる。

学修環境については、全学年を通して、授業以外の学修場所として「自宅・下宿」と回答した学生が多かった。各学生の個性に合わせた柔軟な対応が必要ではあるが、成績が伸び悩む学生に対しては、集中力を維持しやすい学内での学修を促すことも有用であると考えられる。一方、自由記述の方で、「自習室の利用時間延長」「空調の改善」「学食やコンビニの充実」等を望む意見も挙げられているため、大学全体および学科内の学修環境の整備に継続して取り組む必要がある。現時点においても、「夏季の間、冷房が効いた自習室を確保する」といった取り組みを行っており、節電が必要とされる昨今ではあるが、可能な限り快適な学修環境を提供できるよう検討していく。

学修形態については、デジタルツールの使用が多い傾向が見受けられた。この結果には、学科で導入している「すらら」、「SATT」等の e-ラーニングシステムの影響が反映されていると考える。また、分からない内容の解決に関し、「教員に聞く」の比率がやや小さい傾向にある。昨年度に比べ若干の改善はみられるが、学生-教員間の良好な関係性が十分に構築できていない可能性も考えられるため、今後の経過に注視し、適宜、改善のための対策を講じる必要があると考える。

学修意欲については、昨年度と比較し、積極性がやや向上している印象を受ける。引き続き、学生の自主性を向上させるため、講義・実習へのアクティブラーニングの組み込み等、さらなる改善を模索する必要がある。

「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

全体の7割以上の学生が「全くしていない」と回答しており、学年が上がるにつれ、その比率は増加している。他学科に比べて、部活動やサークルへの参加は少ない傾向にある。

・アルバイト(設問Ⅱ-2)

他学科に比べ、アルバイトを行っていない学生の比率が高い傾向にあり、全体で過半数の学生が「全くしていない」と回答している。特に、5・6 年次は、7 割以上の学生が「全くしていない」と回答。

・睡眠時間(設問Ⅱ-3, 4)

他学科と概ね同様の傾向であるが、授業のある日の睡眠時間は「5～6 時間」が 69%を占めており、短時間睡眠の傾向にある。

一方、授業のない日の睡眠時間は「7～8 時間」が 60%を占めており、授業のある日より睡眠時間が長い傾向にある。

・自由時間(設問Ⅱ-5, 6)

授業のある日は、他学科に比べ、明らかに自由な時間は少ない。特に、2 年次はその傾向が強い。授業のない日は、他学科と大きな差異はない。

・ストレス解消(設問Ⅱ-7)

他学科と大きな差異はない。

・ボランティア活動(設問Ⅱ-8)

他学科に比べ、ボランティア活動への関与が少ない。

・学生生活で不安や悩み(設問Ⅱ-9)

他学科に比べ、不安や悩みを感じている学生の比率がやや多い傾向にある。

学修や成績、メンタルや体調の不良に関する悩みが多いが、人間関係で悩む学生も存在する。

・相談相手（設問Ⅱ-10）

他学科と概ね相違ない。「チューターの教員」の比率がやや少ない。

・学生生活 学科学生考察

前述の通り、薬学科のアンケート回答率は67%に留まっているため、本アンケート結果の解釈には十分な注意が必要であると考ええる。

部活やサークル、アルバイト、ボランティア活動への参加および自由時間が、他学科に比べて少ない傾向にある。これは、薬学科の講義数やそれに伴う予習・復習時間が他学科よりも多いためであると考えられる。今年度からの新カリキュラムへの移行に伴い、今後、変化が生じることが予想されるため、継続して注視していく。

睡眠時間については、授業のある日の短時間睡眠、授業のない日の「寝だめ」傾向が見受けられる。睡眠は健康にとって最も重要な要素の一つであるため、学科から定期的に睡眠時間の重要性をアナウンスする必要があると考える。

学生生活の不安や悩みについては、他学科に比べ、特に学修や成績に関する悩みを抱える学生が多い傾向にあり、その相談相手として、「チューターの教員」の比率がやや少ない結果であった。前述の通り、薬学科において、学生-教員間の良好な関係性が十分に構築できていない可能性も考えられるため、今後の経過に注視し、適宜、改善のための対策を講じる必要があると考える。また、学生から「チューターを自分で選べるようにしてほしい」との要望があったため、今後、チューターと学生の相性が合わない場合に、チューターを変更できる仕組みの導入も検討する。

2024 年度 学修行動・学生生活に関するアンケート

在学生全員に向けてアンケートを実施します。学生の皆さんの学業への取り組み状況、学生生活の状況について問う内容となっています。大学生活がより良いものとなるよう皆さんの声を聞かせてください。

今年度の授業期間中の平均的な 1 週間について、回答してください。

I. 学修行動について回答してください。

授業のある日とない日について、1 日の学修時間を教えてください。

1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？

- ① 0 分
- ② 30 分未満
- ③ 30-60 分未満
- ④ 60-120 分未満
- ⑤ 120 分以上

2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？

- ① 0 分
- ② 30 分未満
- ③ 30-60 分未満
- ④ 60-120 分未満
- ⑤ 120 分以上

授業のある日とない日について、学修内容を教えてください。

3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

- ① 授業の予習・復習（専門科目）
- ② 授業の予習・復習（教養科目）
- ③ 国家試験や資格取得の勉強
- ④ 卒業研究
- ⑤ 就職試験
- ⑥ ほとんど勉強しない
- ⑦ その他（以下に記入）

()

4. 授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

- ① 授業の予習・復習（専門科目）
- ② 授業の予習・復習（教養科目）
- ③ 国家試験や資格取得の勉強
- ④ 卒業研究
- ⑤ 就職試験
- ⑥ ほとんど勉強しない
- ⑦ その他（以下に記入）

()

5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答）

- ① 大学図書館
- ② ラーニングコモンズ（図書館 2 階）
- ③ ラーニングサポートセンター（英語村）
- ④ 食堂・カメラリア
- ⑤ 教室（演習室、実習室を含む）
- ⑥ 自宅・下宿
- ⑦ 公立図書館（延岡市立図書館など）
- ⑧ その他（以下に記入）

（ ）

6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？

- ① ほとんど使用していない
- ② あまり使用していない
- ③ ときどき使用している
- ④ 大いに使用している

使用しているデジタルツールがあれば具体的にお書き下さい。

（ ）

7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？
（複数回答）

- ① 教員に聞く
- ② 同級生（友人）に聞く
- ③ 先輩に聞く
- ④ その他の人に聞く
- ⑤ 自分で調べる
- ⑥ そのままにしておく（調べない）
- ⑦ その他（以下に記入）

（ ）

8. 授業以外で他の学生と勉強することはありますか？

- ① ほとんど他の学生と一緒に勉強している
- ② ときどき他の学生と勉強している
- ③ ほとんど一人で勉強している
- ④ いつも一人で勉強している

9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？

- ① 合っていない
- ② あまり合っていない
- ③ 比較的合っている
- ④ 非常に合っている

選択した項目について、具体的な理由をお書き下さい。

（ ）

10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？

- ① 取り組んでいない
- ② あまり取り組んでいない
- ③ 取り組んでいる
- ④ 大いに取り組んでいる

選択した項目について、具体的な理由をお書き下さい。

(

)

II. 学生生活について回答してください。

1. 部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？

- ① 全くしていない
- ② 週に 1～3 回
- ③ 週に 4～6 回
- ④ 毎日
- ⑤ その他（以下に記入）

(

)

2. アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？

- ① 全くしていない
- ② 週に 1～3 回
- ③ 週に 4～6 回
- ④ 毎日
- ⑤ その他（以下に記入）

(

)

授業のある日とない日について、1 日の睡眠時間を教えてください。

3. 授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

- ① 3 時間未満
- ② 3-4 時間
- ③ 5-6 時間
- ④ 7-8 時間
- ⑤ 9 時間以上

4. 授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

- ① 3 時間未満
- ② 3-4 時間
- ③ 5-6 時間
- ④ 7-8 時間
- ⑤ 9 時間以上

授業のある日とない日について、1 日の自由な時間（食事や睡眠などの日常生活活動、家庭内の役割、学業、アルバイトや部活動などを除いた時間）を教えてください。

5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？

- ① ない
- ② 1-2 時間
- ③ 3-4 時間
- ④ 5 時間以上

6. 授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？

- ① ない
- ② 1-2 時間
- ③ 3-4 時間
- ④ 5 時間以上

7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

- ① ない
- ② 時々ある
- ③ 毎日ある

8. ボランティア活動に参加していますか？

- ① 参加していない
- ② 年に1～2回、参加している
- ③ 2～3か月に1回程度、参加している
- ④ 月に1～2回程度、参加している
- ⑤ ほぼ毎週、参加している

9. 現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？

- ① 感じていない
- ② あまり感じていない
- ③ 感じている
- ④ 大いに感じている

不安や悩みがあれば、具体的な内容をお書き下さい。

()

10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答）。

- ① 保護者や兄弟姉妹等の家族
- ② 学内の友人
- ③ ゼミ・チューターの教員
- ④ 健康管理センター
- ⑤ 事務の窓口
- ⑥ 学外の友人や知り合い
- ⑦ 相談する相手がいない
- ⑧ その他（以下に記入）

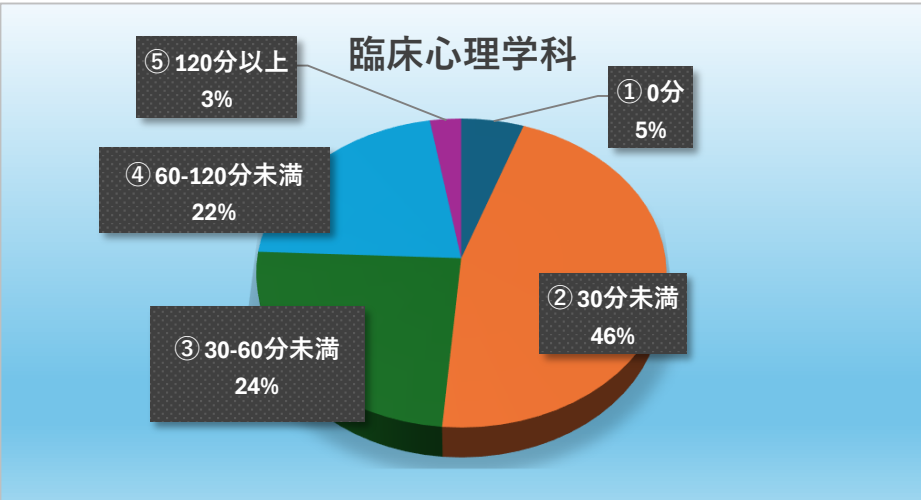
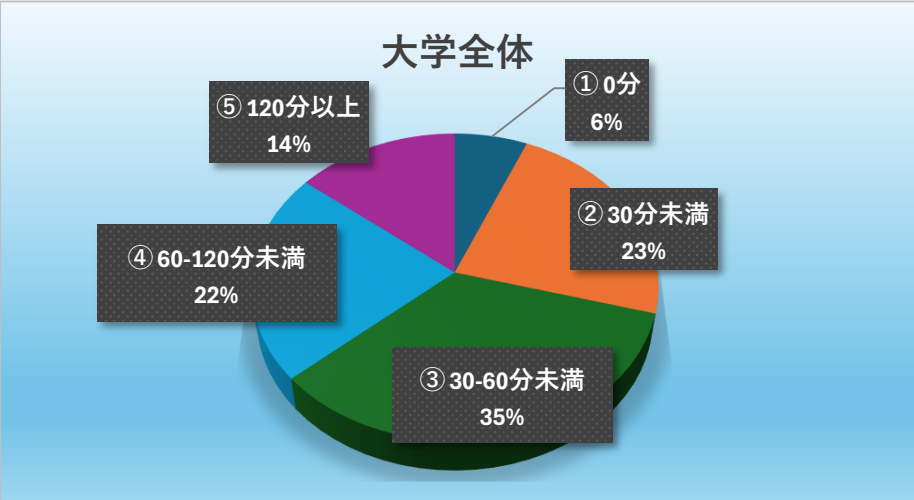
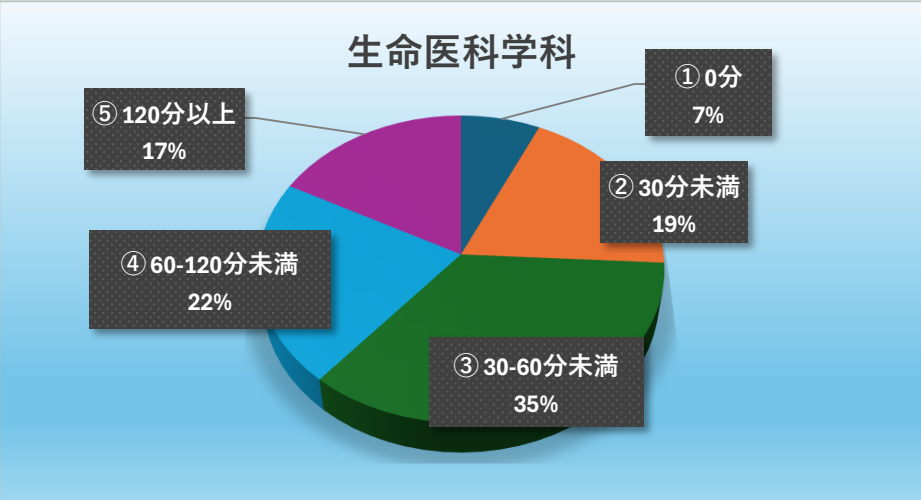
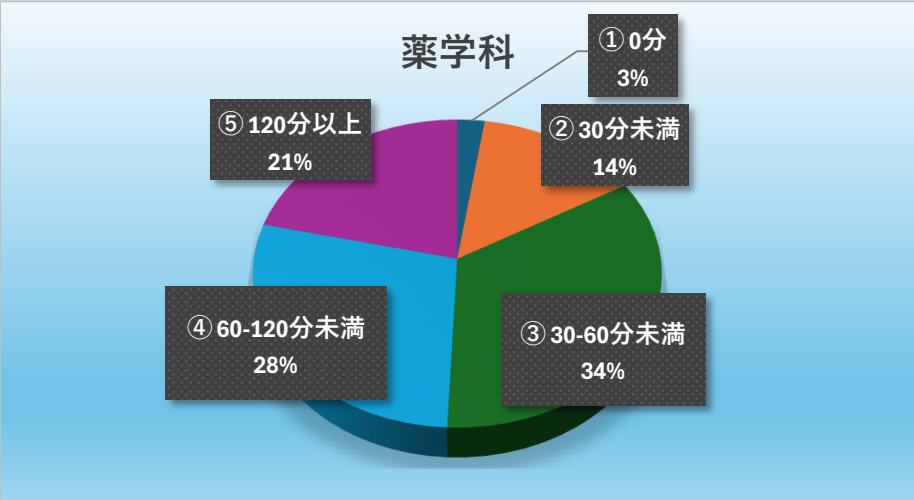
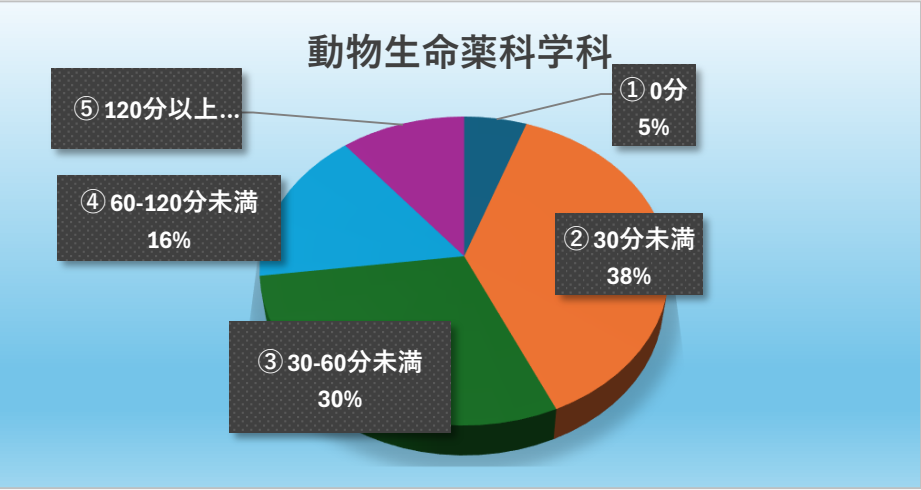
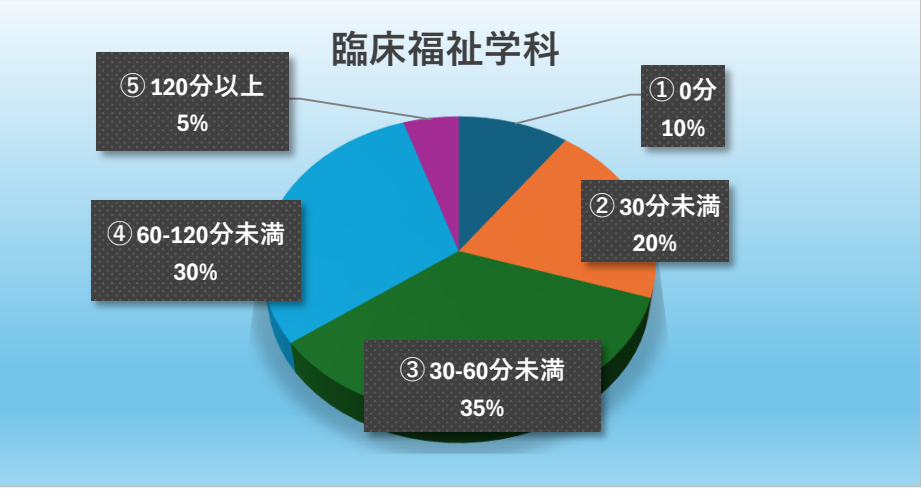
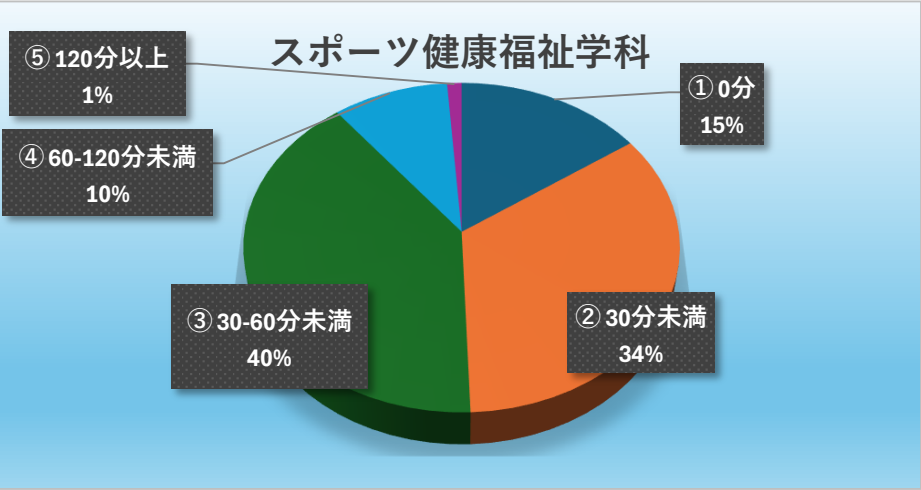
()

Ⅲ. 大学に対して要望や改善すべき点などがあれば、ご自由にお書きください。

()

設問 I - 1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？

行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
スポーツ健康福祉学科	13	29	34	8	1
1年	8	16	17	3	0
2年	3	9	3	2	0
3年	1	2	6	1	1
4年	1	2	8	2	0
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床福祉学科	2	4	7	6	1
2年	1	1	3	2	0
3年	1	2	4	1	0
4年	0	1	0	3	1
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
動物生命薬科学科	2	14	11	6	4
1年	1	6	4	3	2
2年	0	2	3	2	1
3年	1	4	3	0	0
4年	0	2	1	1	1
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
生命医科学科	8	22	41	25	20
1年	1	5	12	5	2
2年	4	6	13	7	1
3年	2	8	12	4	2
4年	1	3	4	9	15
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床心理学科	2	17	9	8	1
1年	1	6	5	0	0
2年	1	3	2	1	0
3年	0	3	1	2	1
4年	0	5	1	5	0
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科	5	30	72	59	45
1年	0	6	17	10	0
2年	0	6	17	8	3
3年	0	7	11	6	2
4年	2	7	12	17	7
5年	2	3	9	10	2
6年	1	1	6	8	31
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
大学全体	32	116	174	112	72
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科以外	27	86	102	53	27
1年	11	33	38	11	4
2年	9	21	24	14	2
3年	5	19	26	8	4
4年	2	13	14	20	17

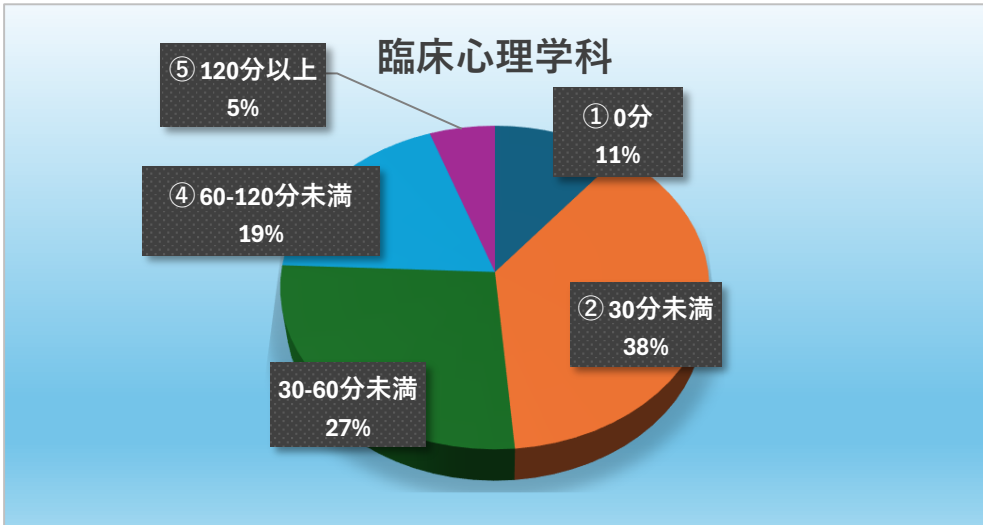
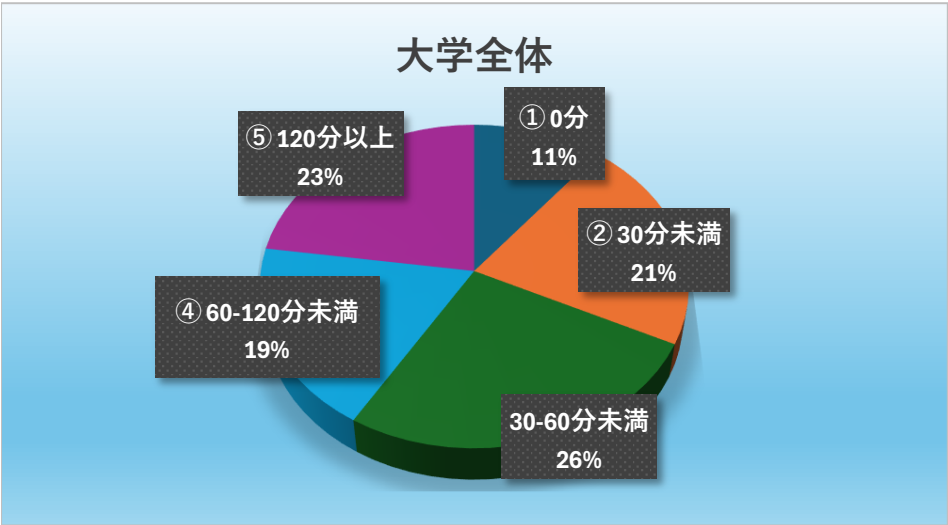
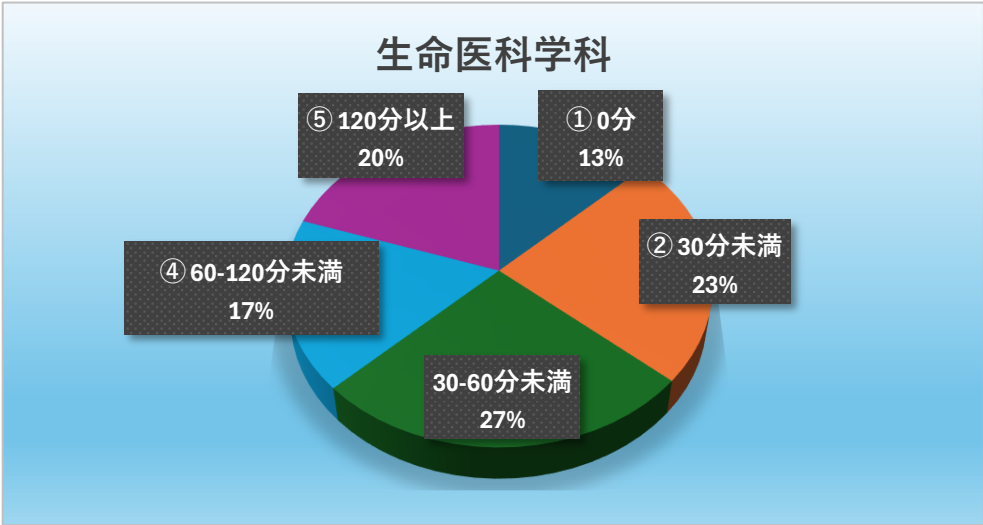
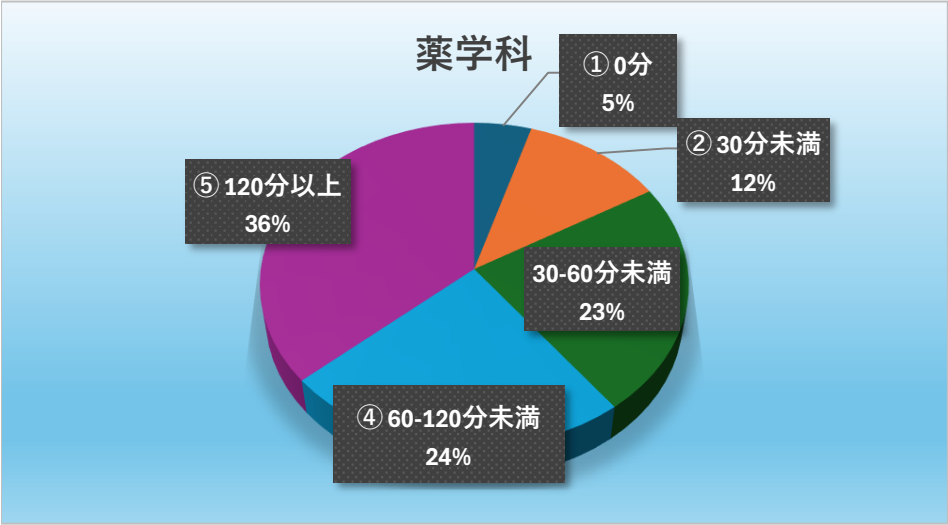
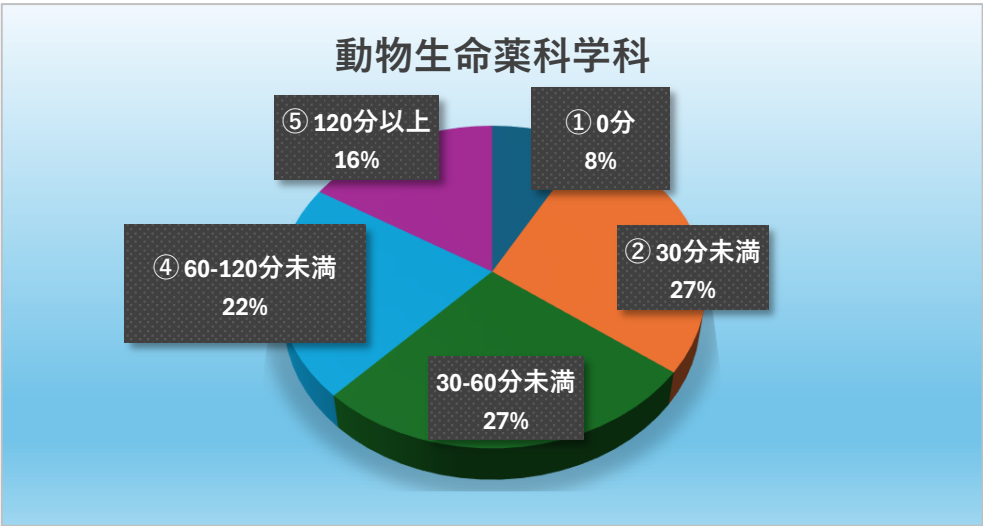
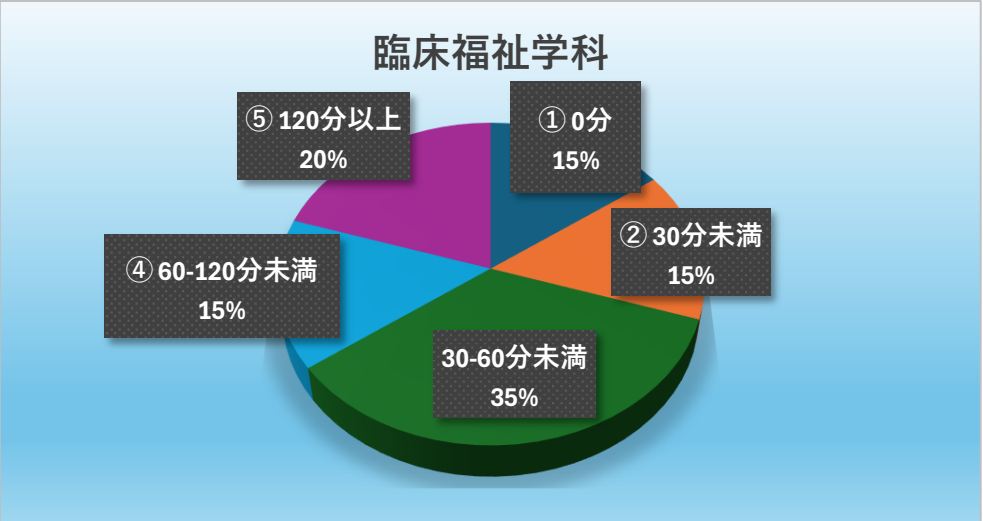
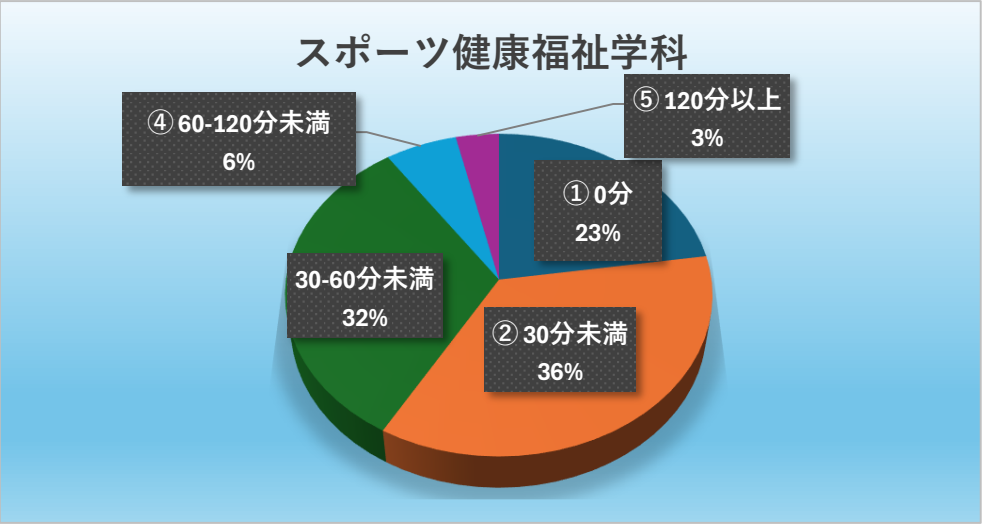


設問 I - 1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？



設問 1-2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？

行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
スポーツ健康福祉学科	19	30	27	5	3
1年	11	19	11	3	0
2年	6	6	4	0	1
3年	2	3	4	0	1
4年	0	2	8	2	1
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床福祉学科	3	3	7	3	4
2年	2	0	3	1	1
3年	1	3	3	1	0
4年	0	0	1	1	3
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
動物生命薬科学科	3	10	10	8	6
1年	2	3	4	4	3
2年	0	2	3	2	1
3年	1	3	2	2	0
4年	0	2	1	0	2
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
生命医科学科	15	27	31	20	23
1年	5	7	6	4	3
2年	3	9	11	4	4
3年	5	6	9	5	3
4年	2	5	5	7	13
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床心理学科	4	14	10	7	2
1年	2	6	4	0	0
2年	2	3	1	1	0
3年	0	3	2	2	0
4年	0	2	3	4	2
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科	10	25	49	51	77
1年	1	3	10	16	4
2年	3	3	9	5	14
3年	0	6	11	4	5
4年	2	6	12	13	12
5年	3	5	4	7	7
6年	1	2	3	6	35
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
大学全体	54	109	134	94	115
行ラベル	① 0分	② 30分未満	30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科以外	44	84	85	43	38
1年	20	35	25	11	6
2年	13	20	22	8	7
3年	9	18	20	10	4
4年	2	11	18	14	21



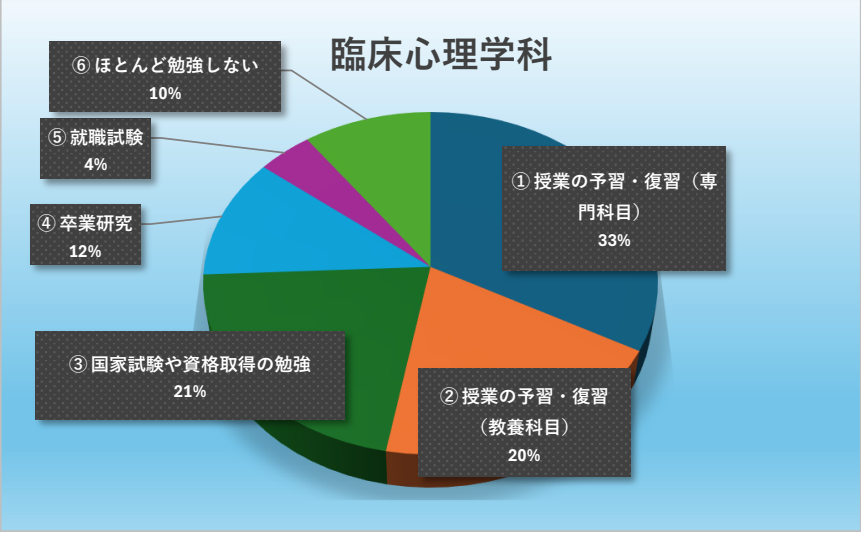
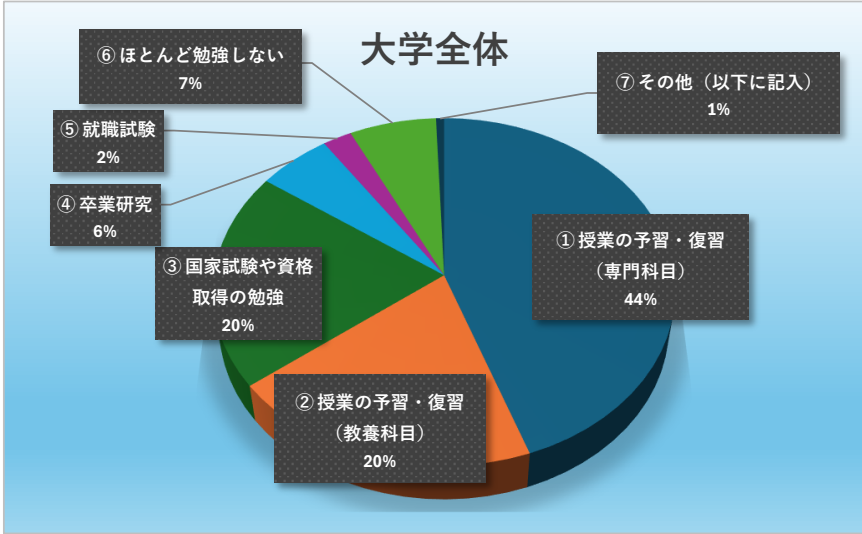
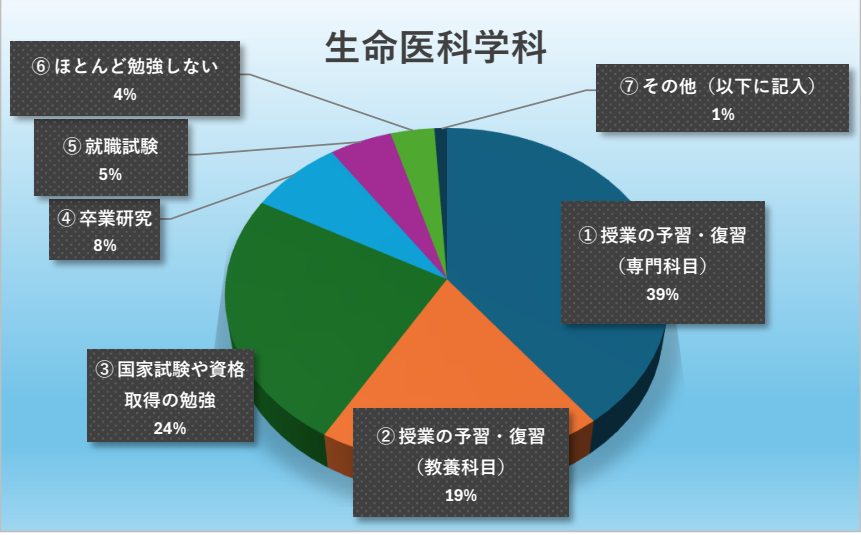
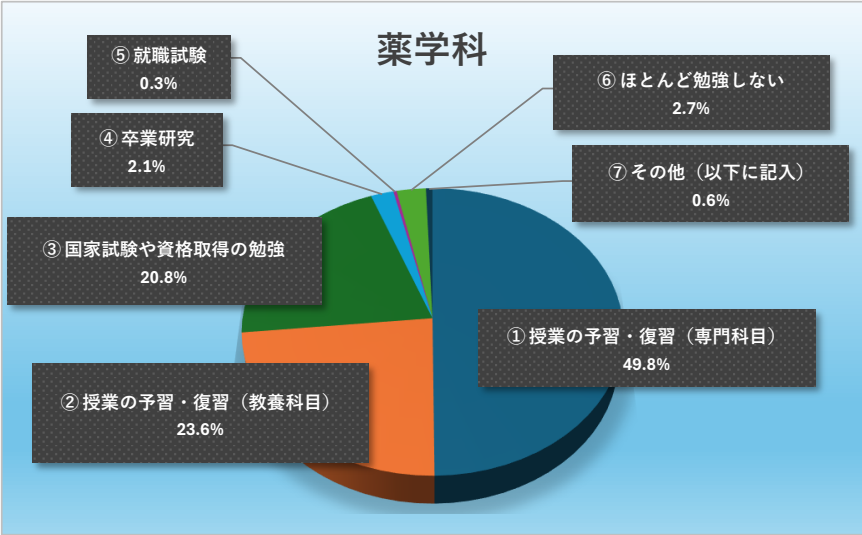
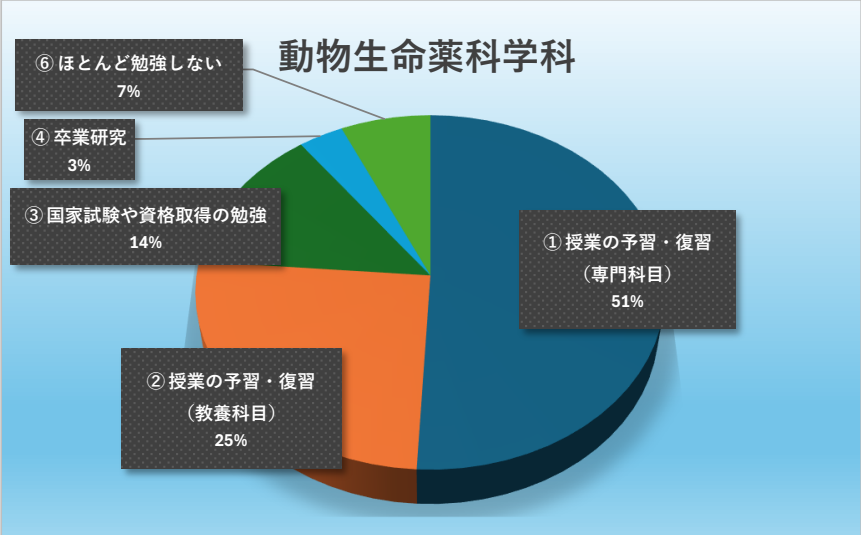
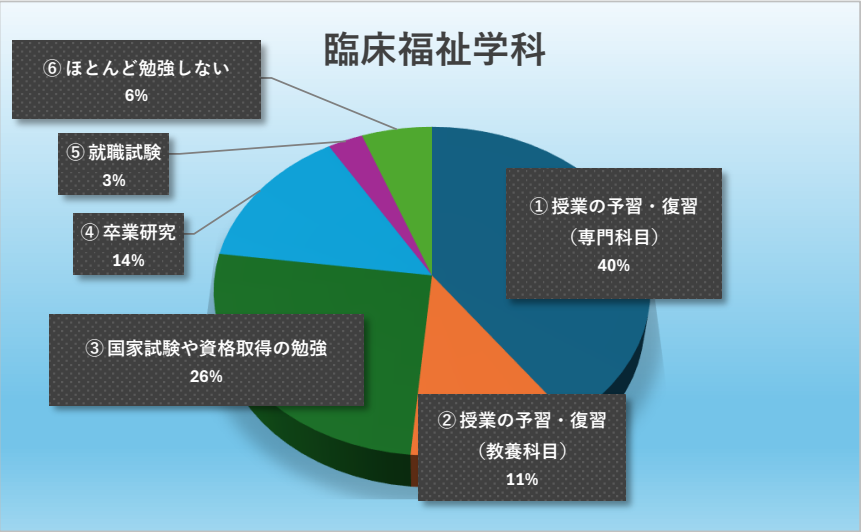
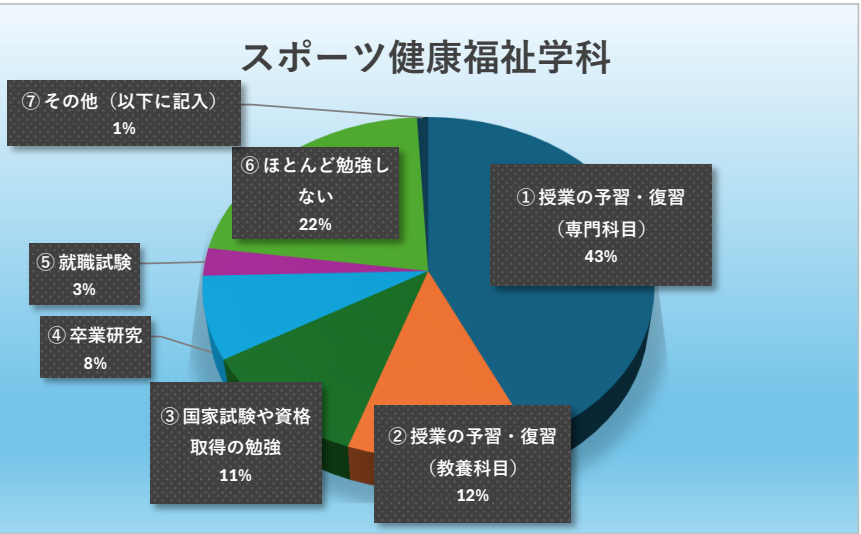
設問 1-2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？



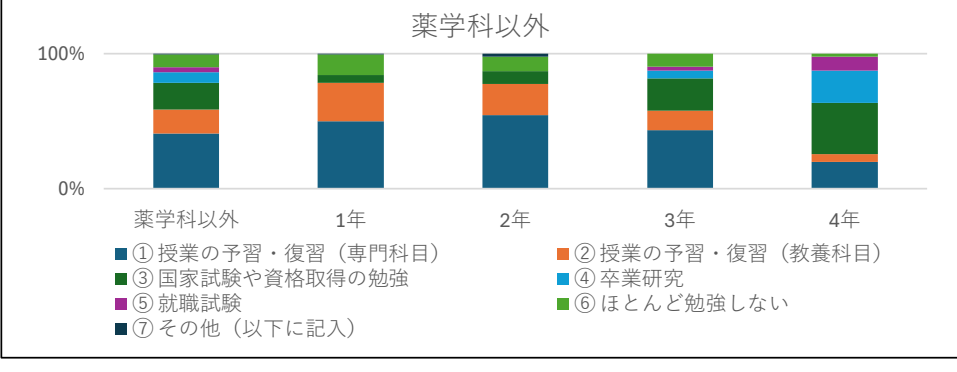
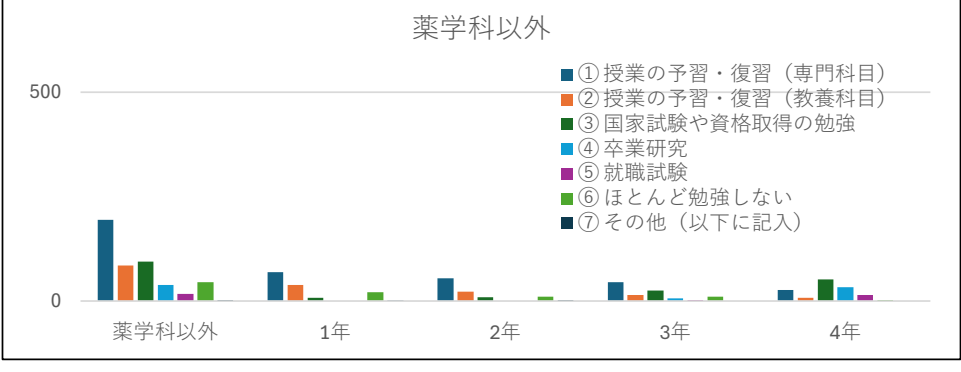
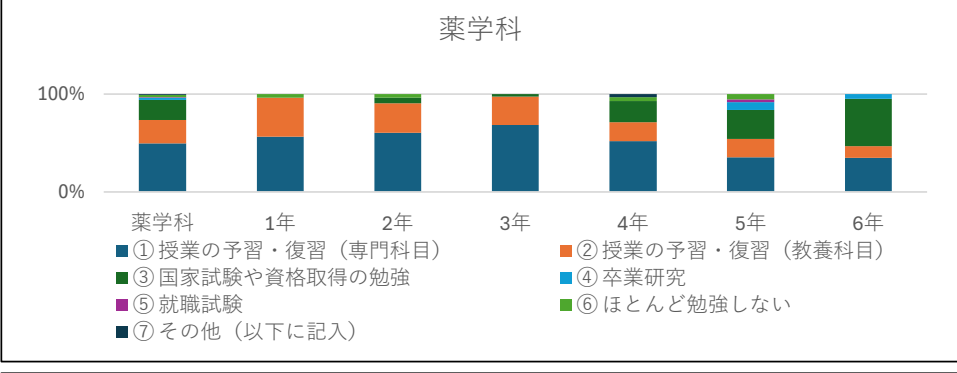
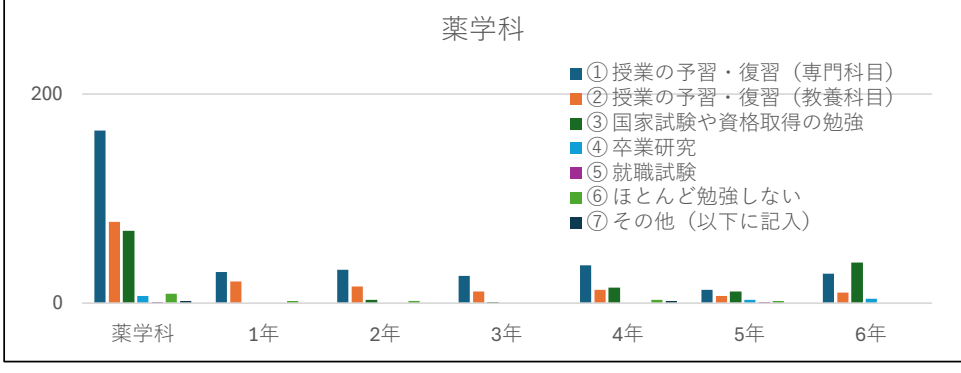
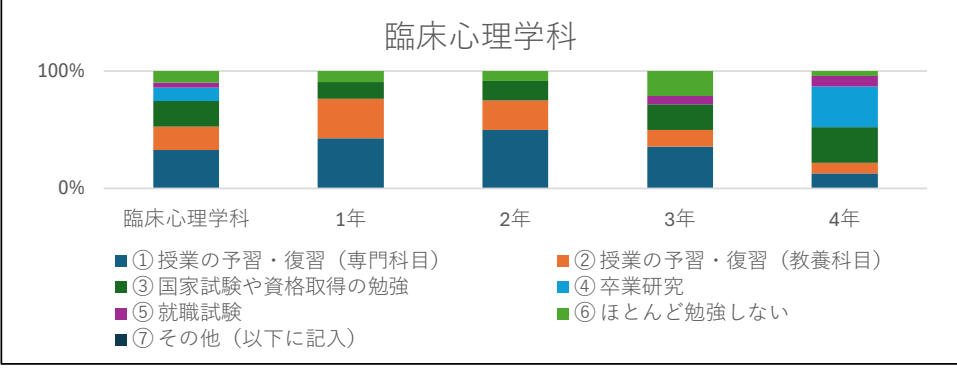
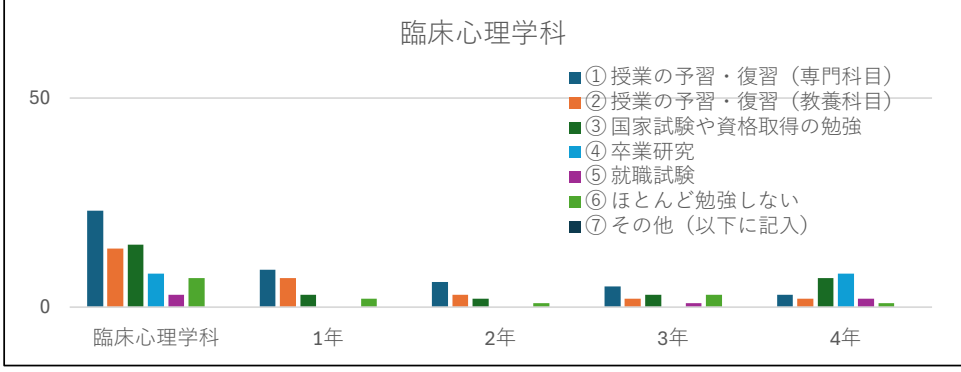
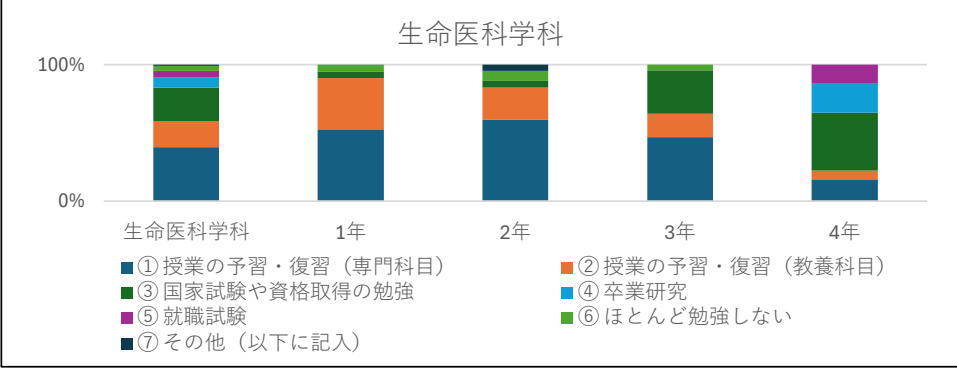
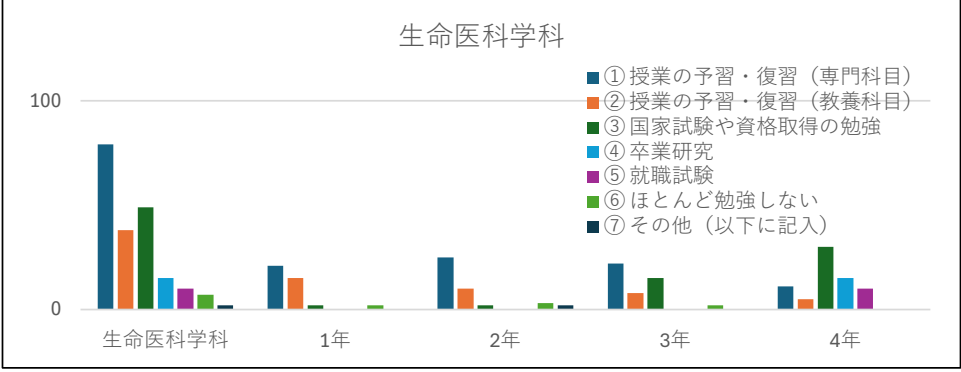
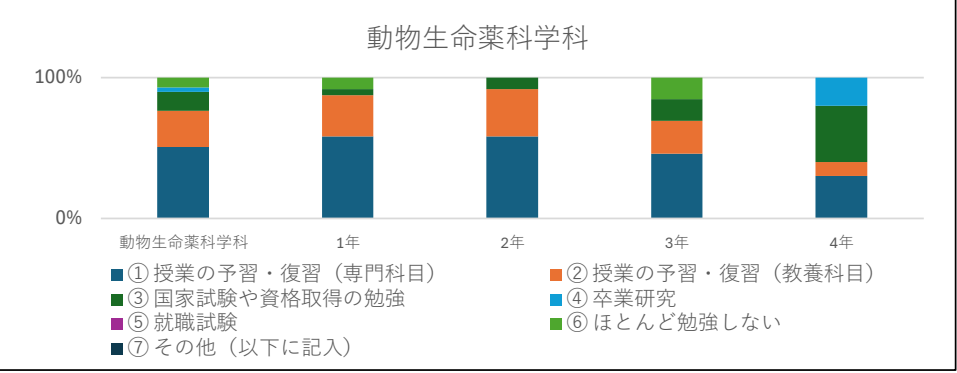
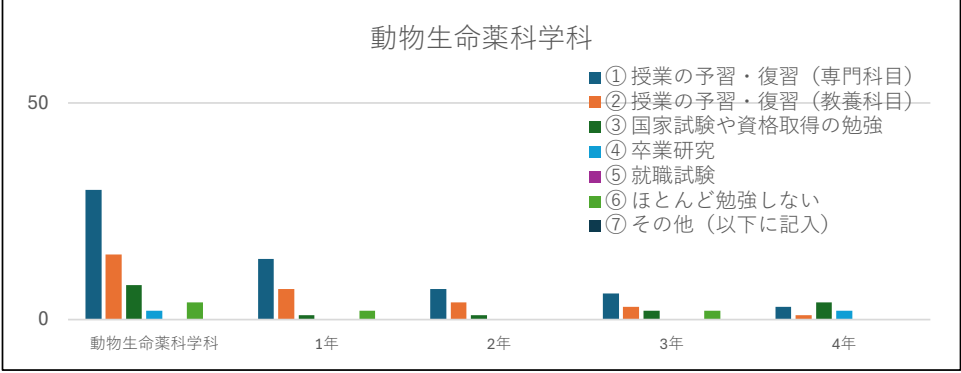
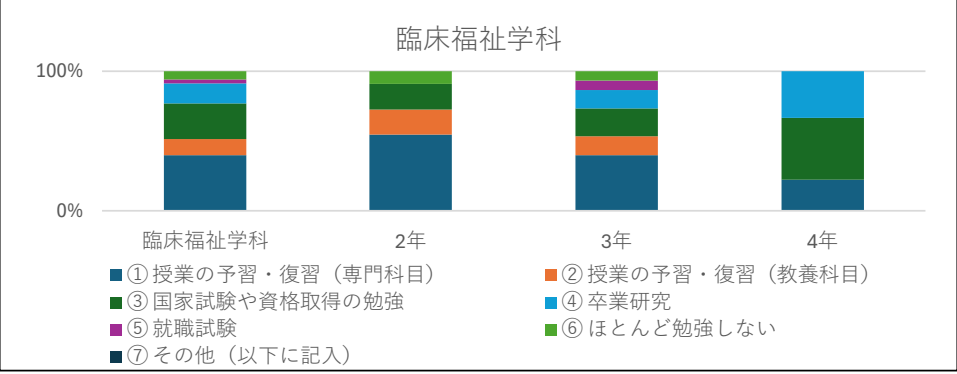
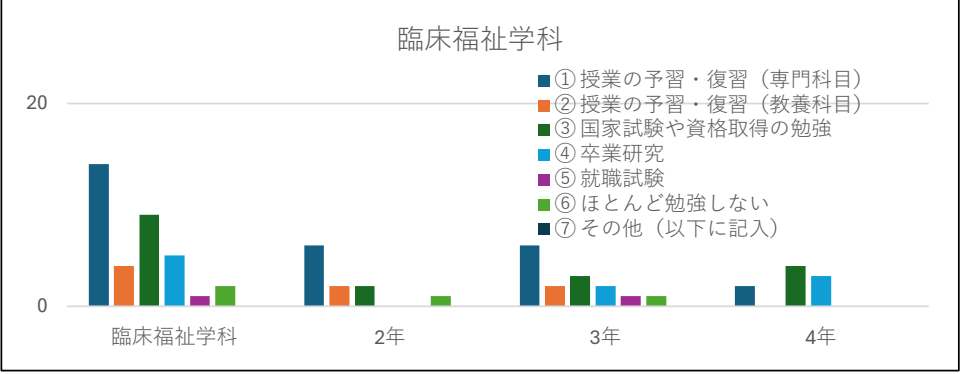
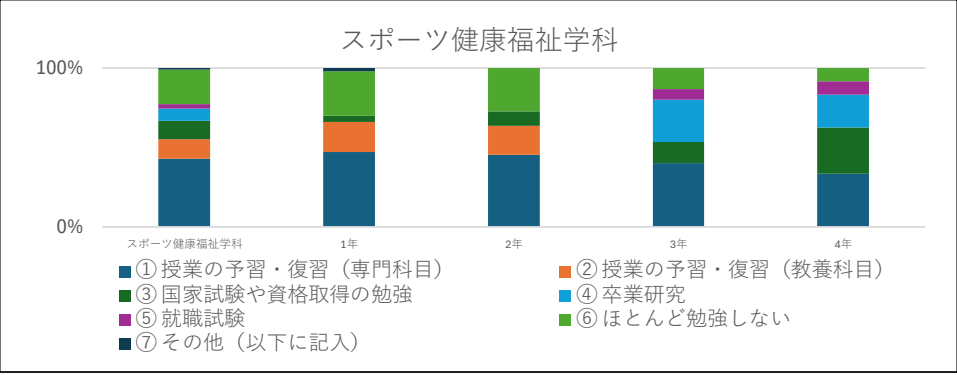
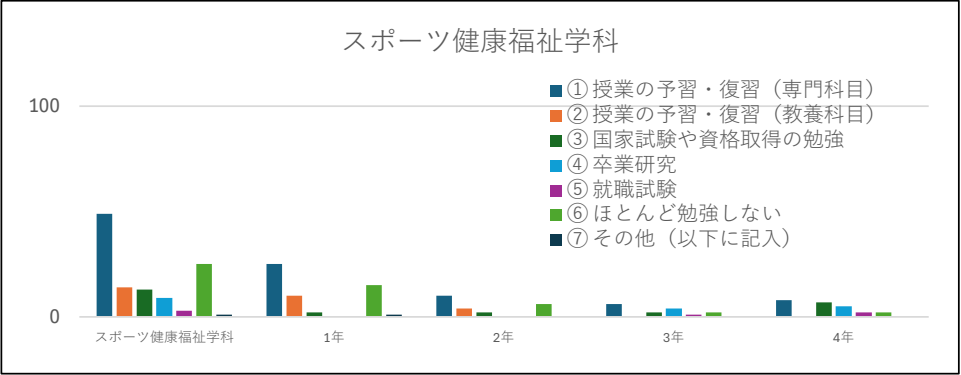
設問 1-3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	49	14	13	9	3	25	1
1年	25	10	2	0	0	15	1
2年	10	4	2	0	0	6	0
3年	6	0	2	4	1	2	0
4年	8	0	7	5	2	2	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
臨床福祉学科	14	4	9	5	1	2	0
2年	6	2	2	0	0	1	0
3年	6	2	3	2	1	1	0
4年	2	0	4	3	0	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
動物生命薬科学科	30	15	8	2	0	4	0
1年	14	7	1	0	0	2	0
2年	7	4	1	0	0	0	0
3年	6	3	2	0	0	2	0
4年	3	1	4	2	0	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
生命医科学科	79	38	49	15	10	7	2
1年	21	15	2	0	0	2	0
2年	25	10	2	0	0	3	2
3年	22	8	15	0	0	2	0
4年	11	5	30	15	10	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
臨床心理学科	23	14	15	8	3	7	0
1年	9	7	3	0	0	2	0
2年	6	3	2	0	0	1	0
3年	5	2	3	0	1	3	0
4年	3	2	7	8	2	1	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
薬学科	165	78	69	7	1	9	2
1年	30	21	0	0	0	2	0
2年	32	16	3	0	0	2	0
3年	26	11	1	0	0	0	0
4年	36	13	15	0	0	3	2
5年	13	7	11	3	1	2	0
6年	28	10	39	4	0	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
大学全体	360	163	163	46	18	54	5
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
薬学科以外	195	85	94	39	17	45	3
1年	69	39	8	0	0	21	1
2年	54	23	9	0	0	11	2
3年	45	15	25	6	3	10	0
4年	27	8	52	33	14	3	0

【授業のある日の学修内容（回答者5名）】
主に授業（実習）の予習復習・小テストやCBT対策、留学に備えた英語学習などを学修している。



設問 I-3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

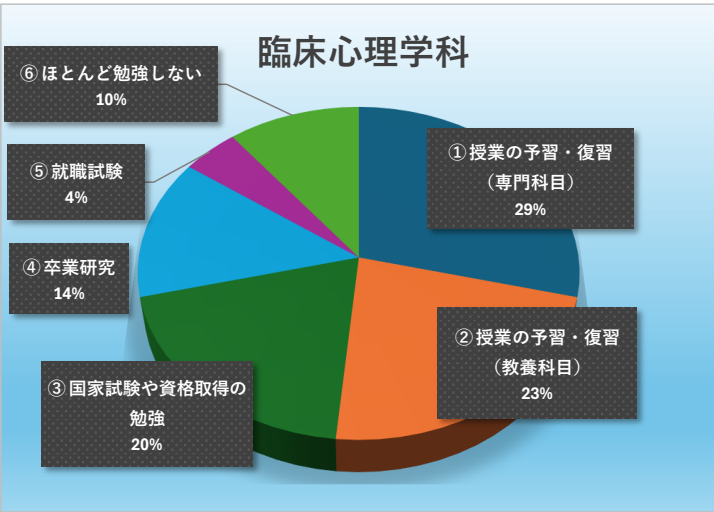
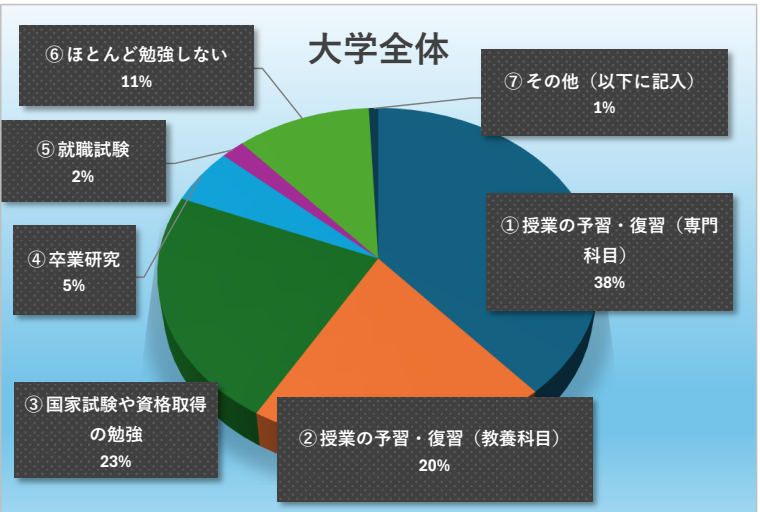
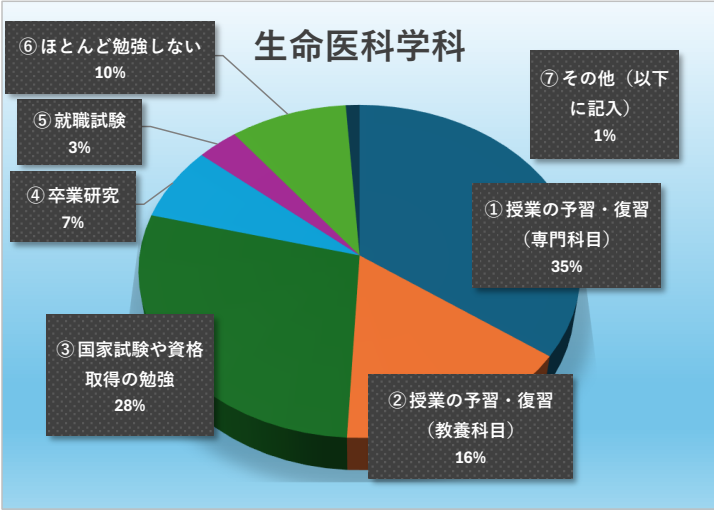
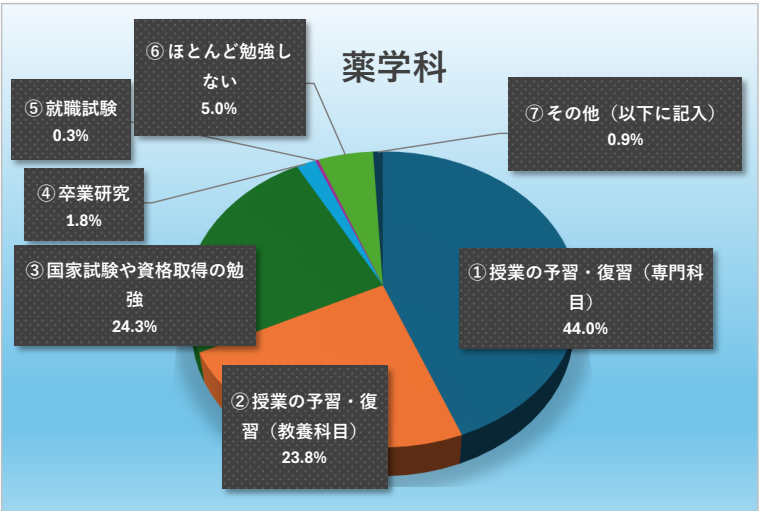
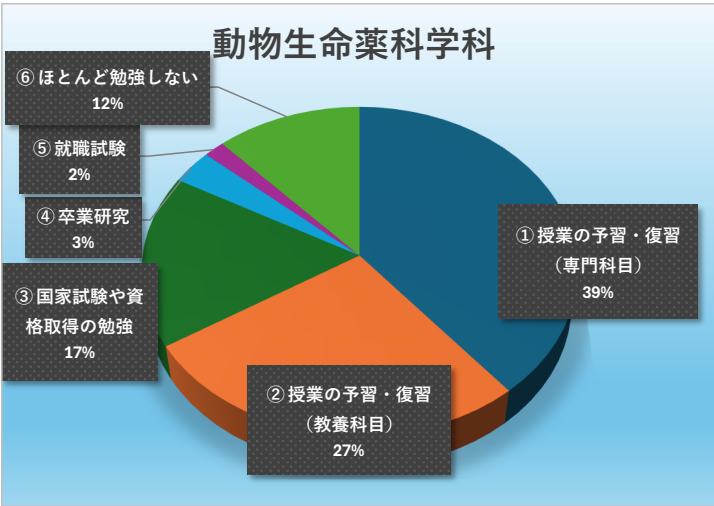
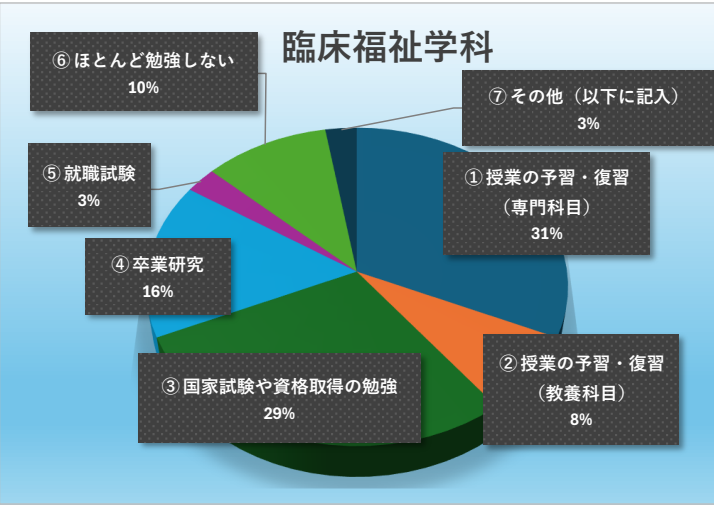
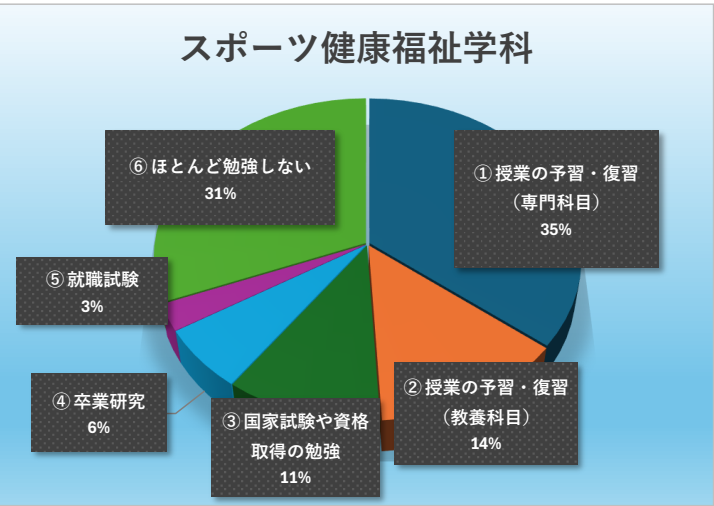


設問Ⅰ－４．授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	39	15	12	7	3	34	0
1年	22	11	2	0	0	19	0
2年	6	2	1	0	0	10	0
3年	5	0	1	3	1	4	0
4年	6	2	8	4	2	1	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
臨床福祉学科	12	3	11	6	1	4	1
2年	4	2	3	0	0	3	0
3年	6	1	3	3	1	1	0
4年	2	0	5	3	0	0	1
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
動物生命薬科学科	23	16	10	2	1	7	0
1年	13	9	1	0	0	3	0
2年	5	3	2	0	0	1	0
3年	3	3	3	0	0	3	0
4年	2	1	4	2	1	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
生命医科学科	63	29	51	13	6	17	2
1年	17	12	1	1	0	7	0
2年	20	7	4	0	0	7	2
3年	17	7	18	0	0	2	0
4年	9	3	28	12	6	1	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
臨床心理学科	19	15	13	9	3	7	0
1年	9	8	3	0	0	1	0
2年	4	3	2	0	0	3	0
3年	4	2	2	2	1	2	0
4年	2	2	6	7	2	1	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
薬学科	150	81	83	6	1	17	3
1年	29	22	0	0	0	4	0
2年	29	20	4	0	0	5	0
3年	24	12	4	0	0	1	0
4年	32	13	21	0	0	4	3
5年	12	6	14	3	1	3	0
6年	24	8	40	3	0	0	0
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
大学全体	306	159	180	43	15	86	6
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
薬学科以外	156	78	97	37	14	69	3
1年	61	40	7	1	0	30	0
2年	39	17	12	0	0	24	2
3年	35	13	27	8	3	12	0
4年	21	8	51	28	11	3	1

【授業のない日の学修内容（回答者6名）】

主に小テストやCBT対策、課題、留学に向けた英語学習、就職活動さらにAIや文章作成など、幅広い内容の学修に取り組んでいる。



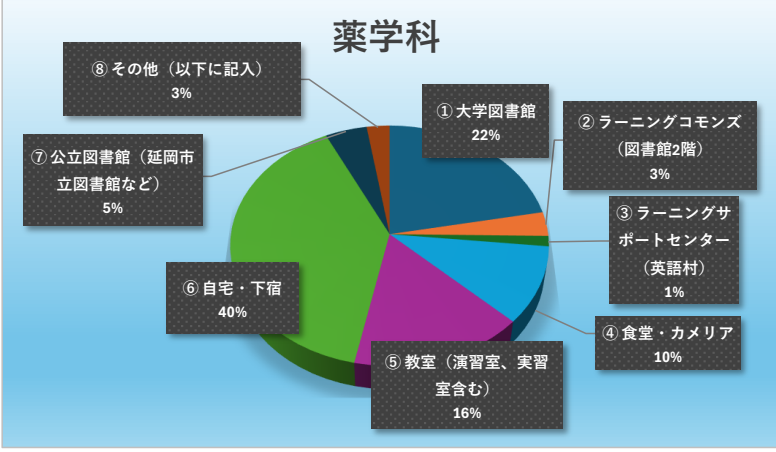
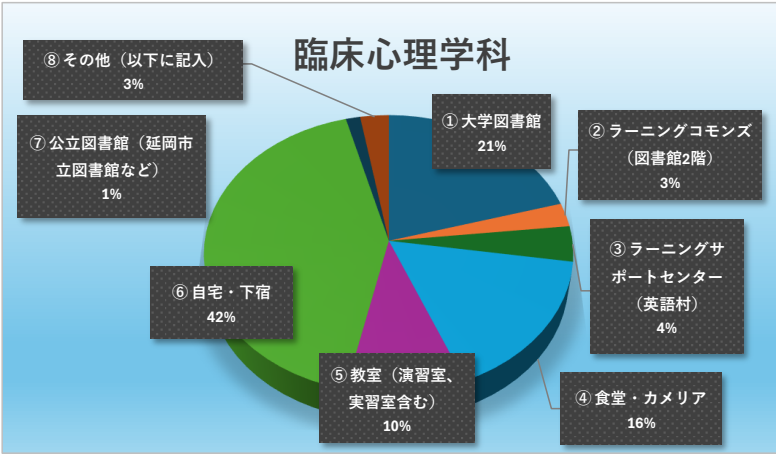
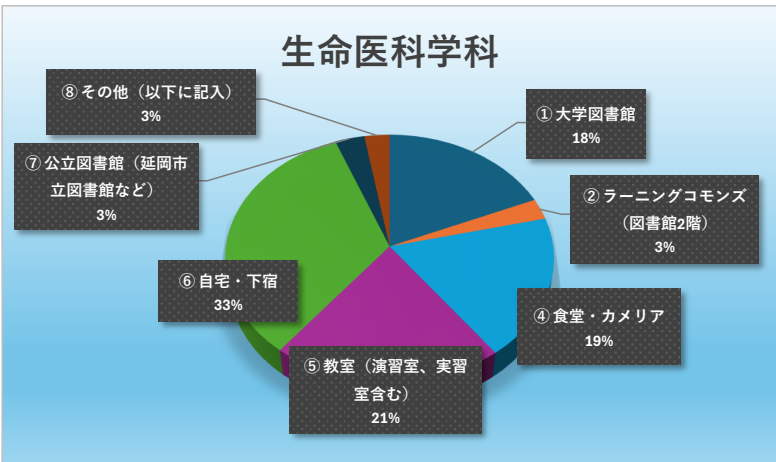
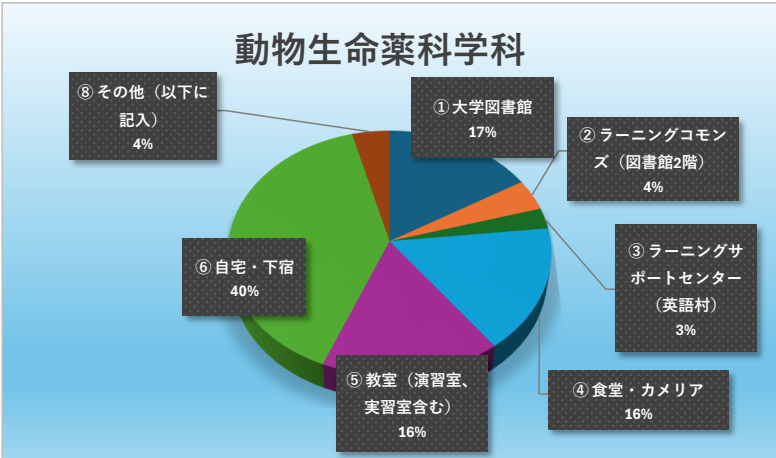
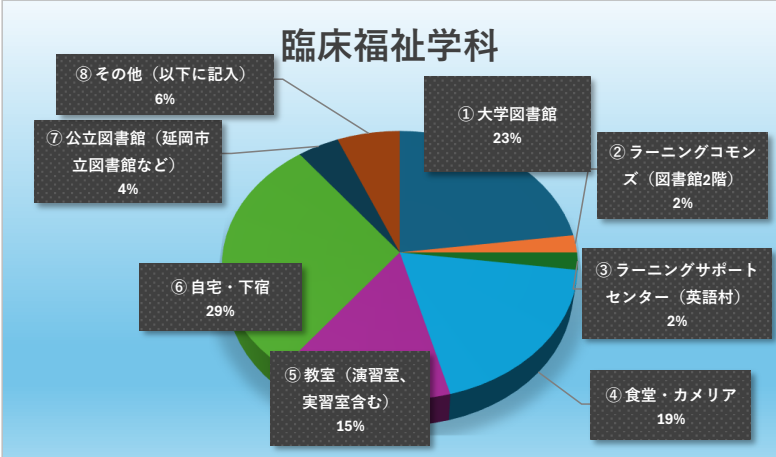
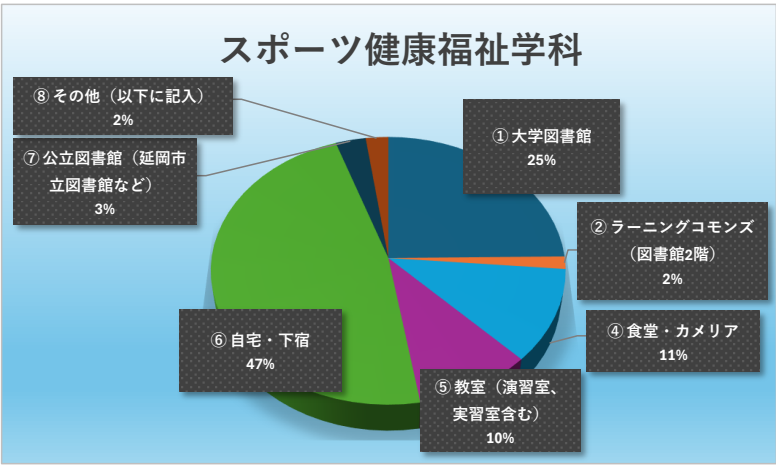
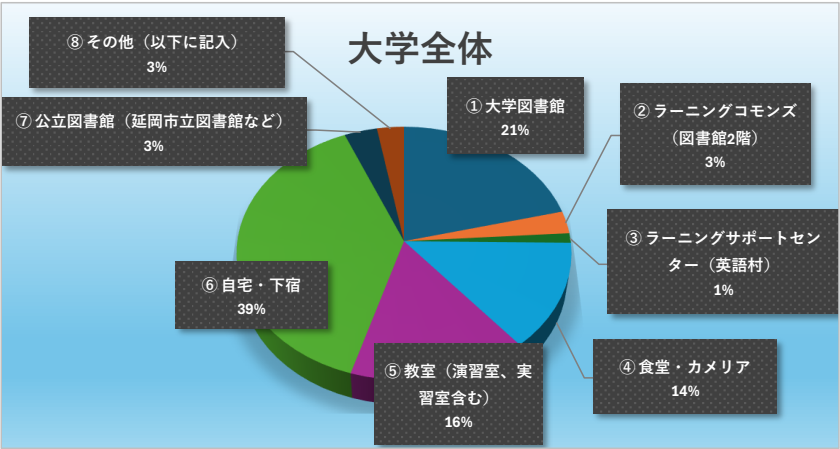
設問 1-4. 授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）



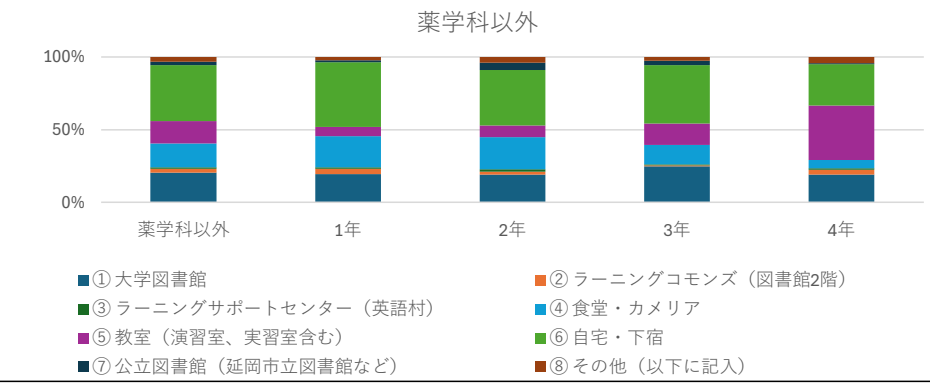
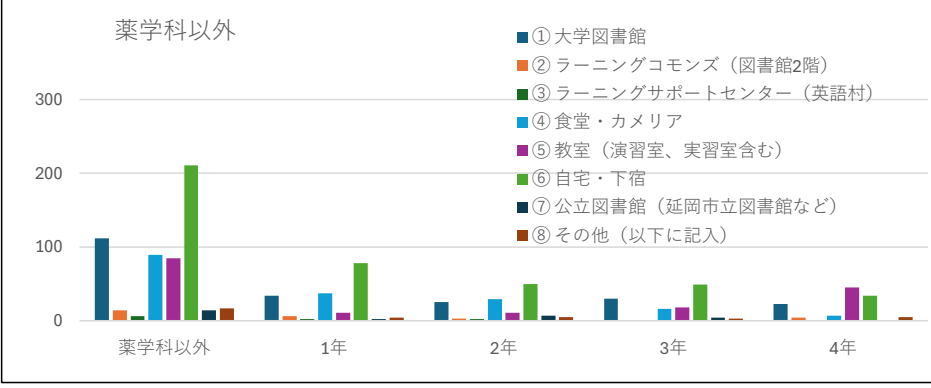
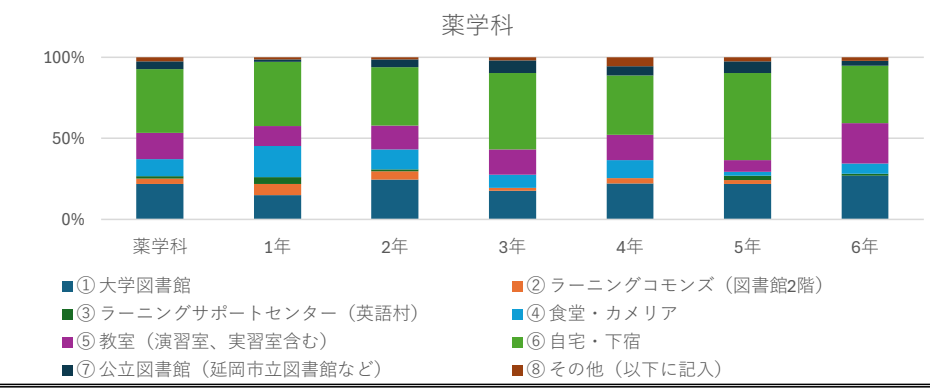
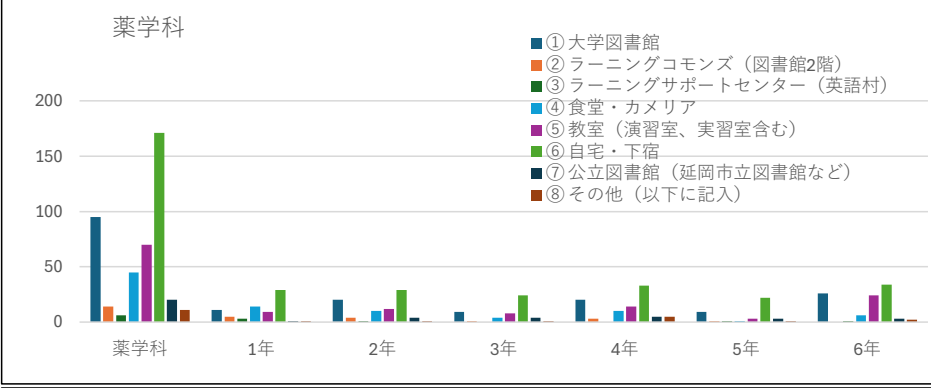
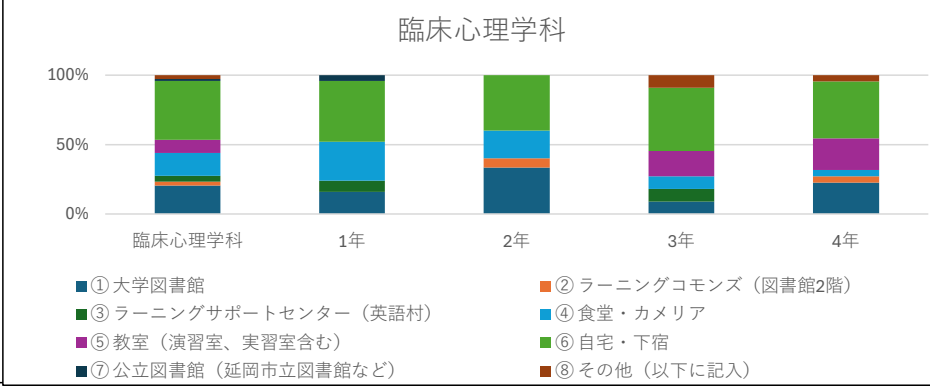
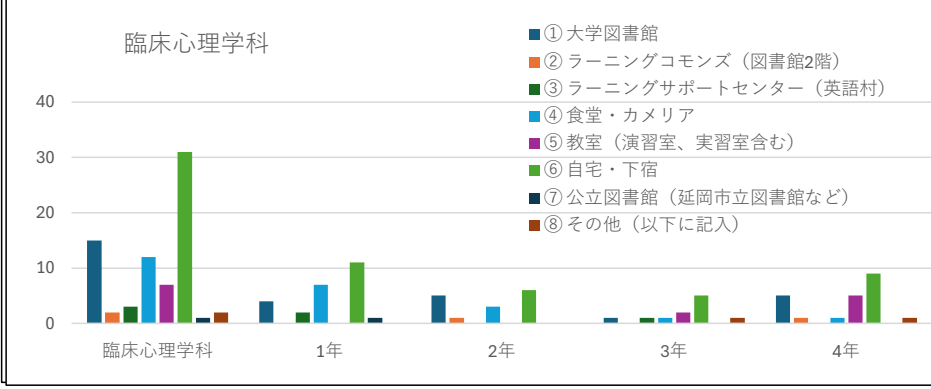
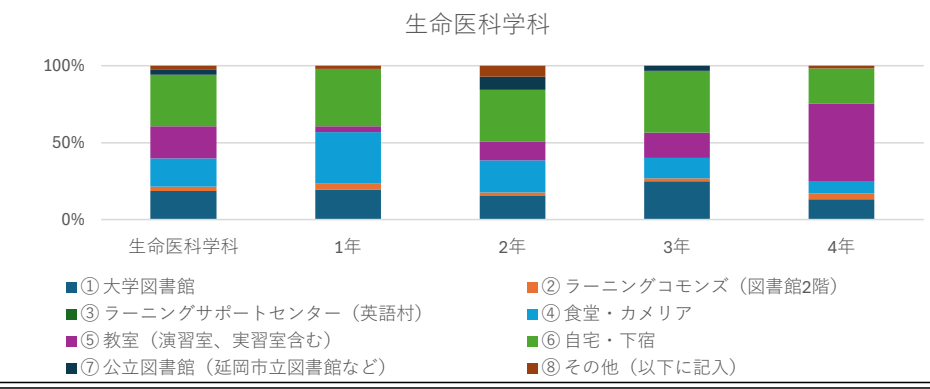
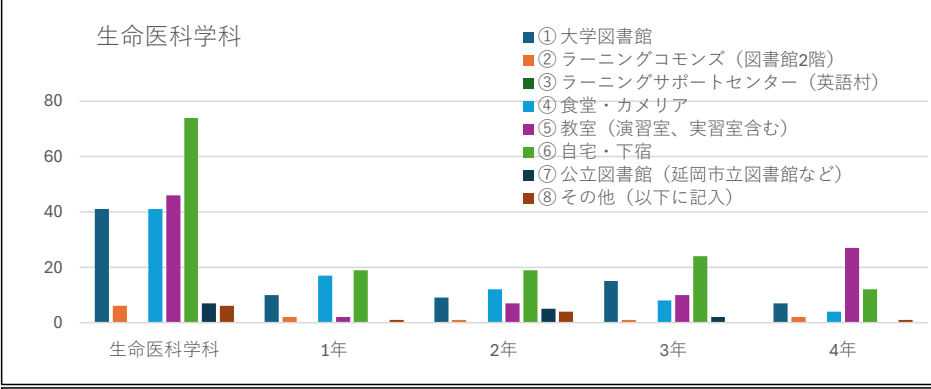
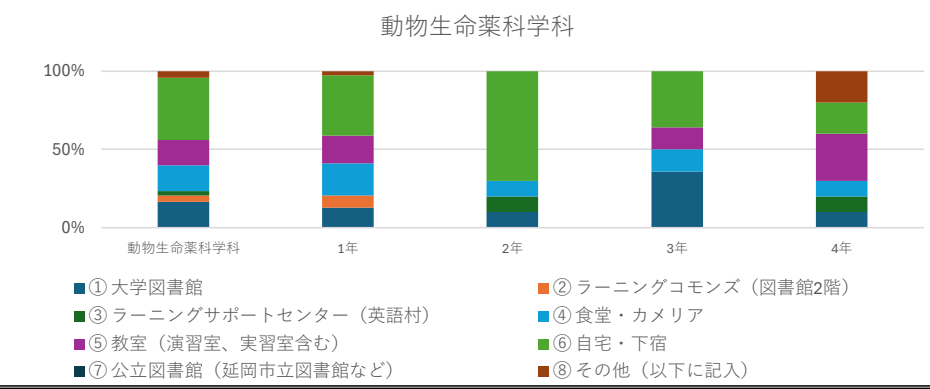
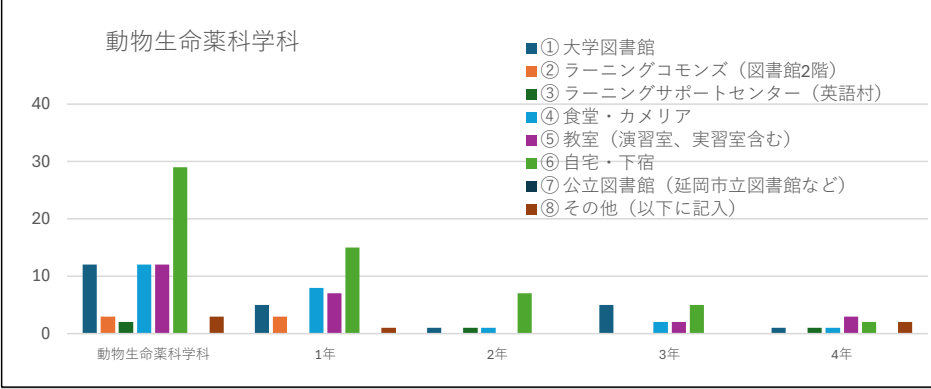
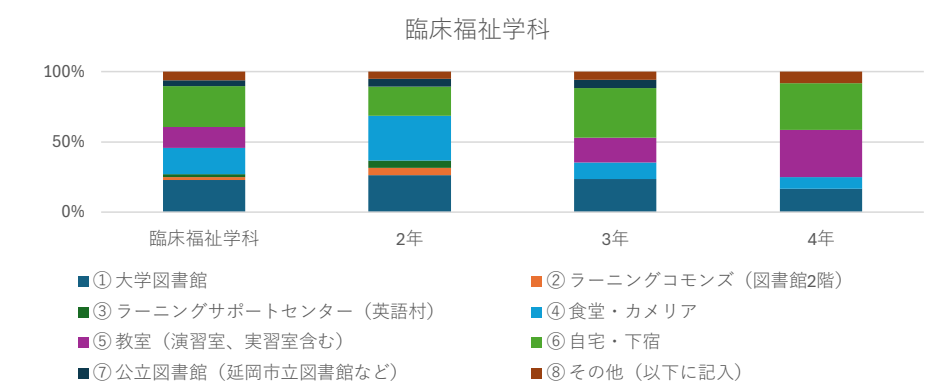
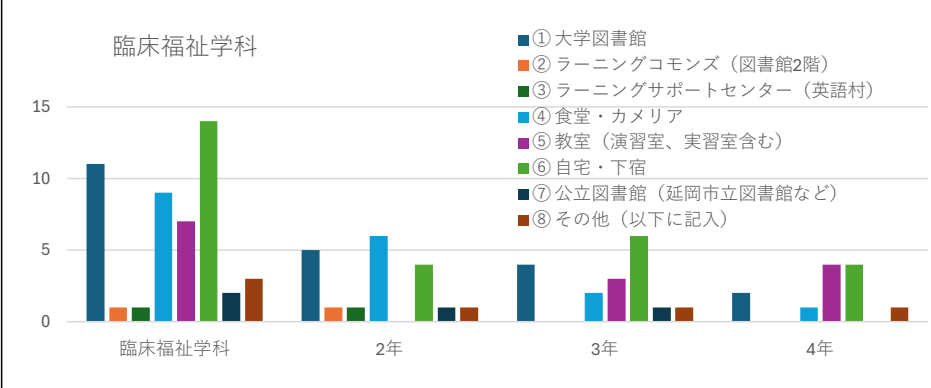
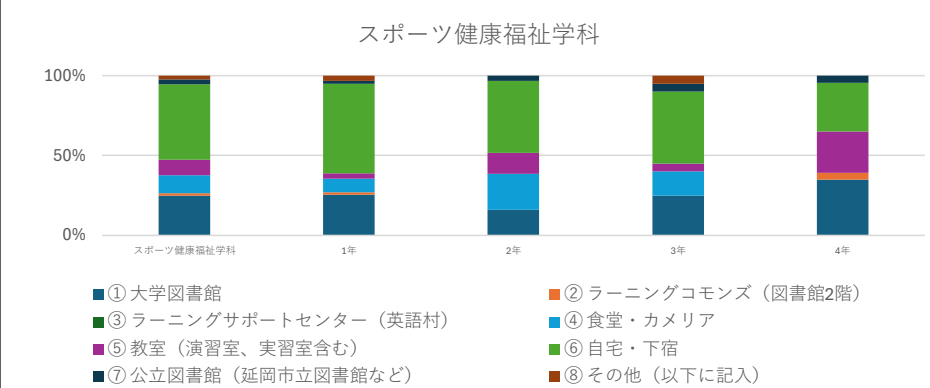
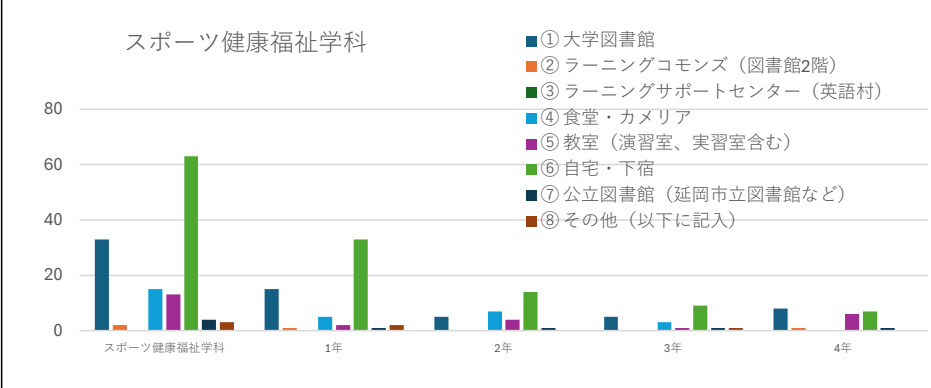
設問 1-5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答）

行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
スポーツ健康福祉学科	33	2	0	15	13	63	4	3
1年	15	1	0	5	2	33	1	2
2年	5	0	0	7	4	14	1	0
3年	5	0	0	3	1	9	1	1
4年	8	1	0	0	6	7	1	0
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
臨床福祉学科	11	1	1	9	7	14	2	3
2年	5	1	1	6	0	4	1	1
3年	4	0	0	2	3	6	1	1
4年	2	0	0	1	4	4	0	1
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
動物生命薬科学科	12	3	2	12	12	29	0	3
1年	5	3	0	8	7	15	0	1
2年	1	0	1	1	0	7	0	0
3年	5	0	0	2	2	5	0	0
4年	1	0	1	1	3	2	0	2
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
生命医科学科	41	6	0	41	46	74	7	6
1年	10	2	0	17	2	19	0	1
2年	9	1	0	12	7	19	5	4
3年	15	1	0	8	10	24	2	0
4年	7	2	0	4	27	12	0	1
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
臨床心理学科	15	2	3	12	7	31	1	2
1年	4	0	2	7	0	11	1	0
2年	5	1	0	3	0	6	0	0
3年	1	0	1	1	2	5	0	1
4年	5	1	0	1	5	9	0	1
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
薬学科	95	14	6	45	70	171	20	11
1年	11	5	3	14	9	29	1	1
2年	20	4	1	10	12	29	4	1
3年	9	1	0	4	8	24	4	1
4年	20	3	0	10	14	33	5	5
5年	9	1	1	1	3	22	3	1
6年	26	0	1	6	24	34	3	2
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
大学全体	207	28	12	134	155	382	34	28
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニング グコモンズ （図書館2階）	③ ラーニング グサポート センター （英語村）	④ 食堂・カ メリア	⑤ 教室（演 習室、実習 室含む）	⑥ 自宅・下 宿	⑦ 公立図書 館（延岡市 立図書館な ど）	⑧ その他 （以下に記 入）
薬学科以外	112	14	6	89	85	211	14	17
1年	34	6	2	37	11	78	2	4
2年	25	3	2	29	11	50	7	5
3年	30	1	1	16	18	49	4	3
4年	23	4	1	7	45	34	1	5

【授業以外の学習場所】 回答者22名
主に授業以外の時間は、電車内や駅（特に延岡駅・エンクロス）、カフェ、ファミレス、学内では英語村、研究室、サークル内などで学修している。



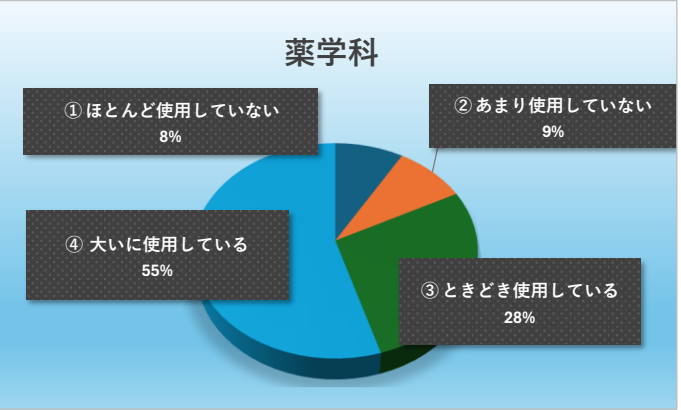
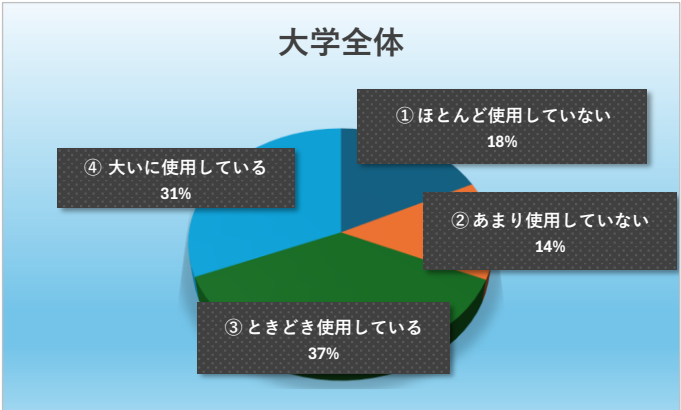
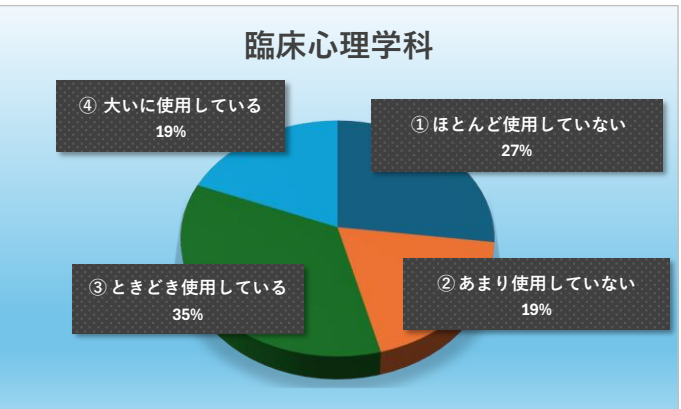
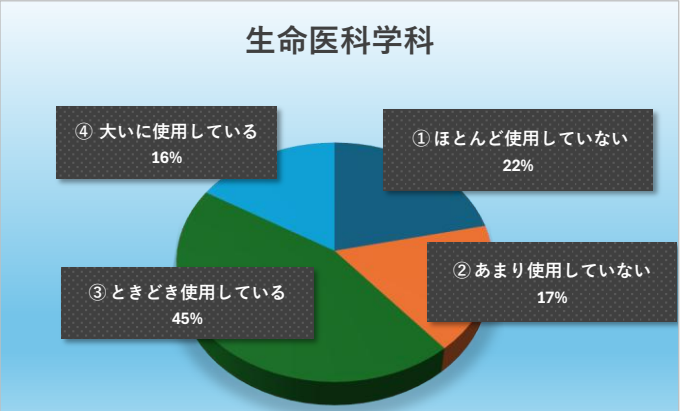
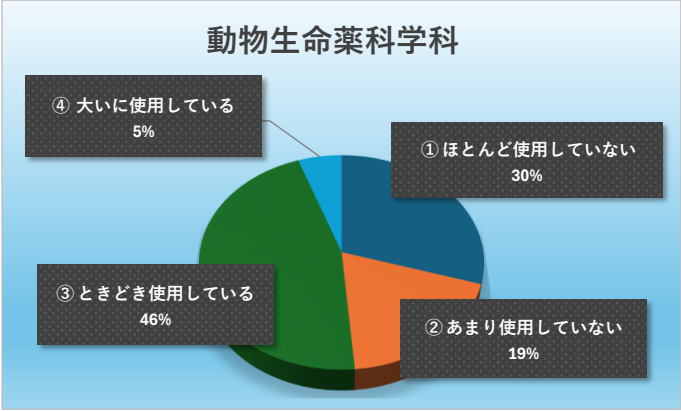
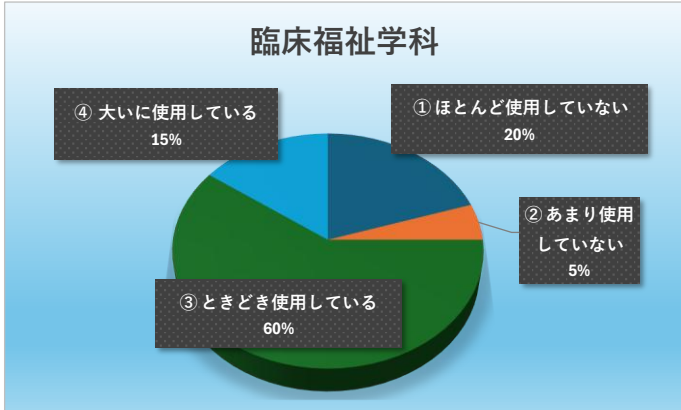
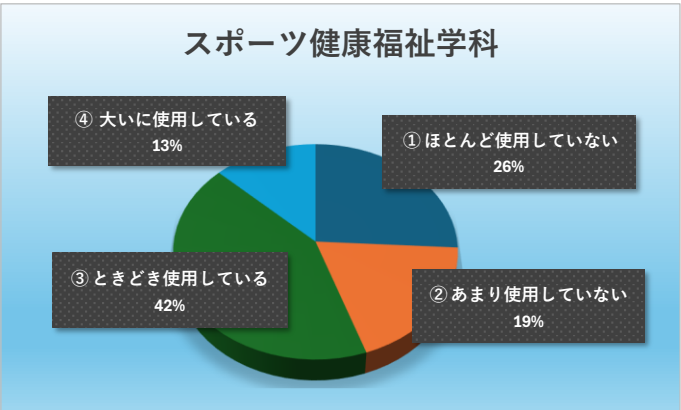
設問 I-5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答）



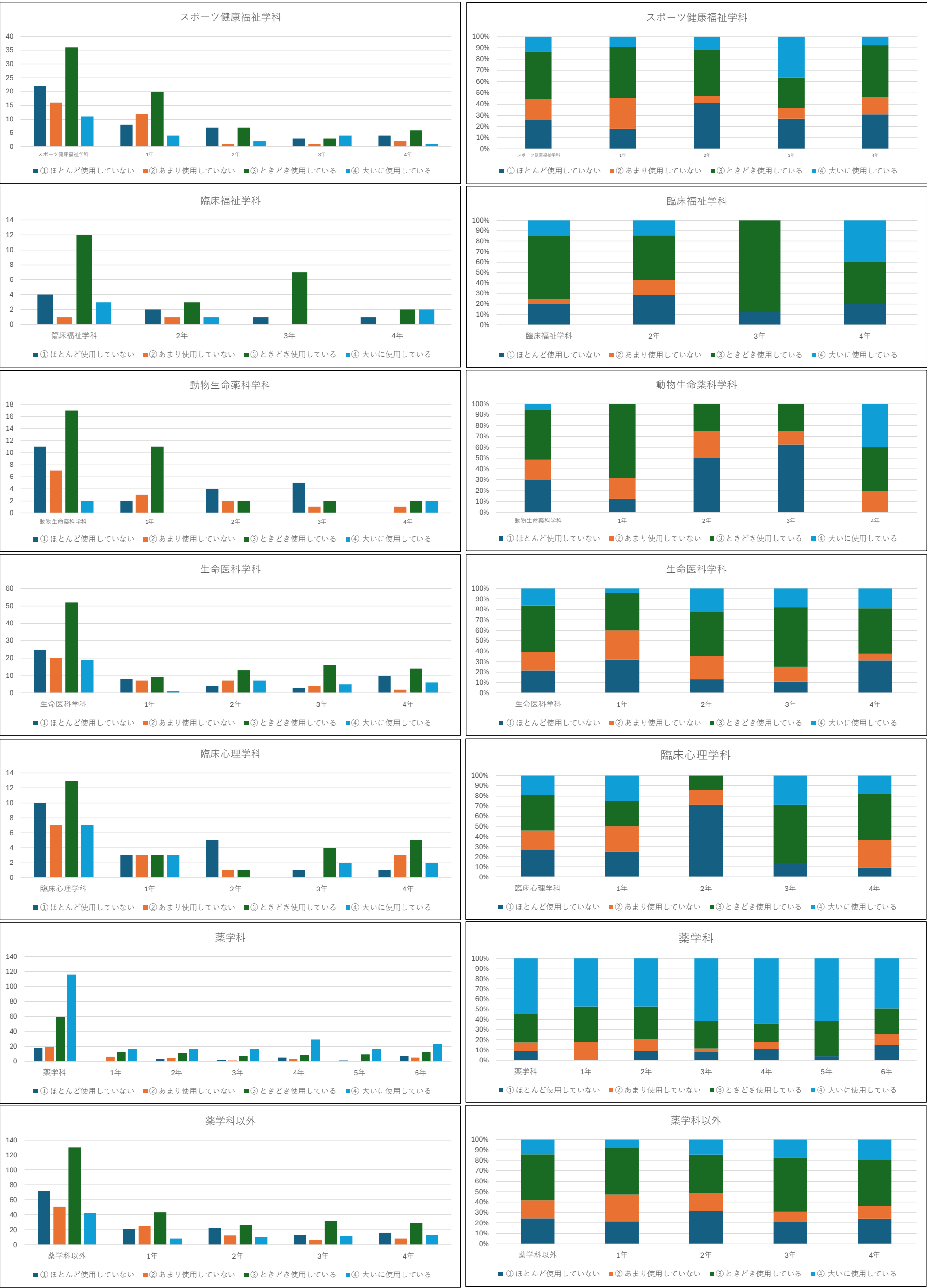
設問 I-6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？

行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
スポーツ健康福祉学科	22	16	36	11
1年	8	12	20	4
2年	7	1	7	2
3年	3	1	3	4
4年	4	2	6	1
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
臨床福祉学科	4	1	12	3
2年	2	1	3	1
3年	1	0	7	0
4年	1	0	2	2
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
動物生命薬科学科	11	7	17	2
1年	2	3	11	0
2年	4	2	2	0
3年	5	1	2	0
4年	0	1	2	2
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
生命医科学科	25	20	52	19
1年	8	7	9	1
2年	4	7	13	7
3年	3	4	16	5
4年	10	2	14	6
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
臨床心理学科	10	7	13	7
1年	3	3	3	3
2年	5	1	1	0
3年	1	0	4	2
4年	1	3	5	2
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
薬学科	18	19	59	116
1年	0	6	12	16
2年	3	4	11	16
3年	2	1	7	16
4年	5	3	8	29
5年	1	0	9	16
6年	7	5	12	23
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
大学全体	90	70	189	158
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
薬学科以外	72	51	130	42
1年	21	25	43	8
2年	22	12	26	10
3年	13	6	32	11
4年	16	8	29	13

【デジタルツールを使った学修】回答者41名
主にスマートフォン、パソコン、タブレット（特にiPad）などのデジタルツールを活用して学修している。
※主な利用目的
・YouTubeやインターネット検索で不明点の解消
・アプリ（GoodNotes、暗記カード、SATTなど）を使った学習
・講義資料、教科書等をPDF化して書き込み
・移動時間や空き時間での学習



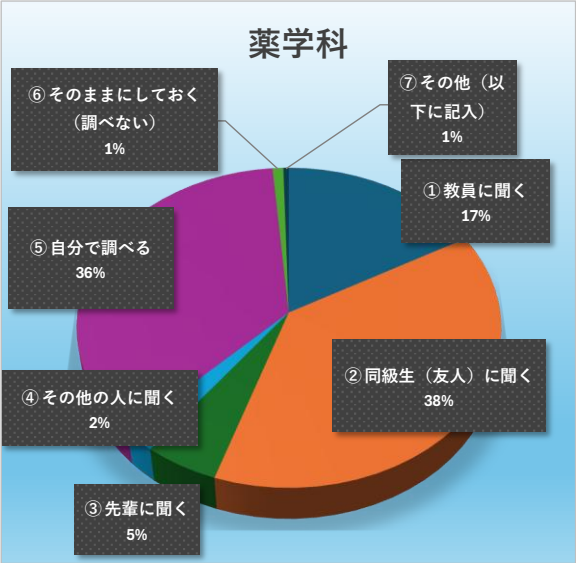
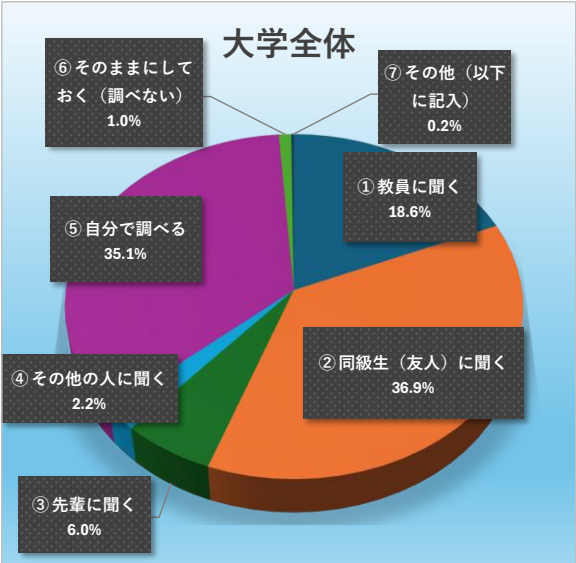
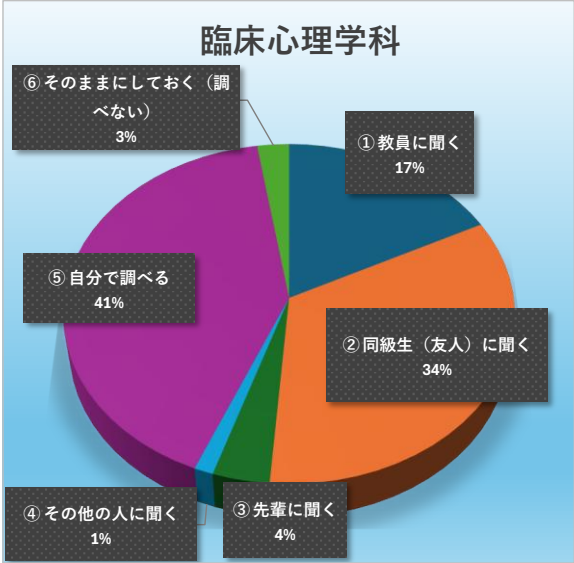
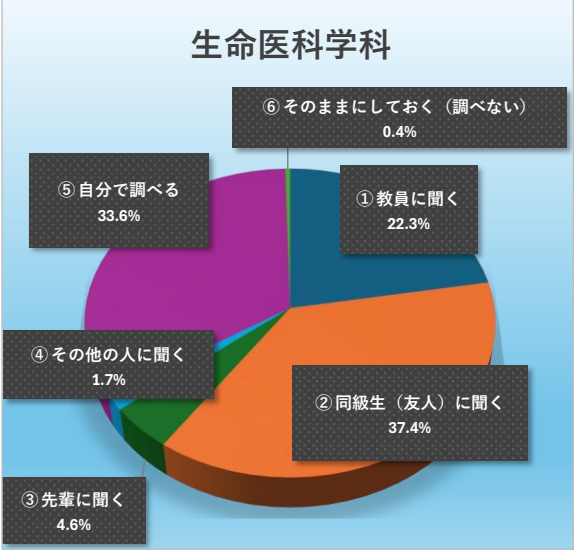
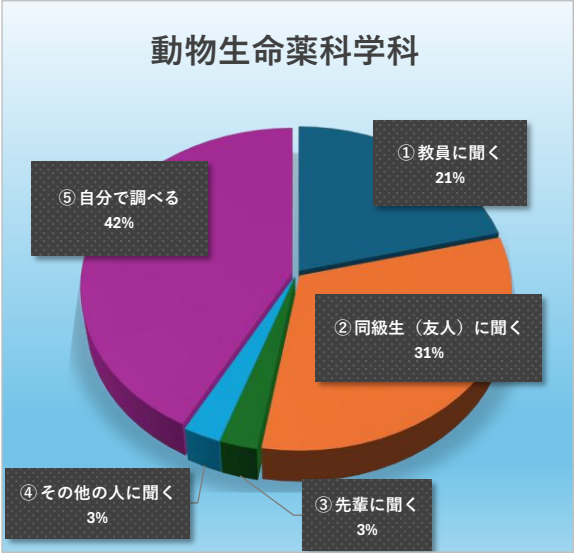
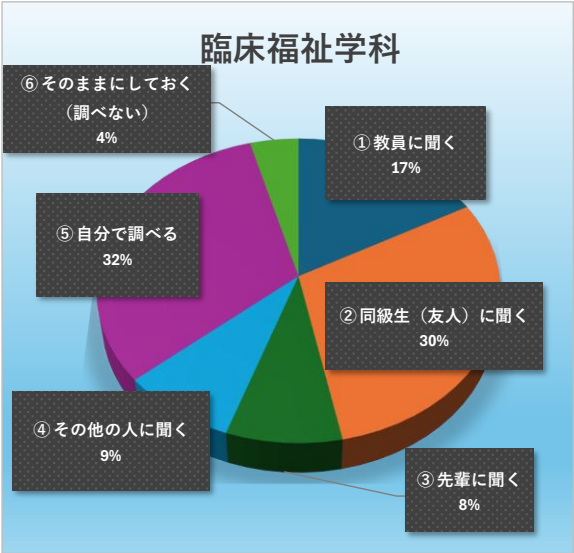
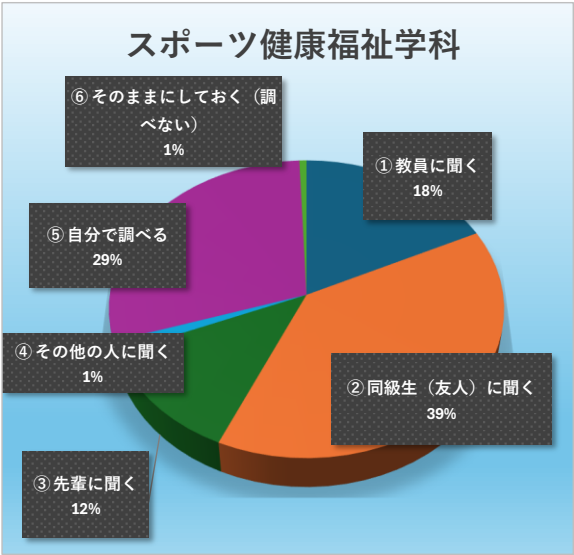
設問 1-6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？



設問 1-7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？（複数回答）

行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	28	61	19	2	46	1	0
1年	9	30	9	1	23	0	0
2年	4	13	5	0	9	1	0
3年	8	8	4	0	7	0	0
4年	7	10	1	1	7	0	0
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
臨床福祉学科	8	14	4	4	15	2	0
2年	3	5	0	2	4	1	0
3年	3	6	2	0	6	0	0
4年	2	3	2	2	5	1	0
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
動物生命薬科学科	16	24	2	2	32	0	0
1年	7	13	0	2	14	0	0
2年	3	2	1	0	5	0	0
3年	2	5	1	0	8	0	0
4年	4	4	0	0	5	0	0
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
生命医科学科	53	89	11	4	80	1	0
1年	7	18	5	2	19	0	0
2年	12	23	4	2	21	0	0
3年	14	23	2	0	23	0	0
4年	20	25	0	0	17	1	0
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
臨床心理学科	14	27	3	1	33	2	0
1年	2	9	1	0	11	0	0
2年	3	6	0	0	5	1	0
3年	2	4	1	0	6	1	0
4年	7	8	1	1	11	0	0
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
薬学科	75	170	23	10	160	4	2
1年	10	30	6	0	25	1	0
2年	20	28	1	0	25	0	1
3年	10	22	4	1	21	1	0
4年	13	38	9	3	31	1	0
5年	7	17	1	1	24	1	0
6年	15	35	2	5	34	0	1
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
大学全体	194	385	62	23	366	10	2
行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
薬学科以外	119	215	39	13	206	6	0
1年	25	70	15	5	67	0	0
2年	25	49	10	4	44	3	0
3年	29	46	10	0	50	1	0
4年	40	50	4	4	45	2	0

【授業以外の学修中に分からない内容の対処法（複数回答）】回答者2名
主に授業以外の学修で分からない内容があった場合は、薬ゼミの講座を利用したり、予備校講師に質問するなどして解決している。

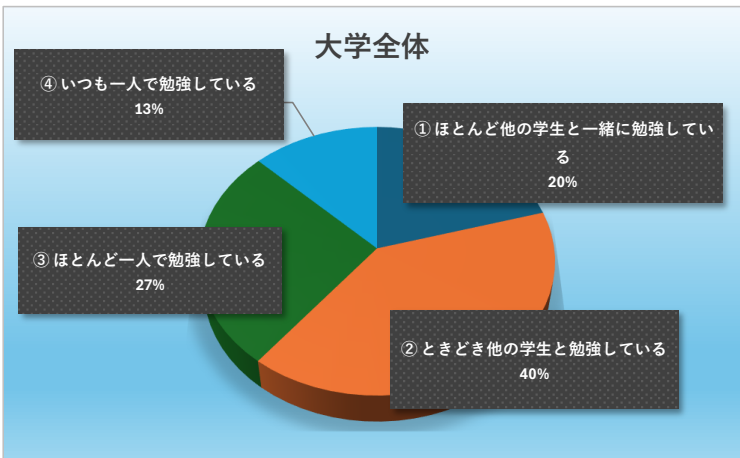
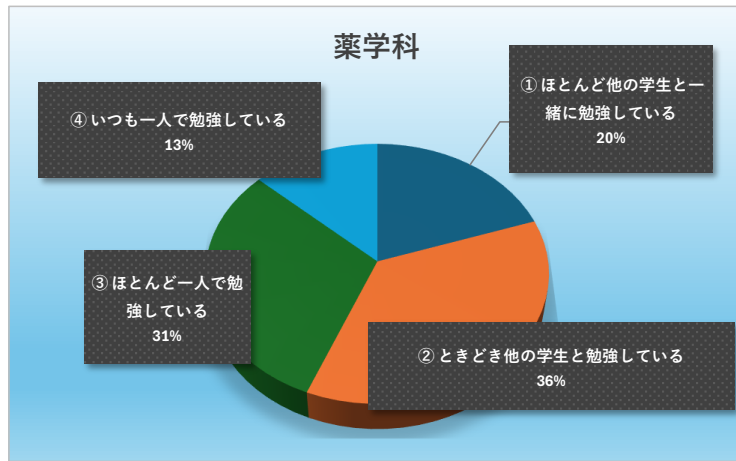
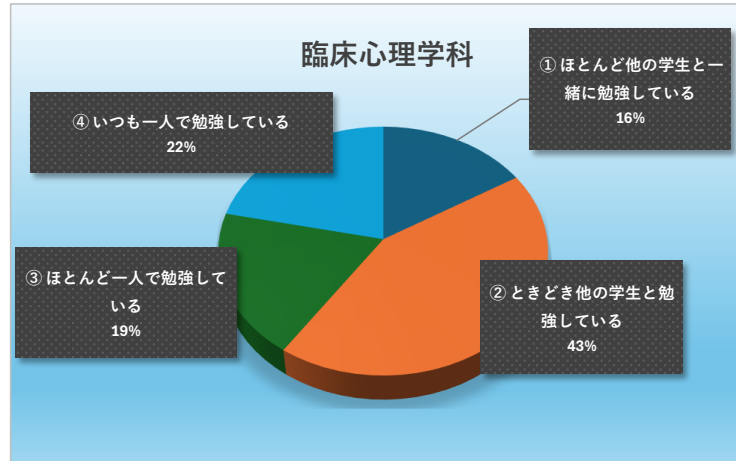
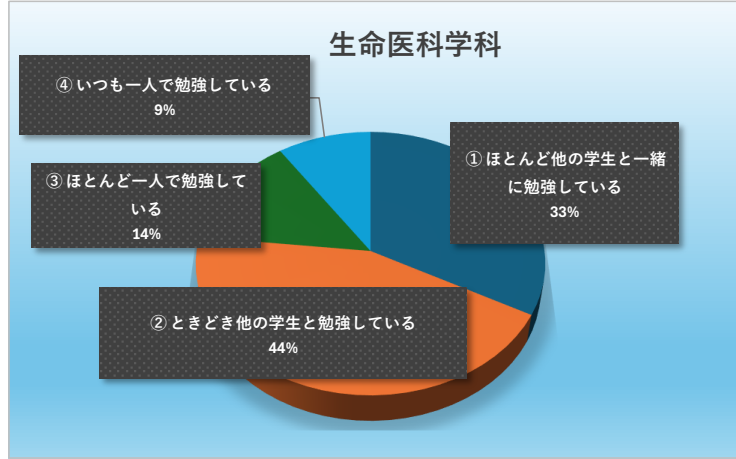
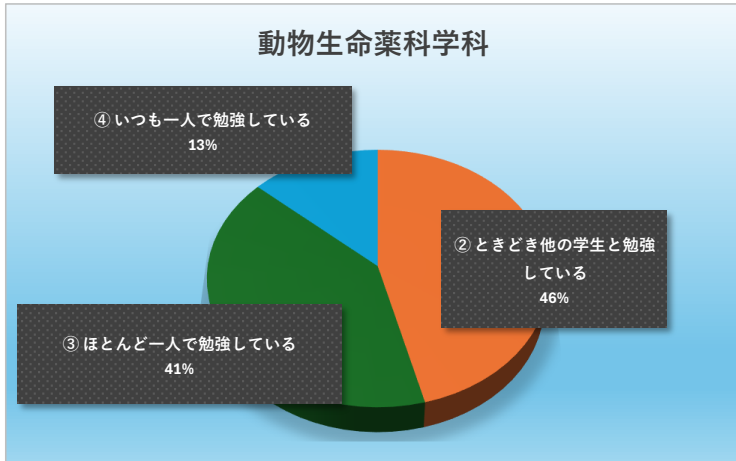
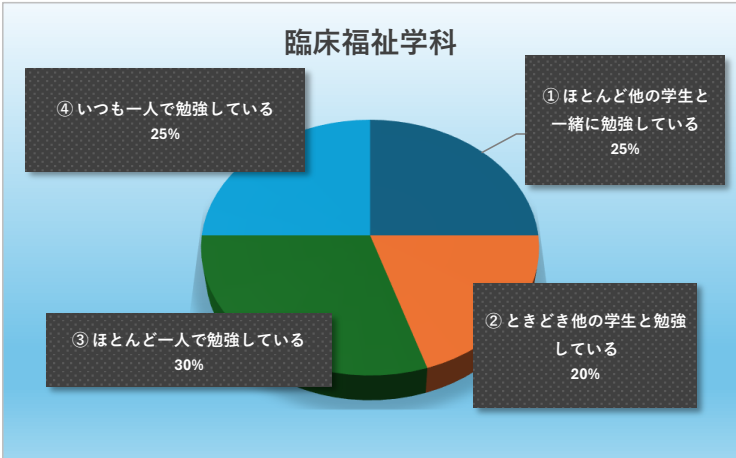
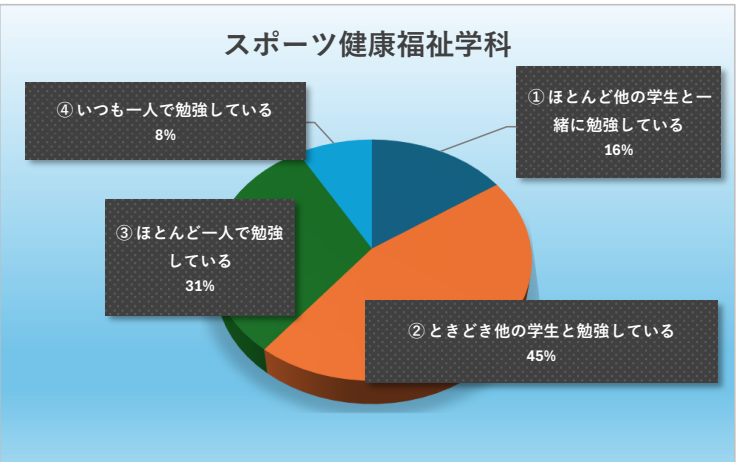


設問 1-7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？（複数回答）

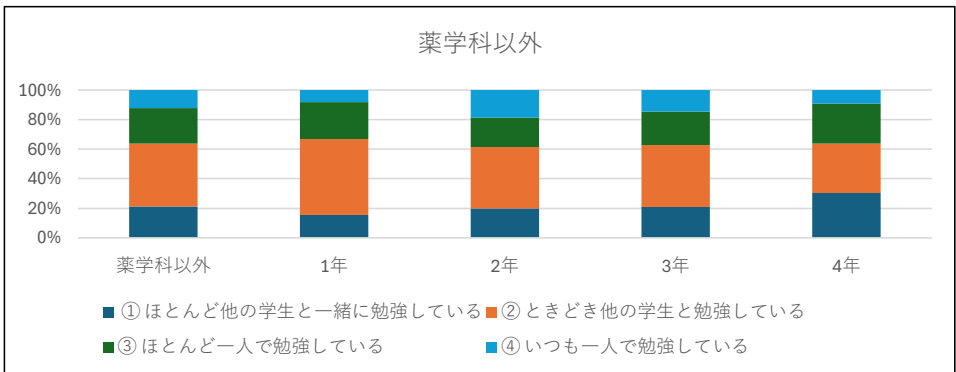
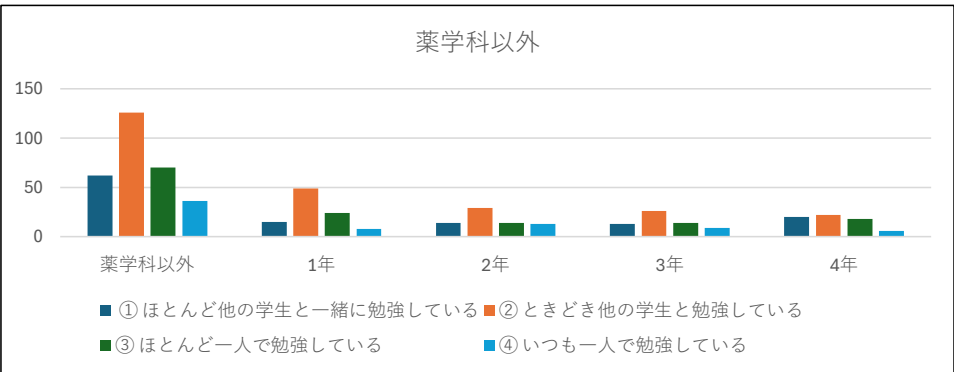
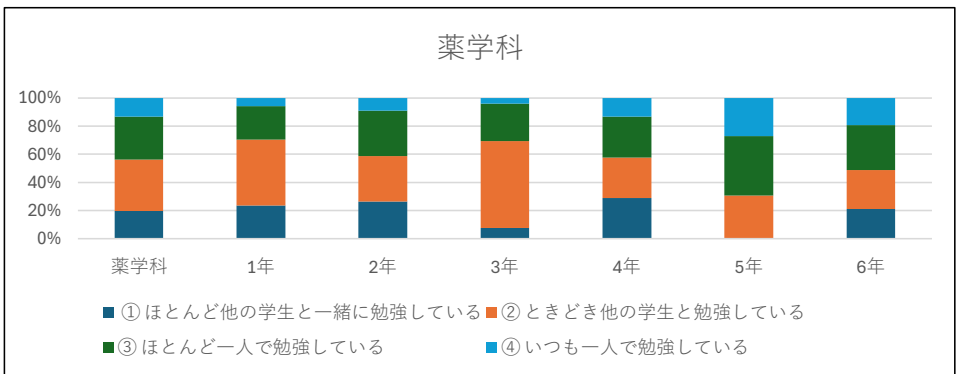
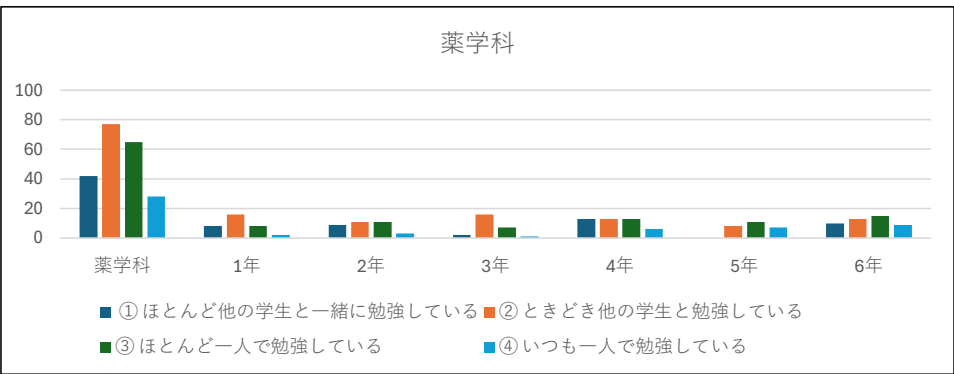
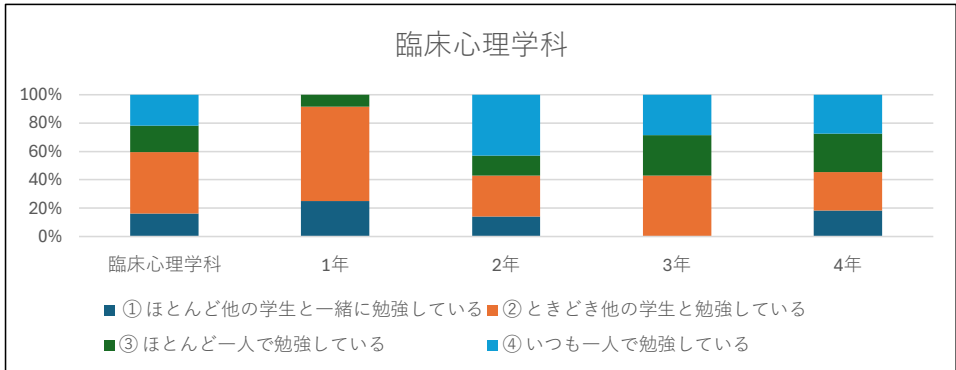
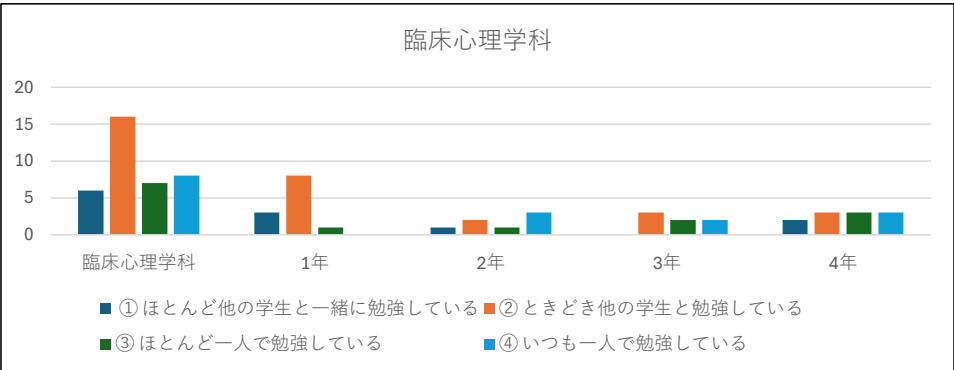
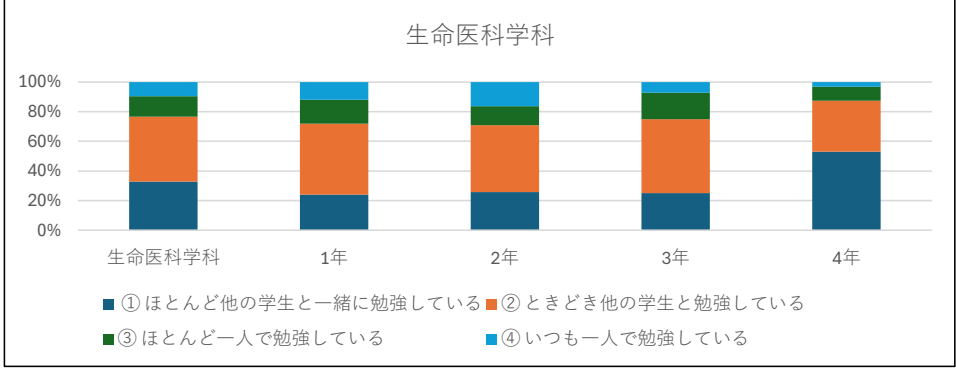
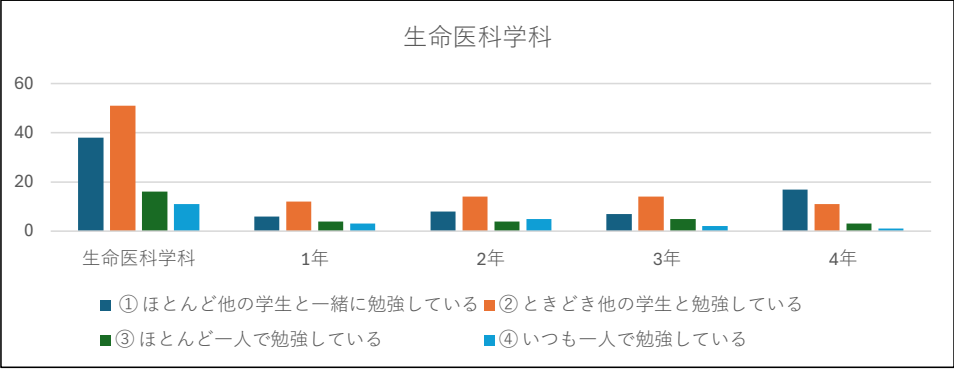
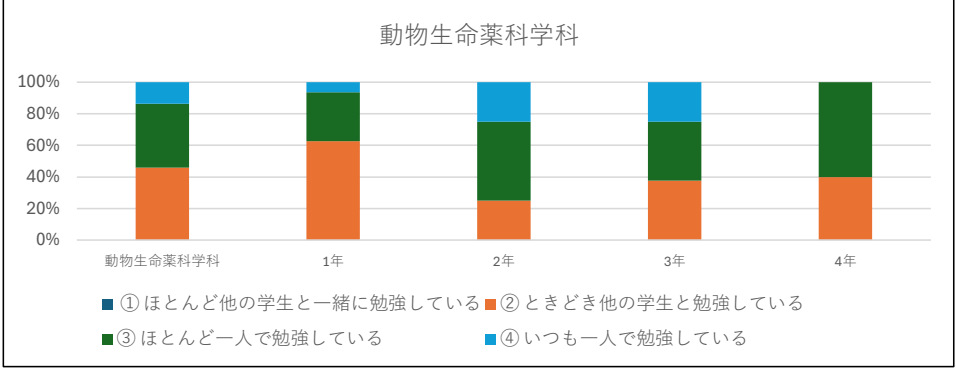
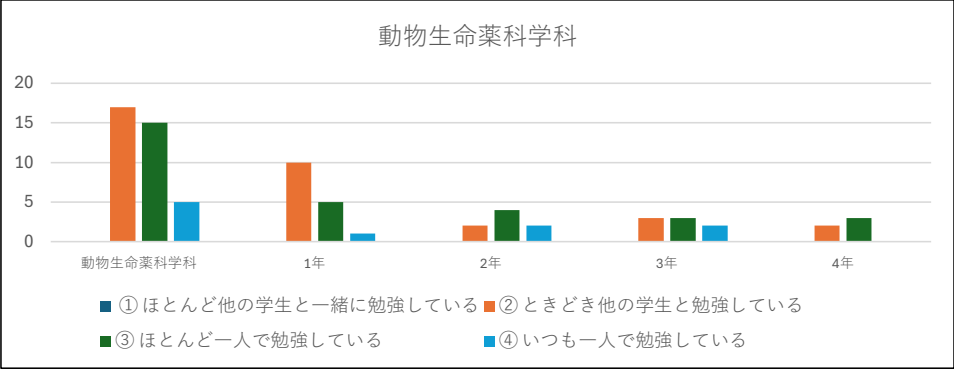
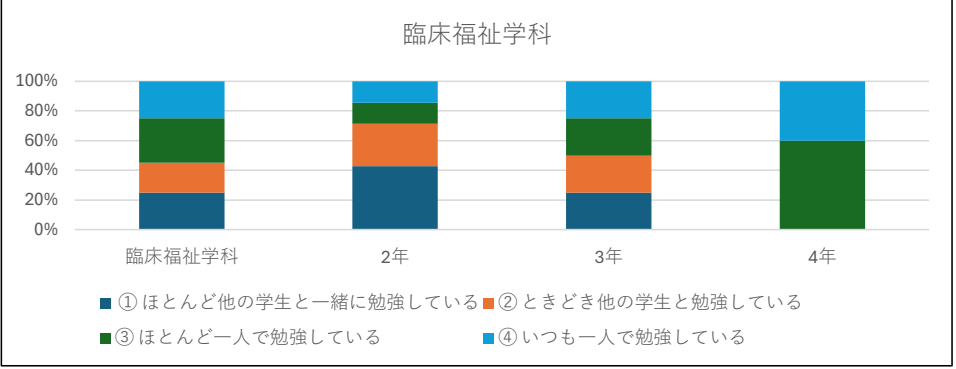
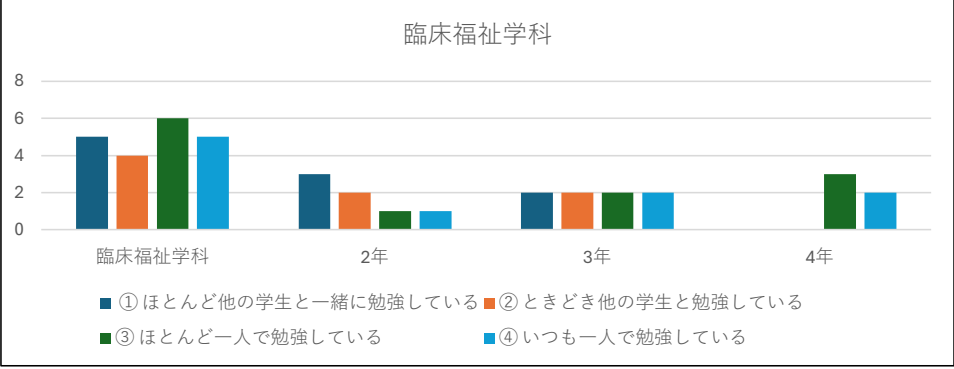
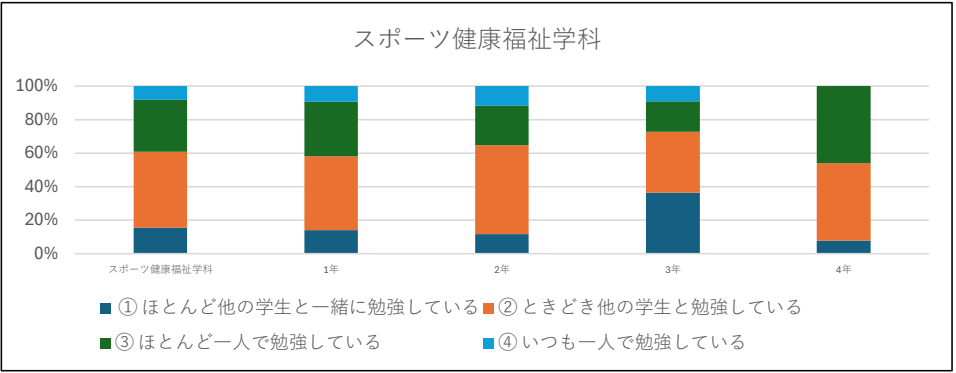
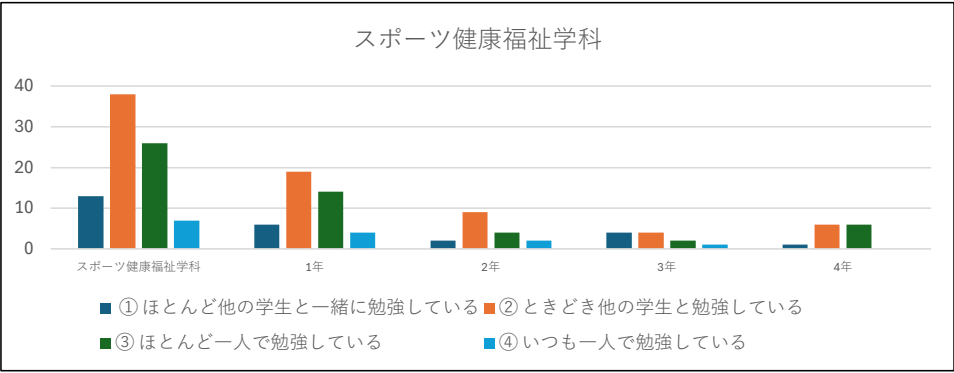


設問Ⅰ－８．授業以外で他の学生と勉強することはありますか？

行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
スポーツ健康福祉学科	13	38	26	7
1年	6	19	14	4
2年	2	9	4	2
3年	4	4	2	1
4年	1	6	6	0
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
臨床福祉学科	5	4	6	5
2年	3	2	1	1
3年	2	2	2	2
4年	0	0	3	2
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
動物生命薬科学科	0	17	15	5
1年	0	10	5	1
2年	0	2	4	2
3年	0	3	3	2
4年	0	2	3	0
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
生命医科学科	38	51	16	11
1年	6	12	4	3
2年	8	14	4	5
3年	7	14	5	2
4年	17	11	3	1
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
臨床心理学科	6	16	7	8
1年	3	8	1	0
2年	1	2	1	3
3年	0	3	2	2
4年	2	3	3	3
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
薬学科	42	77	65	28
1年	8	16	8	2
2年	9	11	11	3
3年	2	16	7	1
4年	13	13	13	6
5年	0	8	11	7
6年	10	13	15	9
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
大学全体	104	203	135	64
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
薬学科以外	62	126	70	36
1年	15	49	24	8
2年	14	29	14	13
3年	13	26	14	9
4年	20	22	18	6

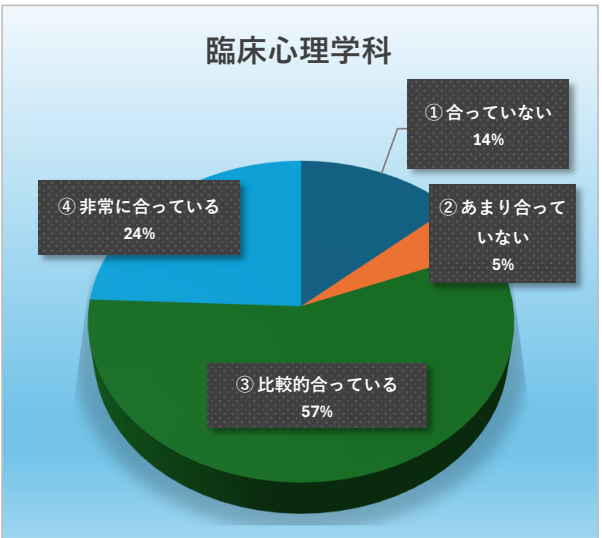
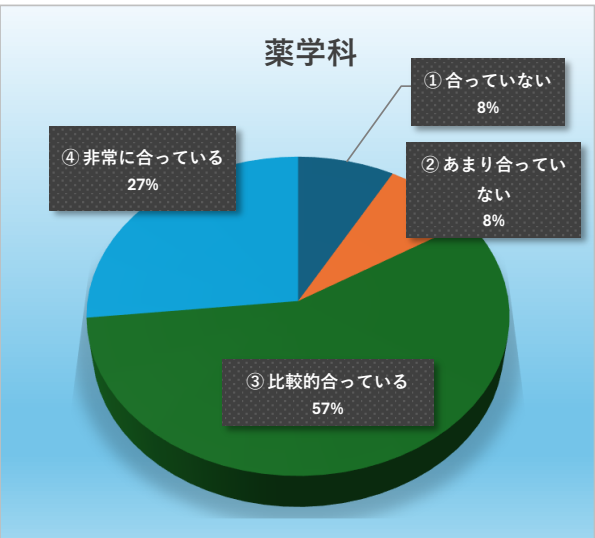
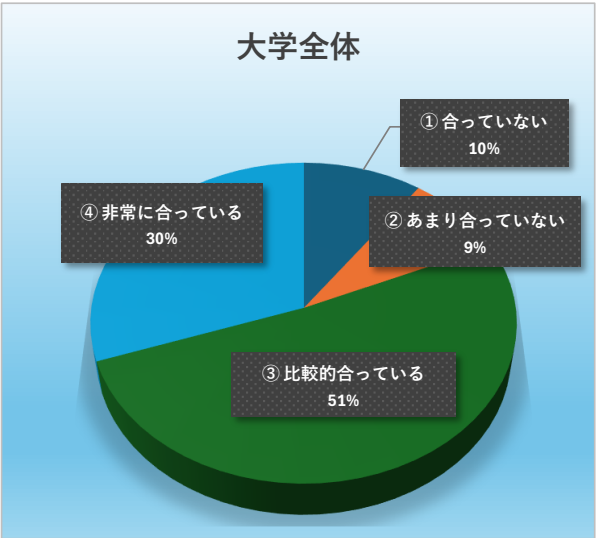
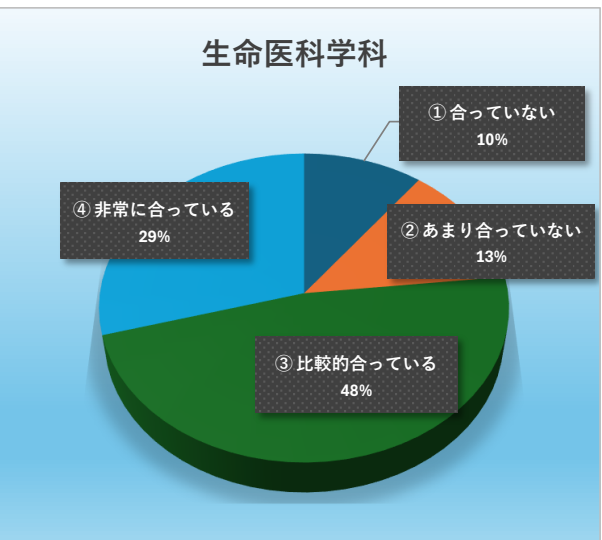
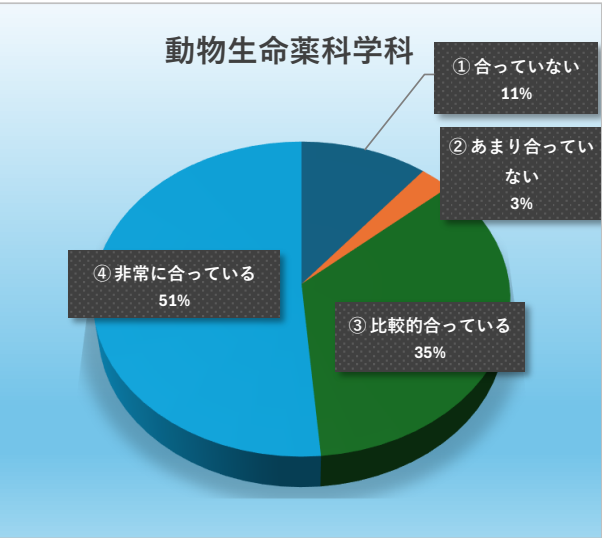
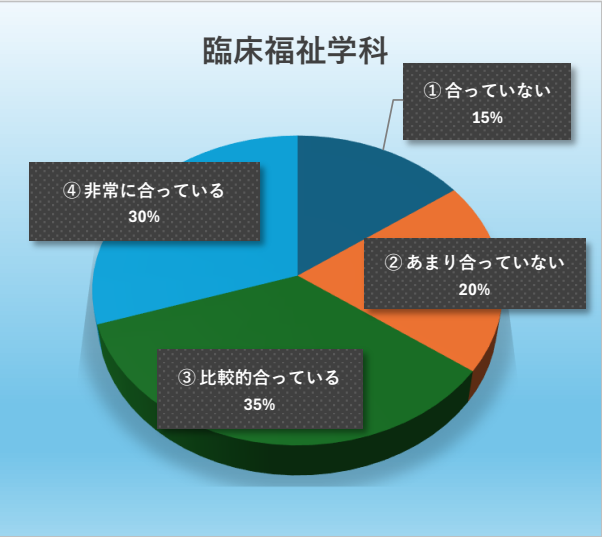
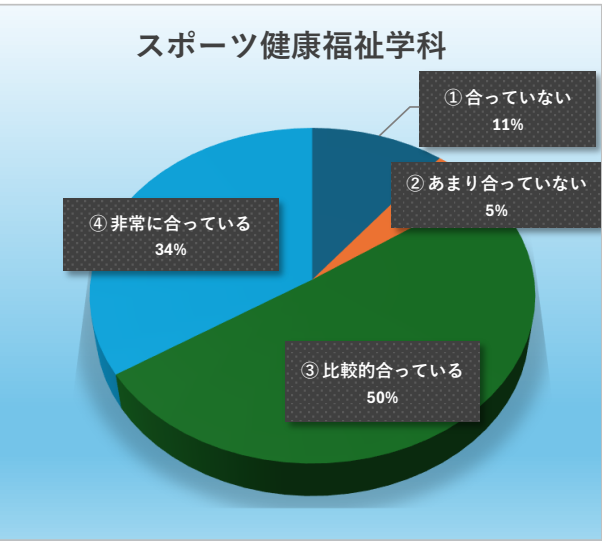


設問Ⅰ－８．授業以外で他の学生と勉強することはありますか？



設問 1-9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？

行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
スポーツ健康福祉学科	9	4	43	29
1年	7	1	23	13
2年	1	2	10	4
3年	1	1	3	6
4年	0	0	7	6
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
臨床福祉学科	3	4	7	6
2年	1	2	4	0
3年	2	2	2	2
4年	0	0	1	4
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
動物生命薬科学科	4	1	13	19
1年	1	0	4	11
2年	0	0	6	2
3年	2	0	3	3
4年	1	1	0	3
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
生命医科学科	12	15	55	34
1年	3	5	10	7
2年	2	3	21	5
3年	1	6	12	9
4年	6	1	12	13
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
臨床心理学科	5	2	21	9
1年	2	0	7	3
2年	1	1	5	0
3年	1	1	4	1
4年	1	0	5	5
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
薬学科	17	17	120	56
1年	3	1	22	8
2年	1	2	19	11
3年	3	1	13	9
4年	6	3	25	11
5年	1	4	17	3
6年	3	6	24	14
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
大学全体	50	43	259	153
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
薬学科以外	33	26	139	97
1年	13	6	44	34
2年	5	8	46	11
3年	7	10	24	21
4年	8	2	25	31



設問 1-9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？



設問 I - 10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？

行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
スポーツ健康福祉学科				
1年	5	30	39	11
2年	4	13	20	7
3年	0	7	8	2
4年	1	4	4	2
4年	0	6	7	0
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
臨床福祉学科				
2年	4	2	10	4
3年	1	2	3	1
4年	2	0	4	2
4年	1	0	3	1
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
動物生命薬科学科				
1年	3	9	19	6
2年	2	4	7	3
3年	1	2	4	1
4年	0	3	4	1
4年	0	0	4	1
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
生命医科学科				
1年	6	35	62	12
2年	2	10	12	1
3年	2	11	15	3
4年	0	11	16	1
4年	2	3	19	7
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
臨床心理学科				
1年	2	11	20	4
2年	0	3	8	1
3年	0	5	2	0
4年	1	2	3	1
4年	1	1	7	2
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
薬学科				
1年	8	46	133	23
2年	0	9	22	3
3年	0	6	23	3
4年	0	7	14	5
5年	4	7	29	5
6年	1	7	17	1
6年	3	10	28	6
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
大学全体	28	133	283	60
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
薬学科以外	20	87	150	37
1年	8	30	47	12
2年	4	27	32	7
3年	4	20	31	7
4年	4	10	40	11

【学修への積極的取り組みについて】回答者42名

回答者の半数以上は積極的に取り組んでいる一方で、一部には取り組むことが難しいと感じている回答も見受けられた。

主な意見は以下のとおりであった。

○積極的に取り組んでいる人の回答

・単位取得や国家試験、資格取得に向けて計画的に学修している。

・授業中に私語や授業に関係ないことをせず、集中して取り組んでいる。

・自主的に授業の復習や小テスト・定期試験・CBT対策に取り組んでいる。

・分からないことは先輩や友達、教員の力を借りて、なるべくその日のうちに解決しようとしている。

・興味関心がある分野なので積極的に学修している。勉強することや知識を得ることが楽しい。

・空き時間を利用して学修している。

○積極的に取り組んでいない人の回答

・気分やモチベーションの波が大きく、継続的な学習が難しい。

・テスト前だけ勉強するなど、短期集中型でしか勉強しない。

・勉強の習慣や仕方が身についていない。

・授業以外での自主的な学修が不足している。

・アルバイトや体調などの影響で学修時間が限られている。

・誘惑に負けたり、集中力が切れたりすることがある。

大学全体

Category	Percentage
① 取り組んでいない	6%
② あまり取り組んでいない	26%
③ 取り組んでいる	56%
④ 大いに取り組んでいる	12%

薬学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	4%
② あまり取り組んでいない	22%
③ 取り組んでいる	63%
④ 大いに取り組んでいる	11%

スポーツ健康福祉学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	6%
② あまり取り組んでいない	35%
③ 取り組んでいる	46%
④ 大いに取り組んでいる	13%

臨床福祉学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	20%
② あまり取り組んでいない	10%
③ 取り組んでいる	50%
④ 大いに取り組んでいる	20%

動物生命薬科学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	8%
② あまり取り組んでいない	24%
③ 取り組んでいる	52%
④ 大いに取り組んでいる	16%

生命医科学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	5%
② あまり取り組んでいない	31%
③ 取り組んでいる	54%
④ 大いに取り組んでいる	10%

臨床心理学科

Category	Percentage
① 取り組んでいない	5%
② あまり取り組んでいない	30%
③ 取り組んでいる	54%
④ 大いに取り組んでいる	11%

19/40

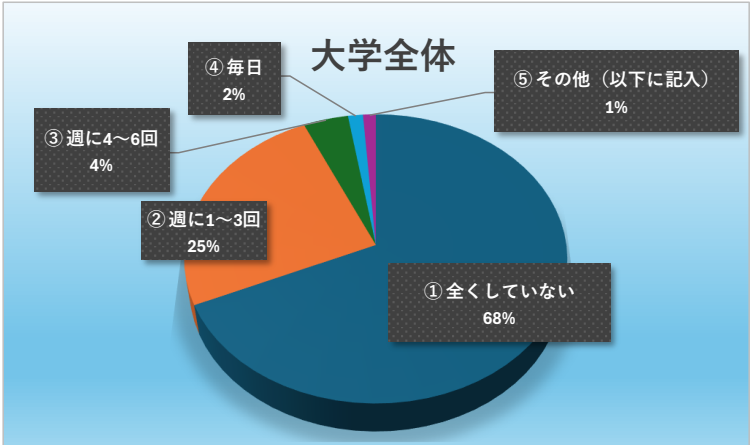
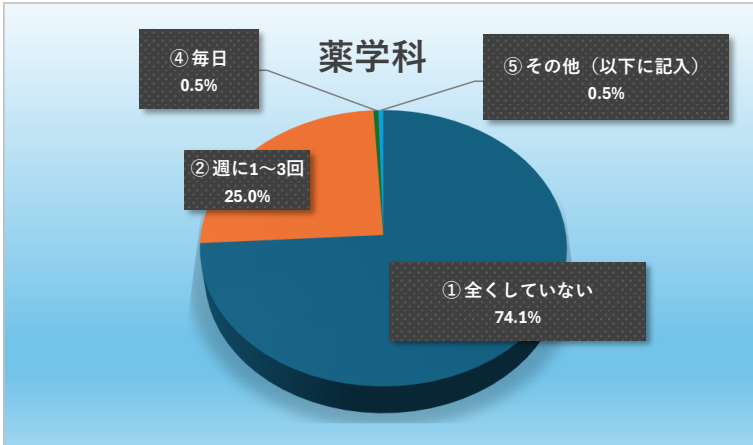
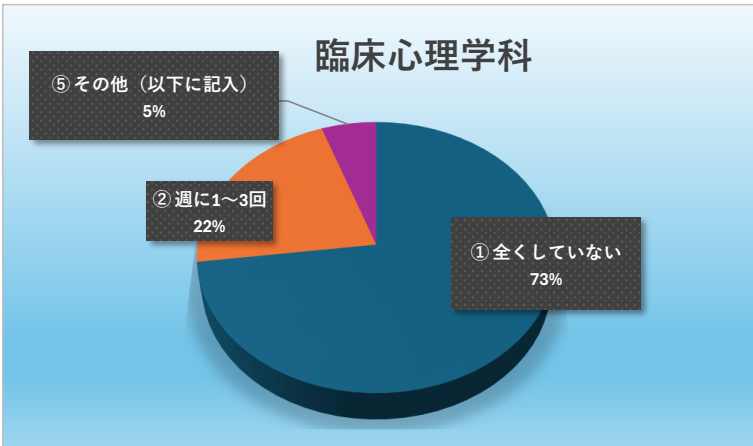
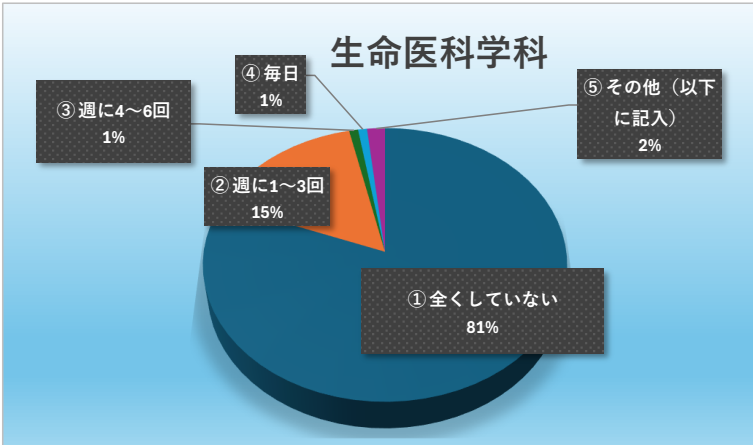
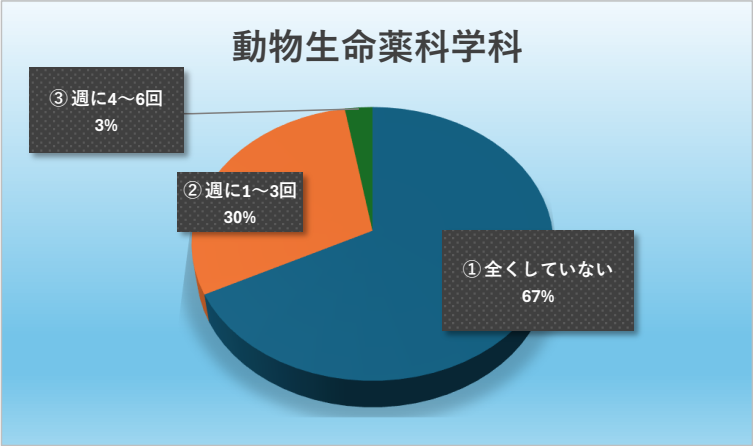
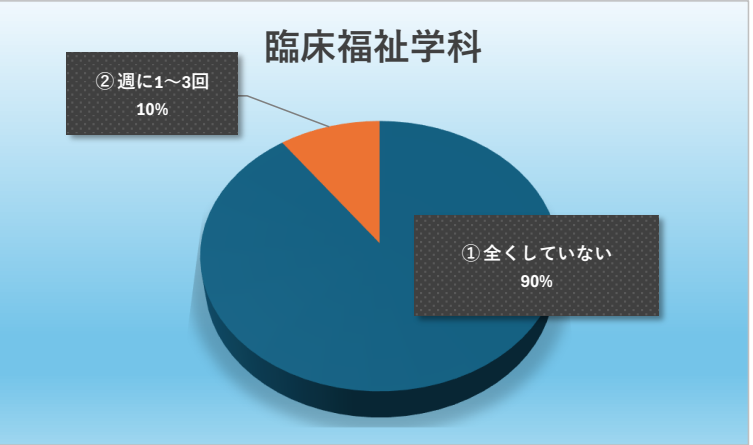
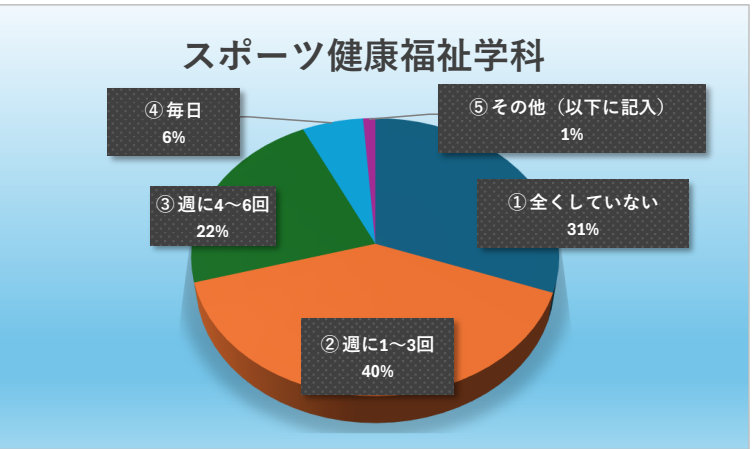
設問1-10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？



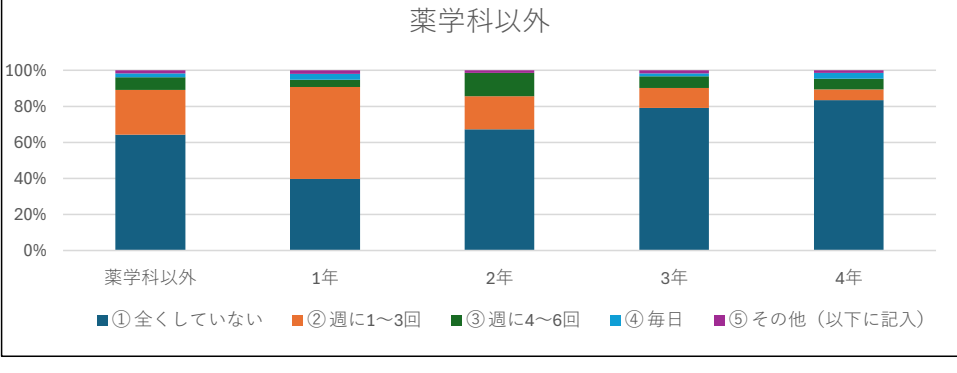
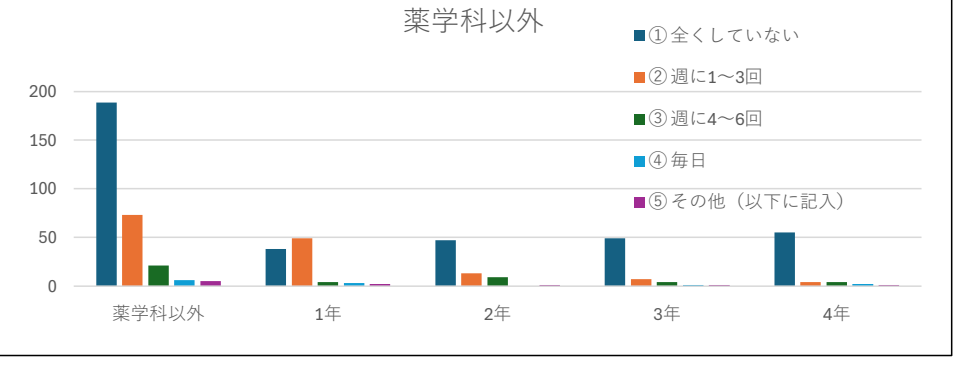
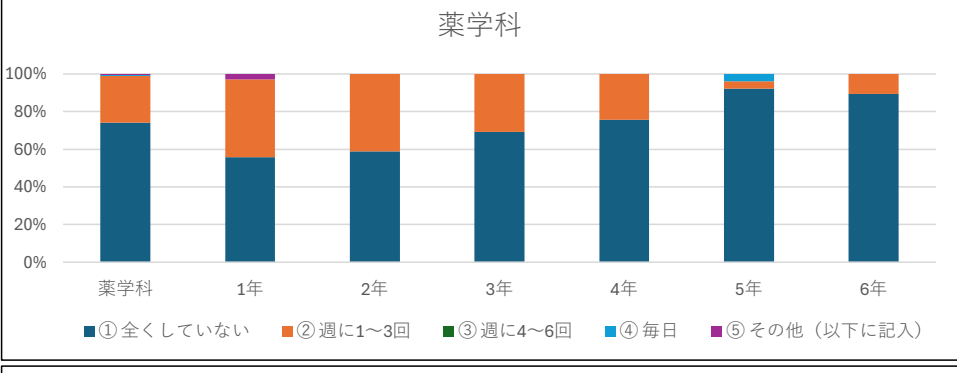
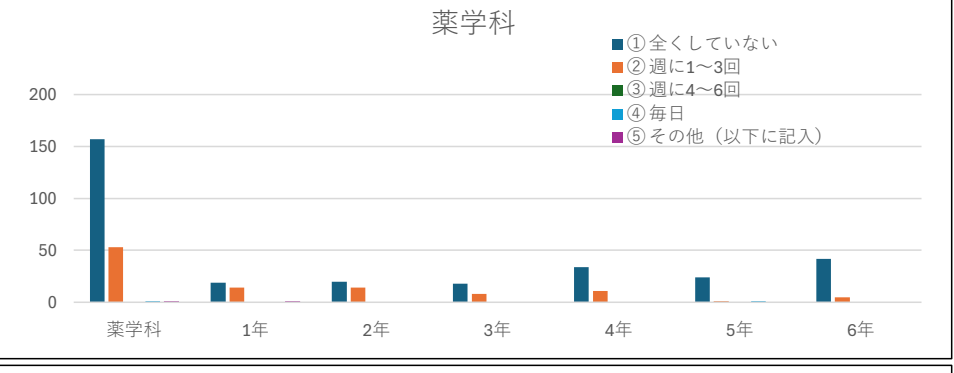
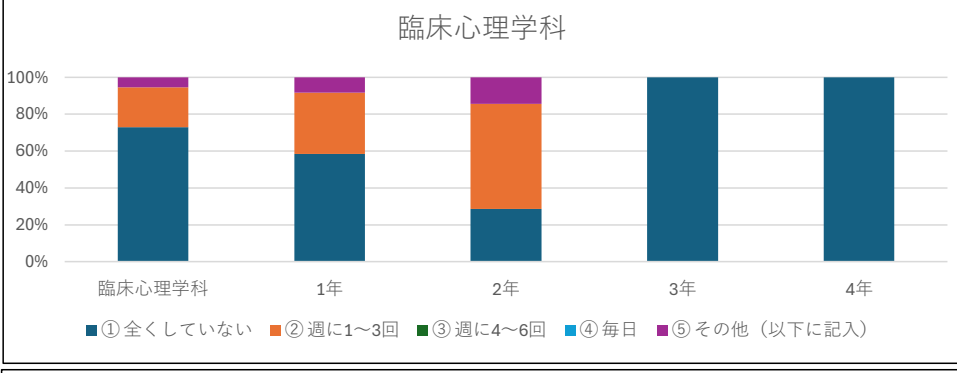
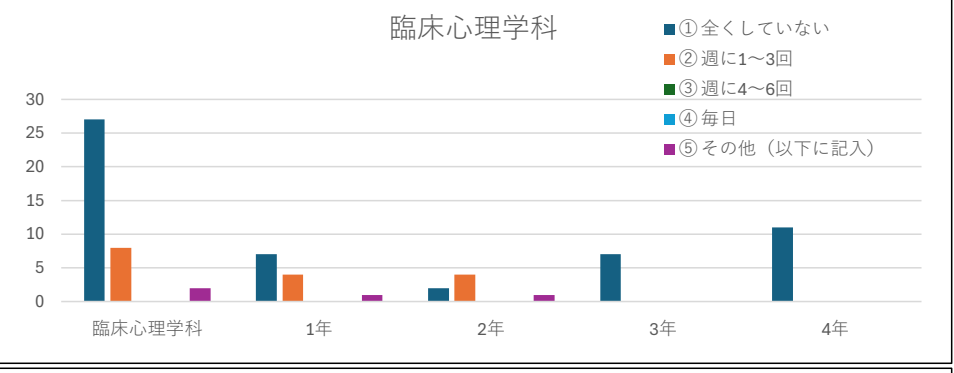
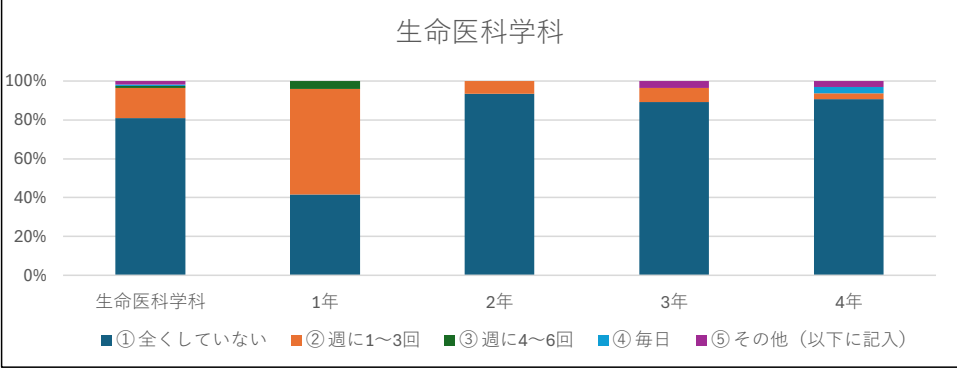
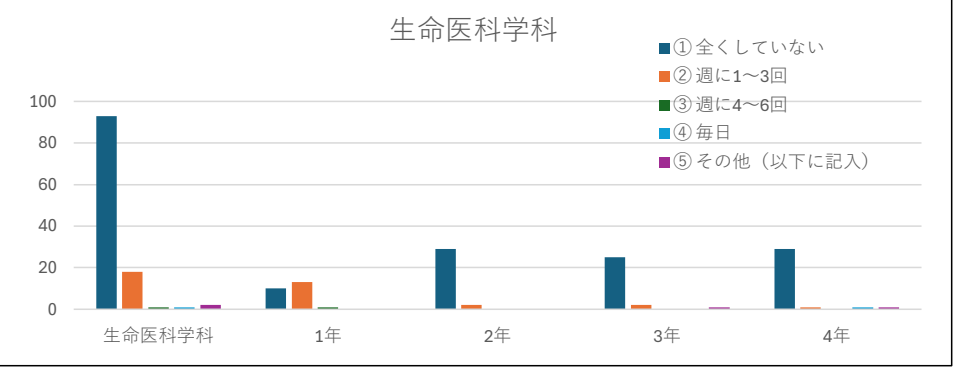
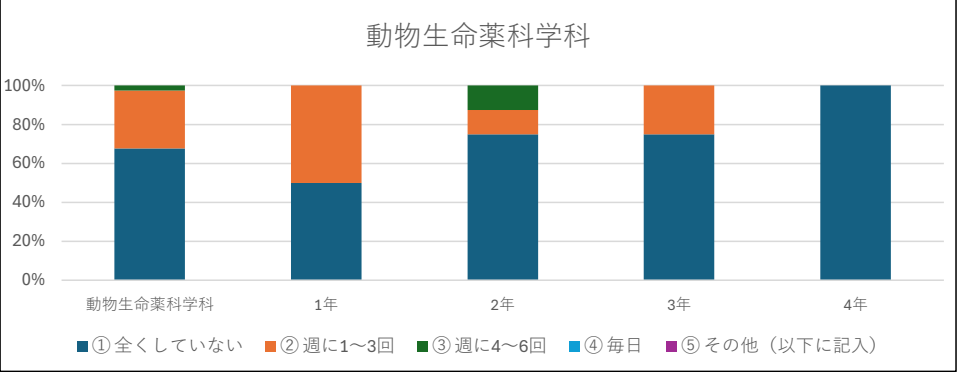
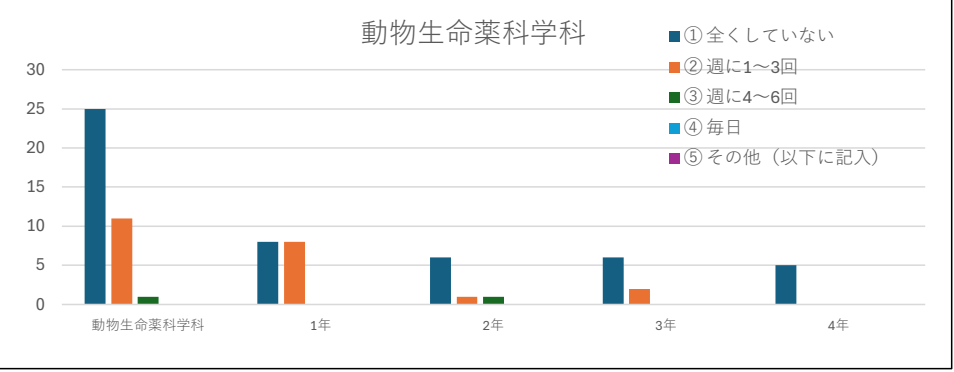
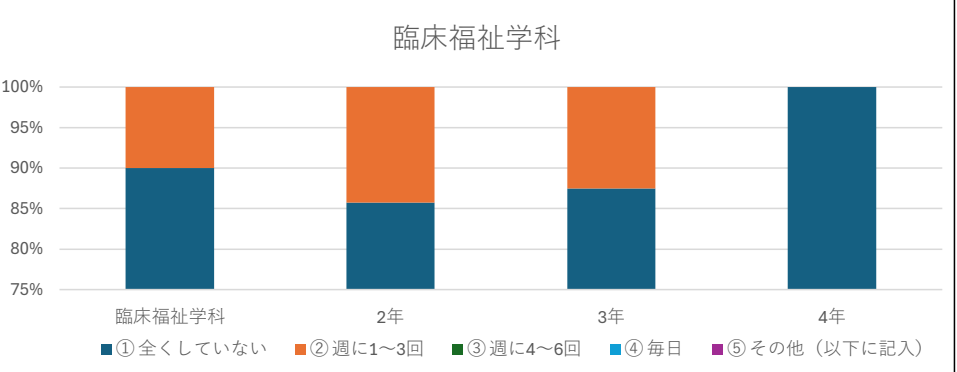
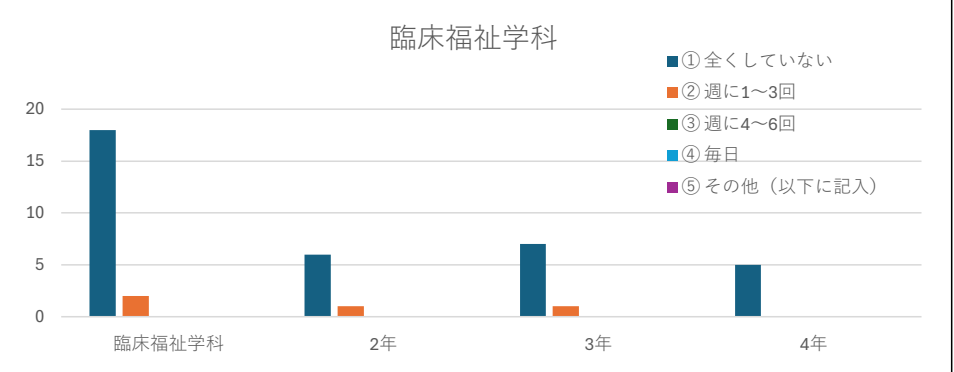
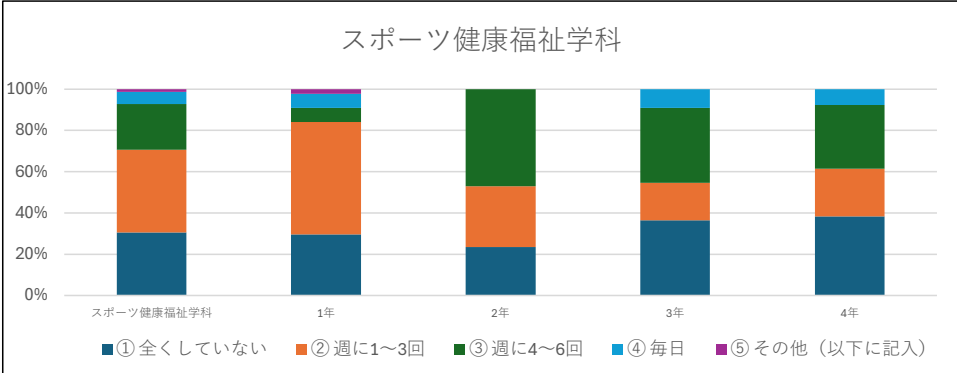
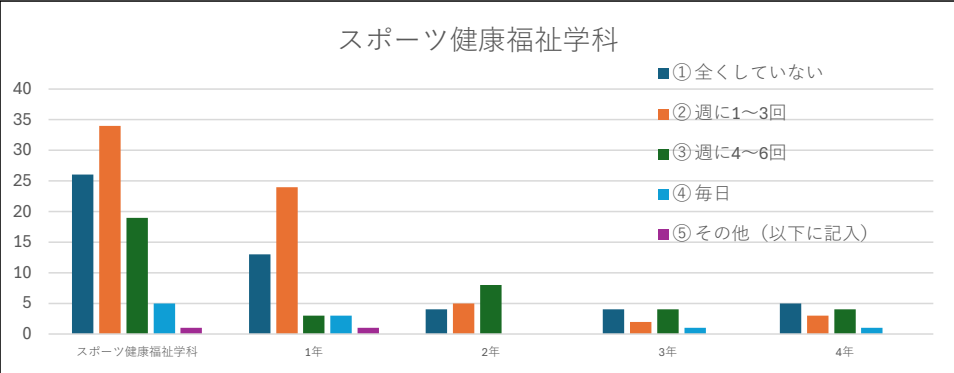
設問Ⅱ－1．部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？

行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	26	34	19	5	1
1年	13	24	3	3	1
2年	4	5	8	0	0
3年	4	2	4	1	0
4年	5	3	4	1	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
臨床福祉学科	18	2	0	0	0
2年	6	1	0	0	0
3年	7	1	0	0	0
4年	5	0	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
動物生命薬科学科	25	11	1	0	0
1年	8	8	0	0	0
2年	6	1	1	0	0
3年	6	2	0	0	0
4年	5	0	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
生命医科学科	93	18	1	1	2
1年	10	13	1	0	0
2年	29	2	0	0	0
3年	25	2	0	0	1
4年	29	1	0	1	1
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
臨床心理学科	27	8	0	0	2
1年	7	4	0	0	1
2年	2	4	0	0	1
3年	7	0	0	0	0
4年	11	0	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
薬学科	157	53	0	1	1
1年	19	14	0	0	1
2年	20	14	0	0	0
3年	18	8	0	0	0
4年	34	11	0	0	0
5年	24	1	0	1	0
6年	42	5	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
大学全体	346	126	21	7	6
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
薬学科以外	189	73	21	6	5
1年	38	49	4	3	2
2年	47	13	9	0	1
3年	49	7	4	1	1
4年	55	4	4	2	1

- 【部活動・サークル参加頻度】回答者6名
- ・月に数回程度参加（1名）
 - ・月1回程度参加（1名）
 - ・週に1回程度の参加か、それ以下（1名）
 - ・不定期に参加（1名）
 - ・所属していない、参加していない（2名）



設問Ⅱ－1．部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？



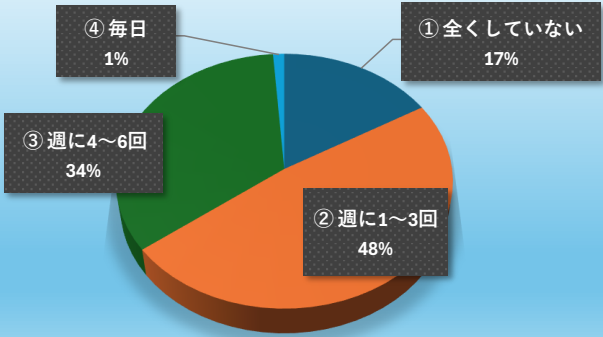
設問Ⅱ－2．アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？

行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	14	41	29	1	0
1年	11	25	8	0	0
2年	1	5	11	0	0
3年	0	5	5	1	0
4年	2	6	5	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
臨床福祉学科	6	6	8	0	0
2年	0	2	5	0	0
3年	4	1	3	0	0
4年	2	3	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
動物生命薬科学科	16	16	5	0	0
1年	10	4	2	0	0
2年	2	5	1	0	0
3年	1	5	2	0	0
4年	3	2	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
生命医科学科	62	44	7	1	2
1年	15	8	2	0	0
2年	12	16	2	0	1
3年	11	14	2	0	1
4年	24	6	1	1	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
臨床心理学科	9	18	6	1	3
1年	1	8	2	0	1
2年	3	4	0	0	0
3年	2	3	1	0	1
4年	3	3	3	1	1
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
薬学科	119	70	12	2	9
1年	20	9	3	1	1
2年	13	18	2	0	1
3年	12	10	3	0	1
4年	17	22	3	0	3
5年	20	4	1	0	1
6年	37	7	0	1	2
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
大学全体	226	195	67	5	14
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1～3回	③ 週に4～6回	④ 毎日	⑤ その他（以下に記入）
薬学科以外	107	125	55	3	5
1年	37	45	14	0	1
2年	18	32	19	0	1
3年	18	28	13	1	2
4年	34	20	9	2	1

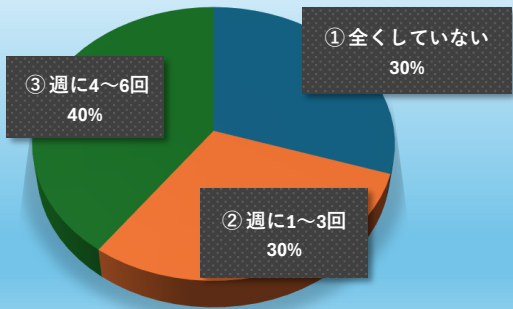
【アルバイトの頻度】回答者14名

- ・長期休暇（夏休み・春休みなど）のみアルバイト（4名）
- ・単発のアルバイト経験がある（3名）
- ・定期的に週数回アルバイトをしている（2名）
- ・月に1～2回程度の頻度でアルバイトをしている学生もいる（2名）
- ・毎月一定額稼いでいる（1件）イベントの短期アルバイトをしている学生もいる（1名）
- ・これからアルバイトを始めようとしている学生もいる（1名）

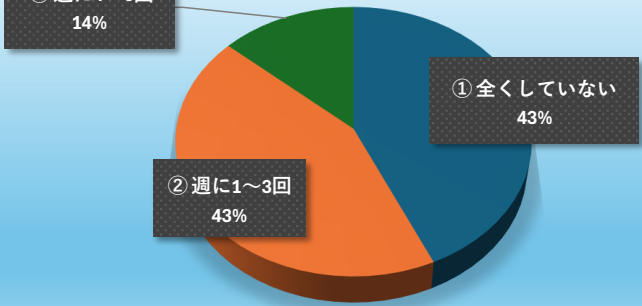
スポーツ健康福祉学科



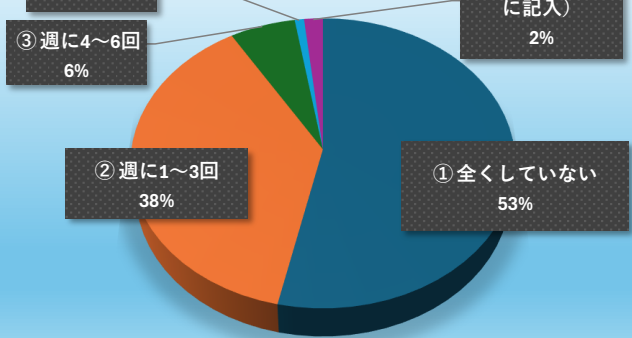
臨床福祉学科



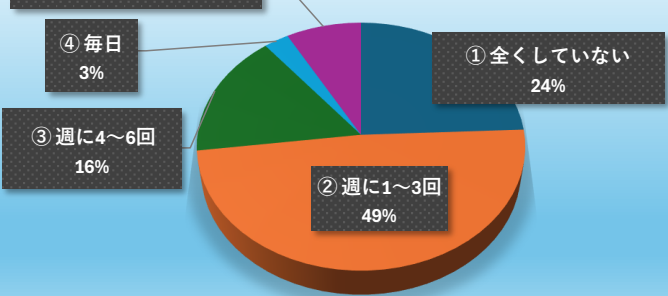
動物生命薬科学科



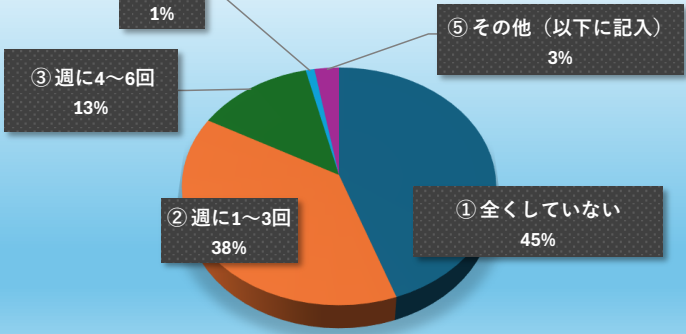
生命医科学科



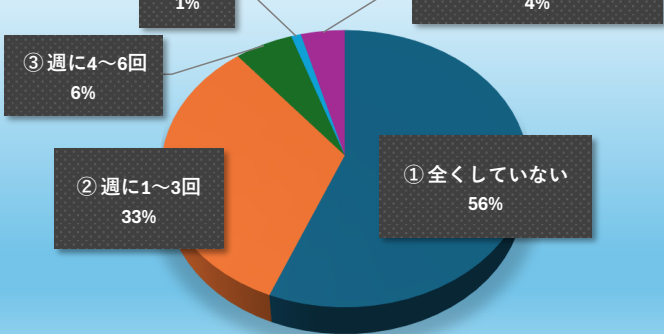
臨床心理学科



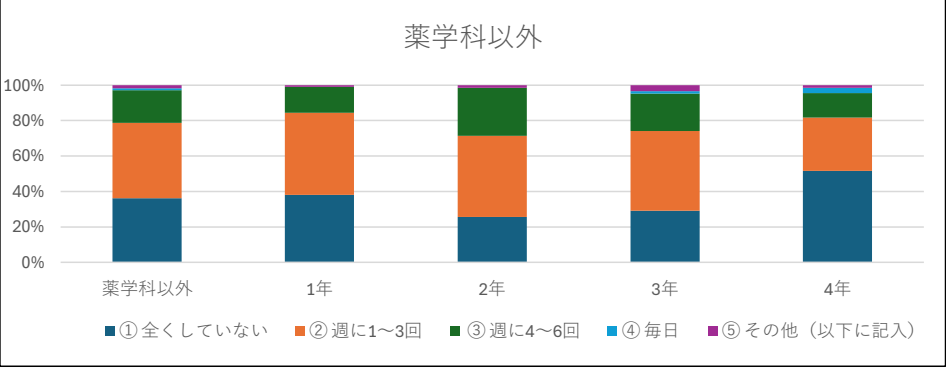
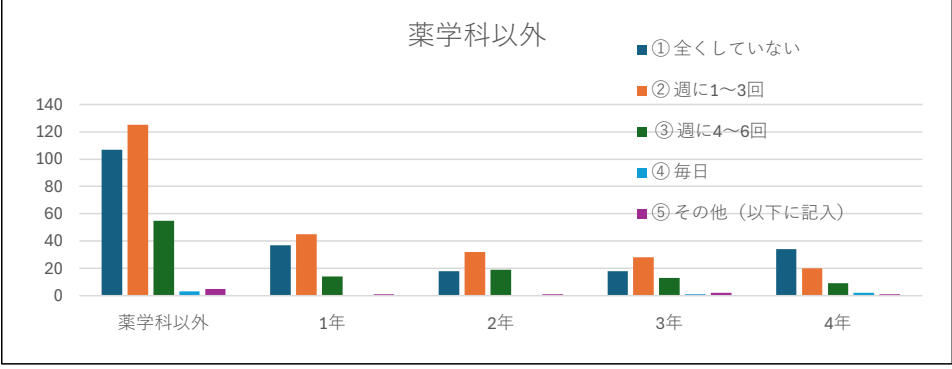
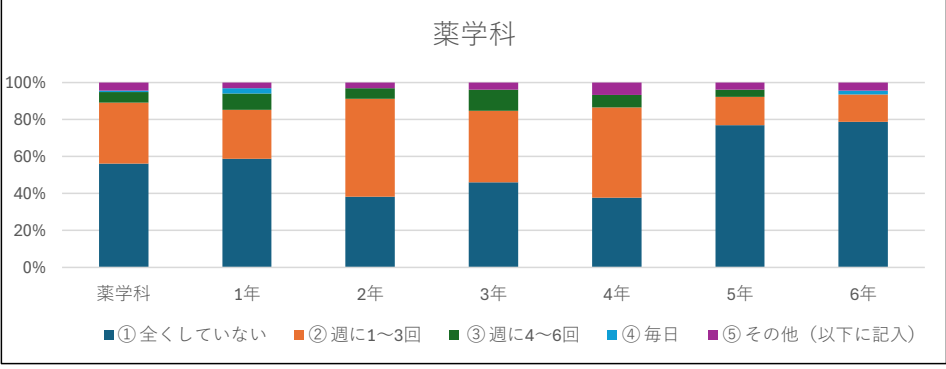
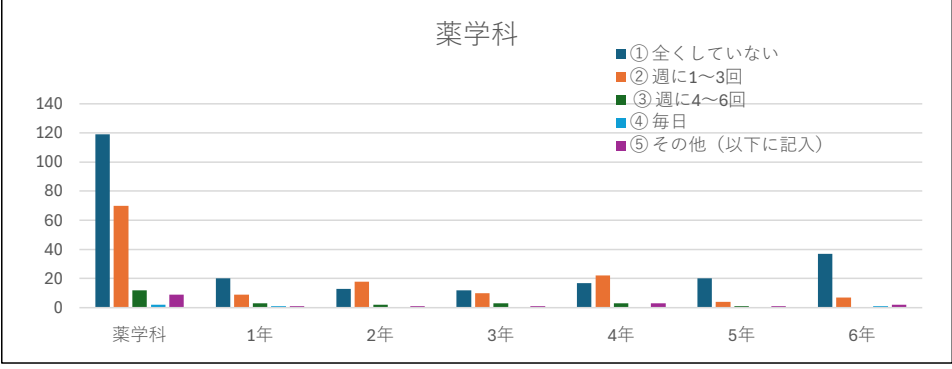
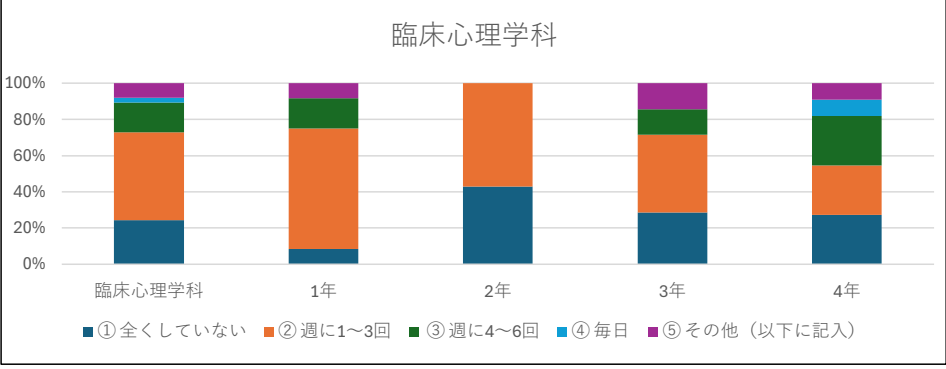
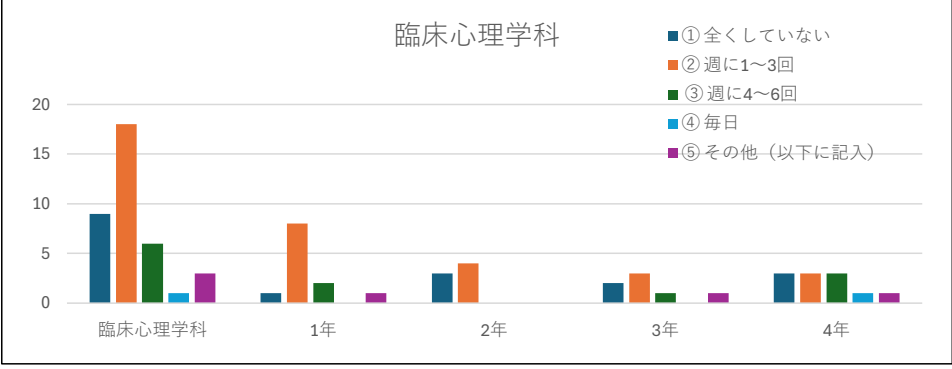
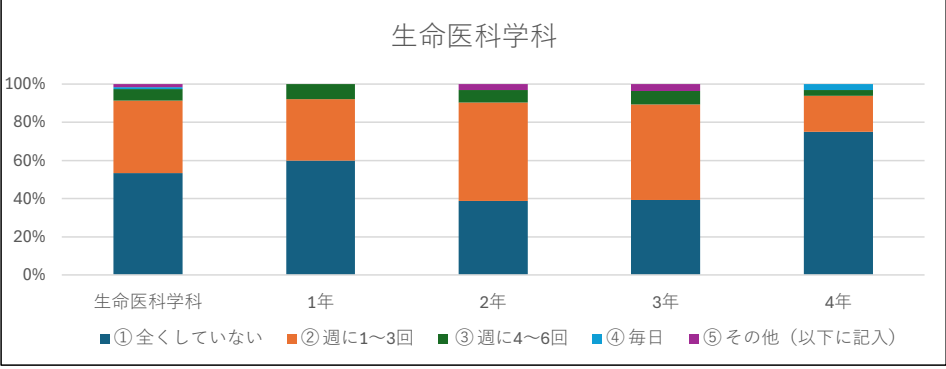
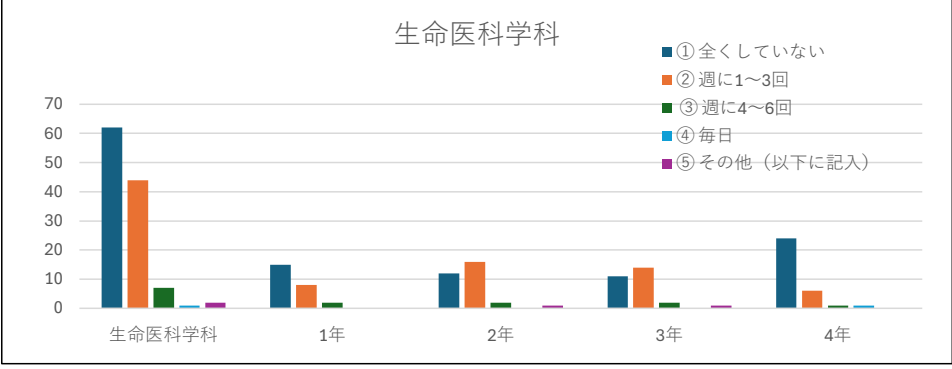
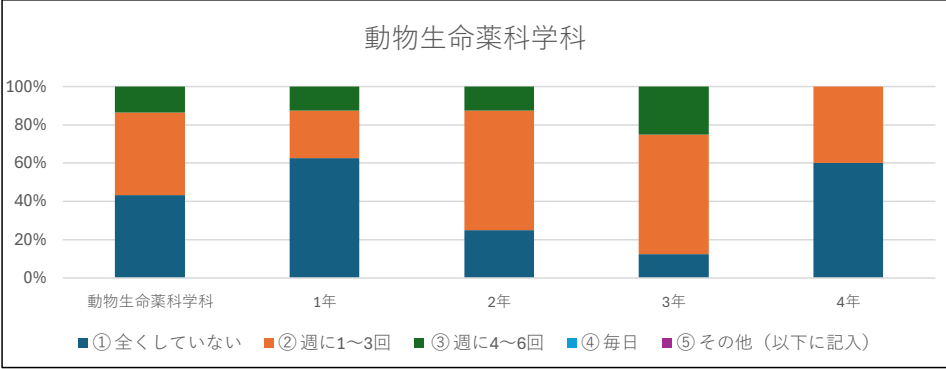
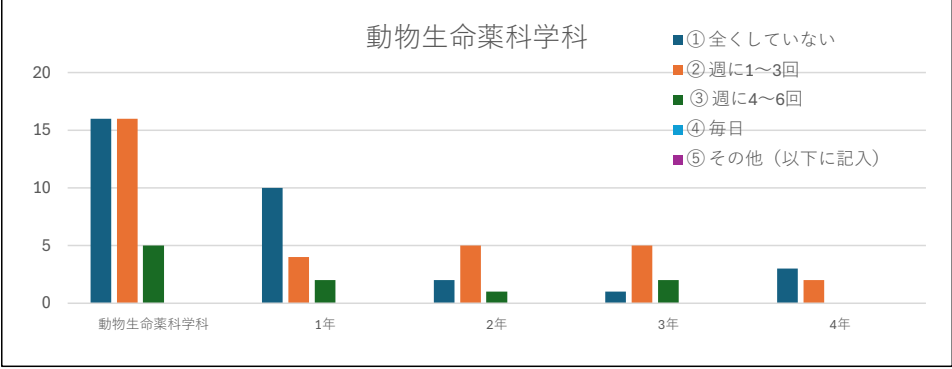
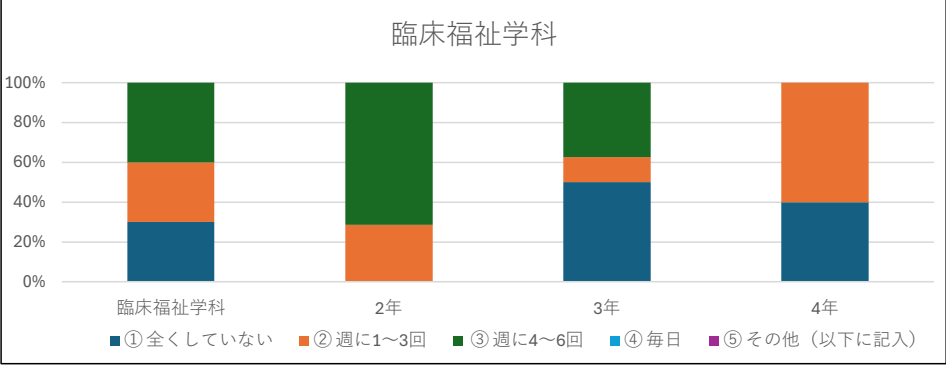
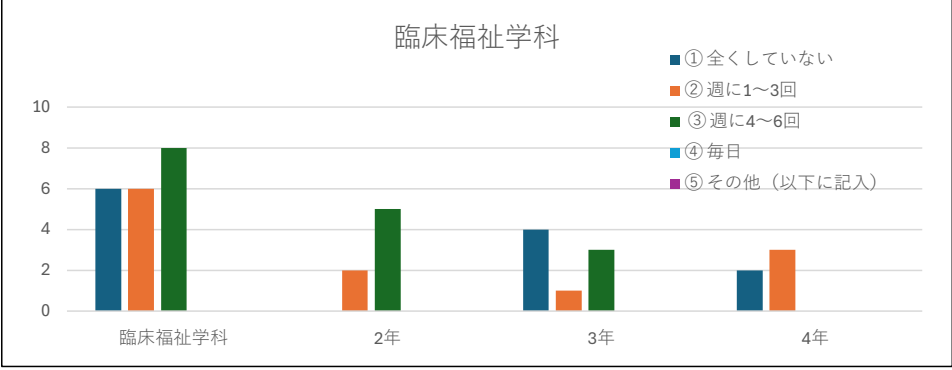
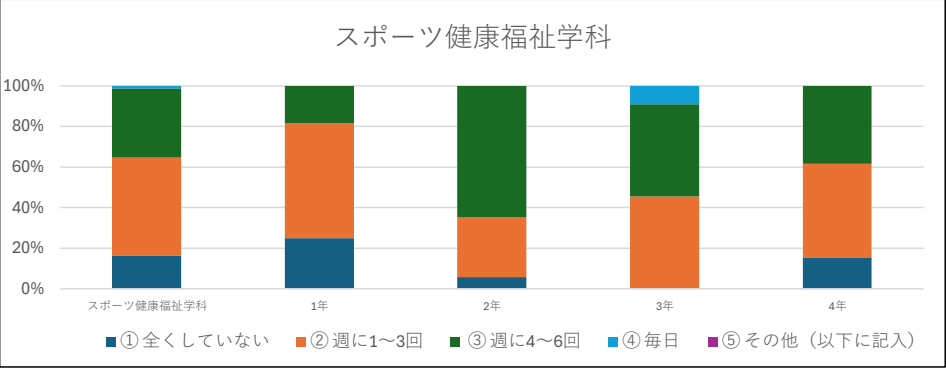
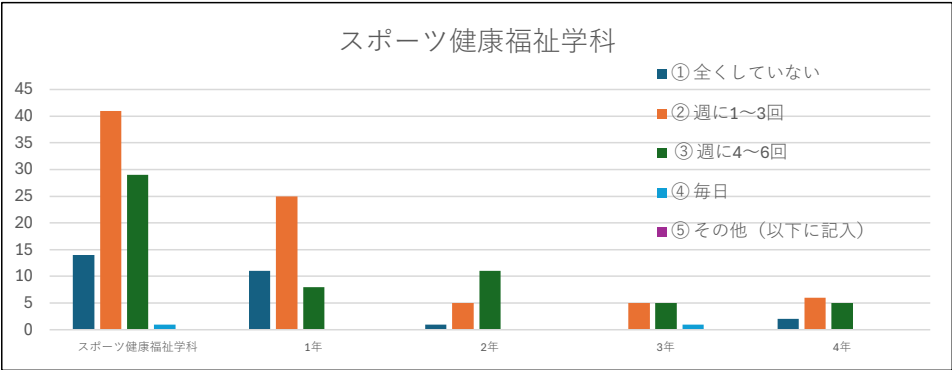
大学全体



薬学科

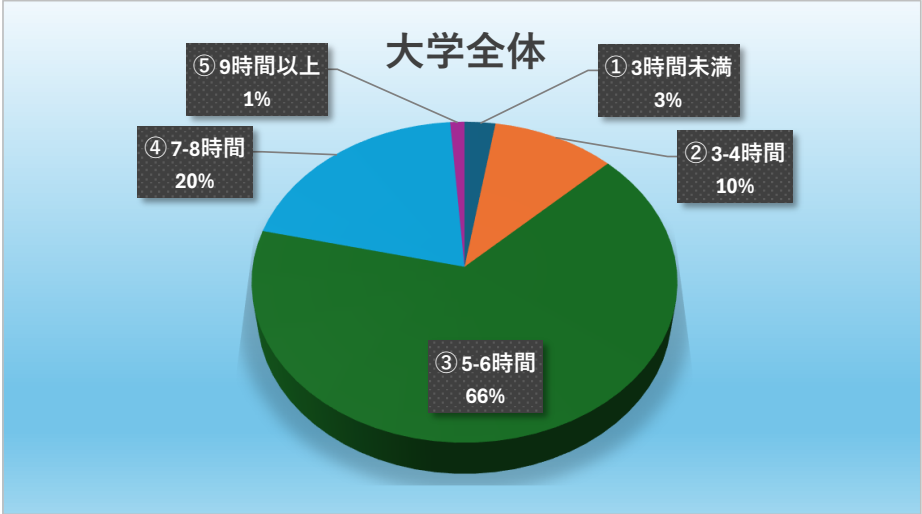
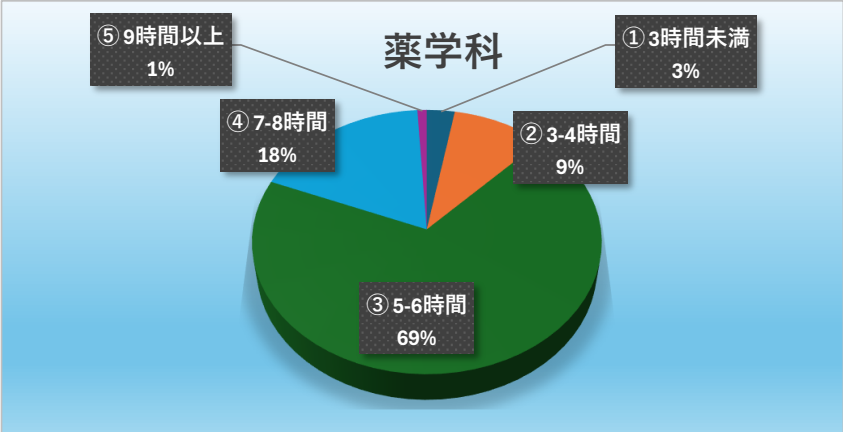
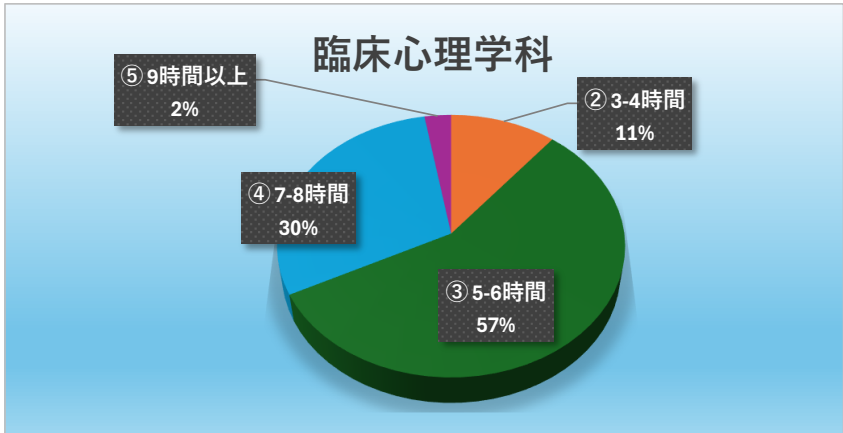
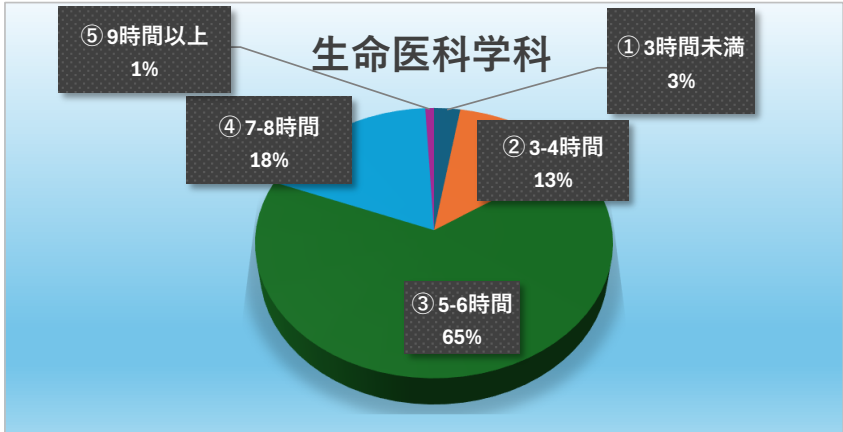
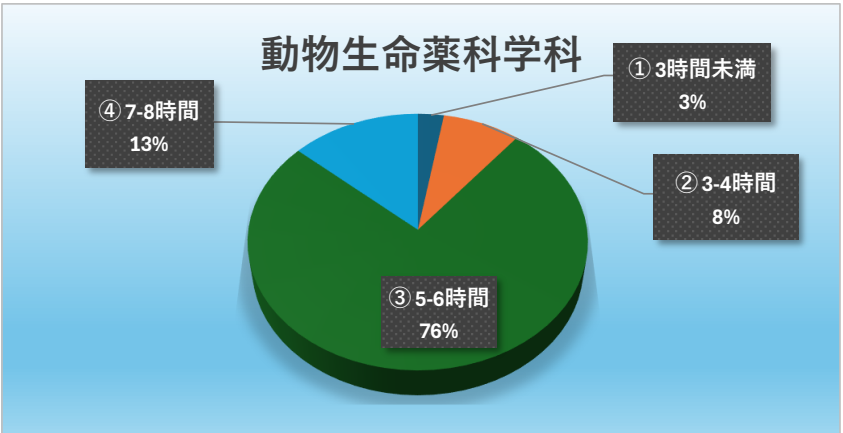
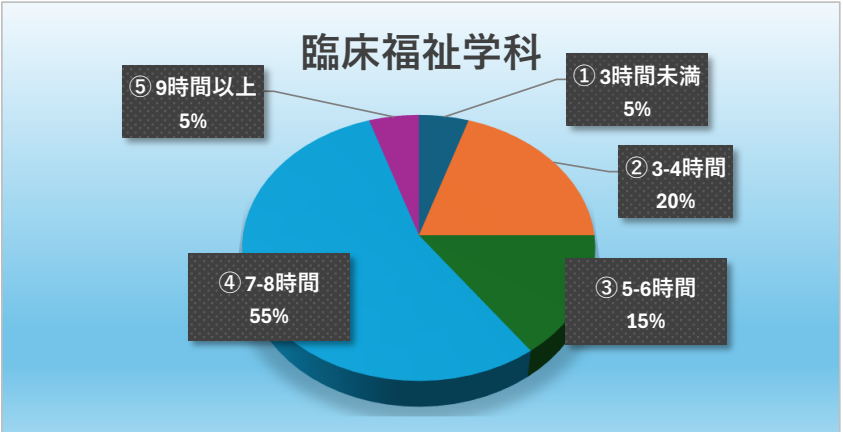
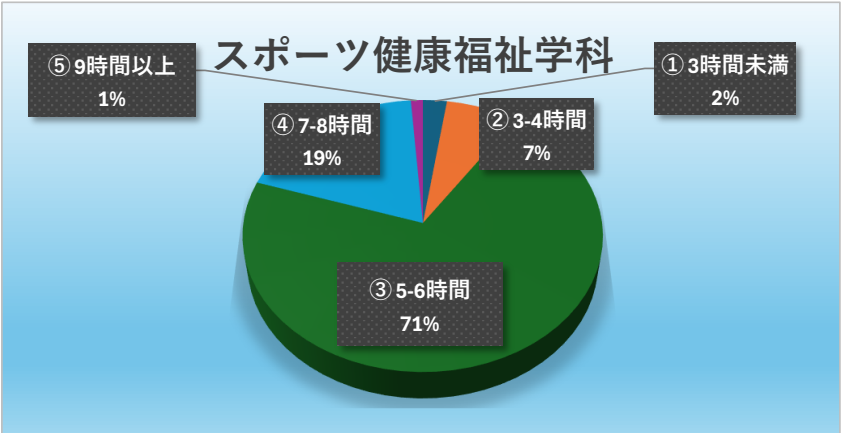


設問Ⅱ－2．アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？

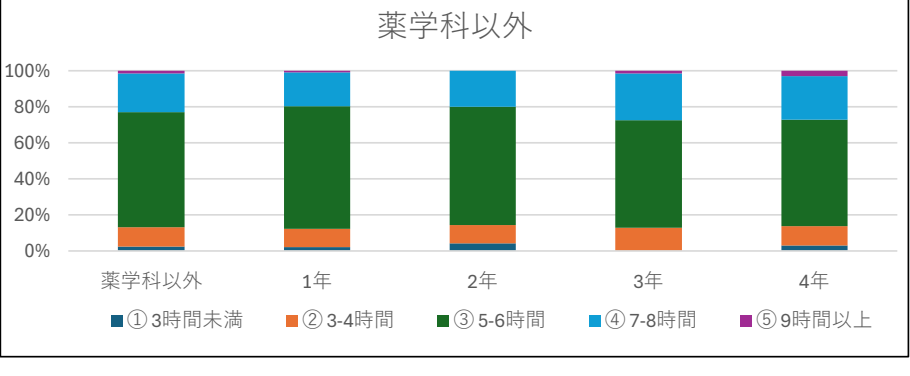
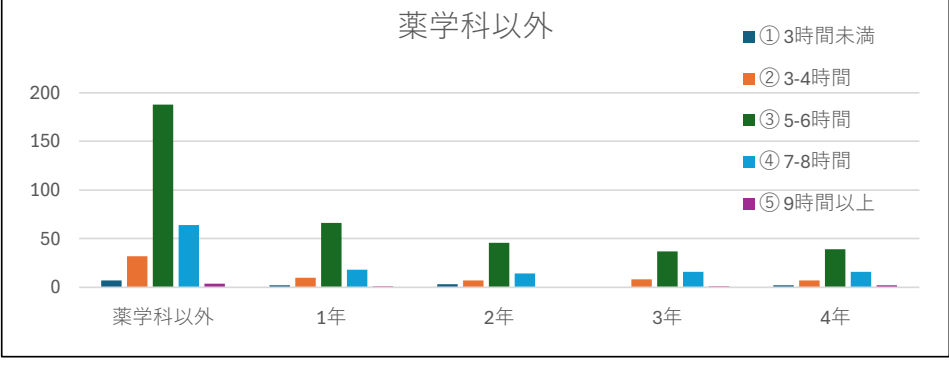
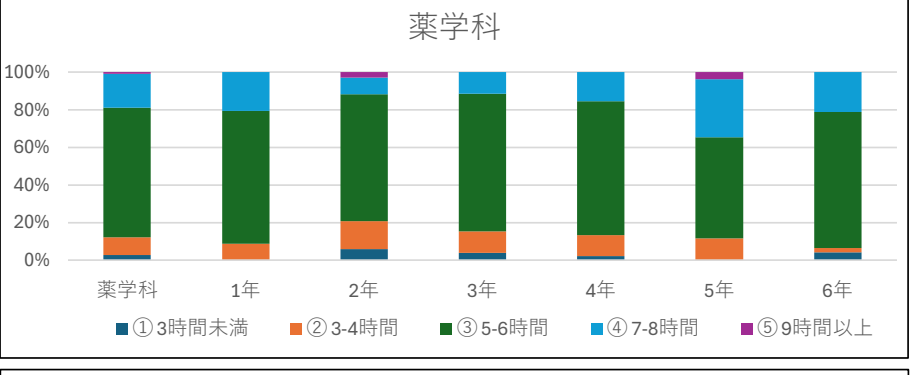
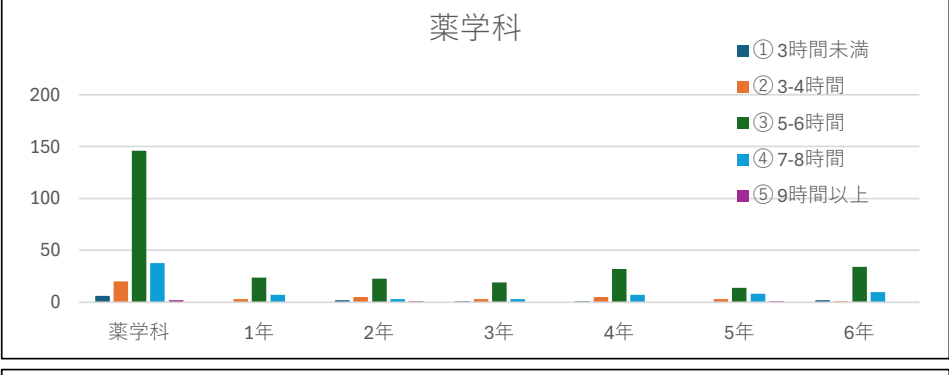
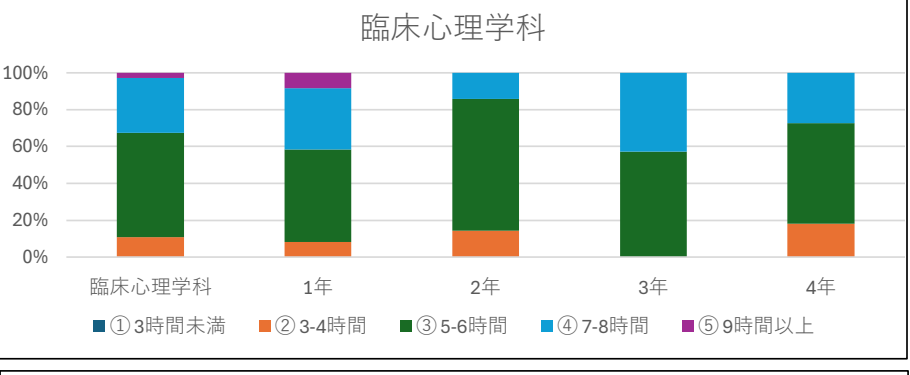
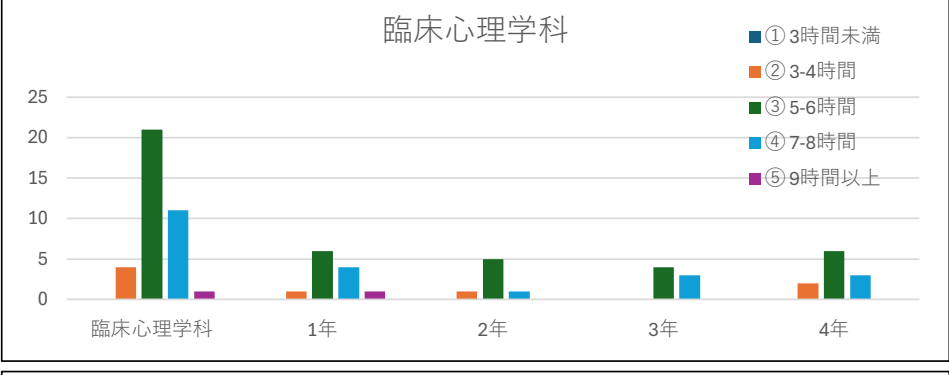
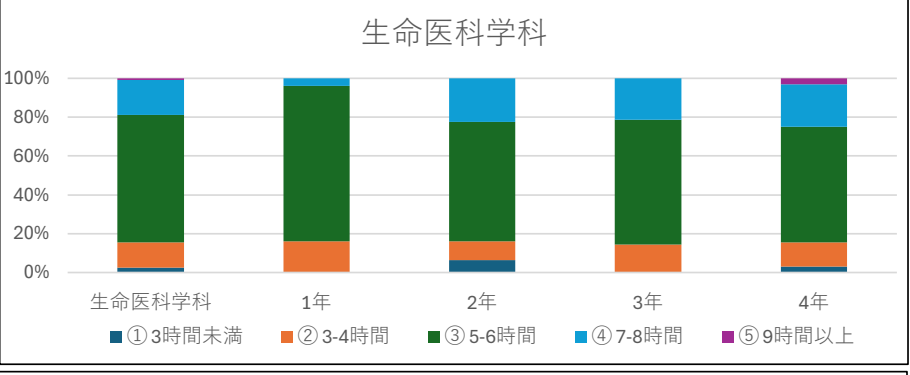
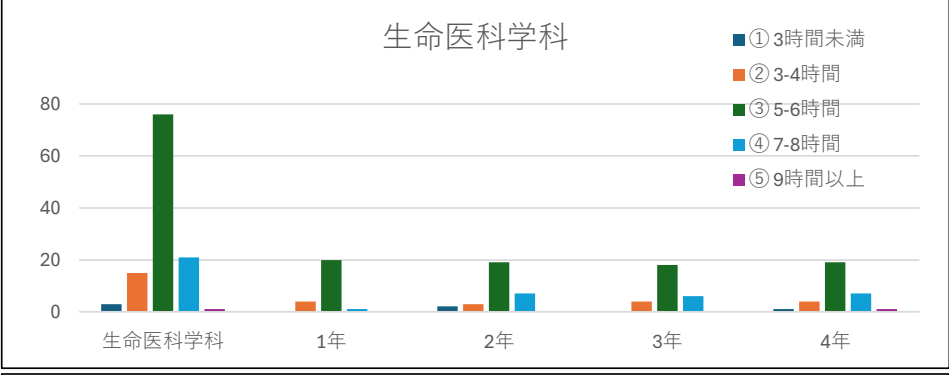
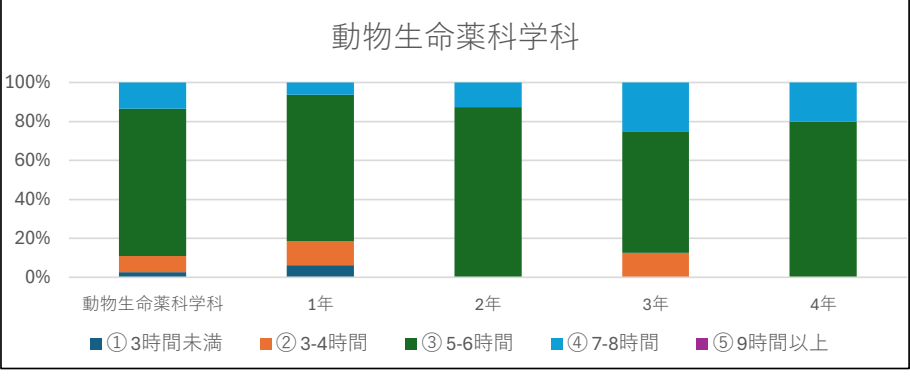
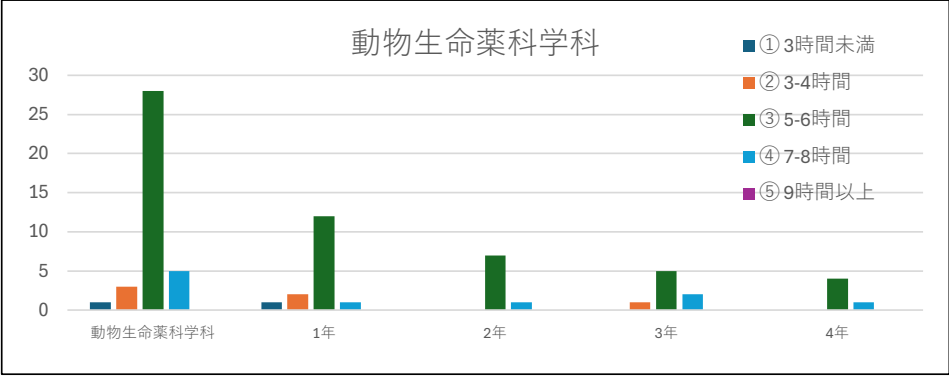
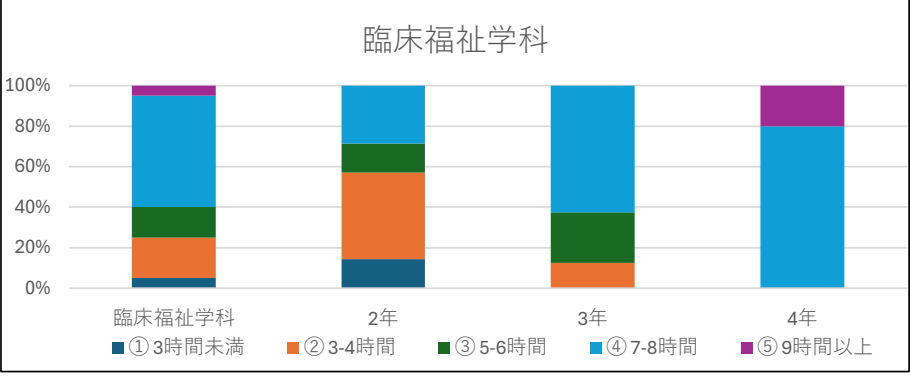
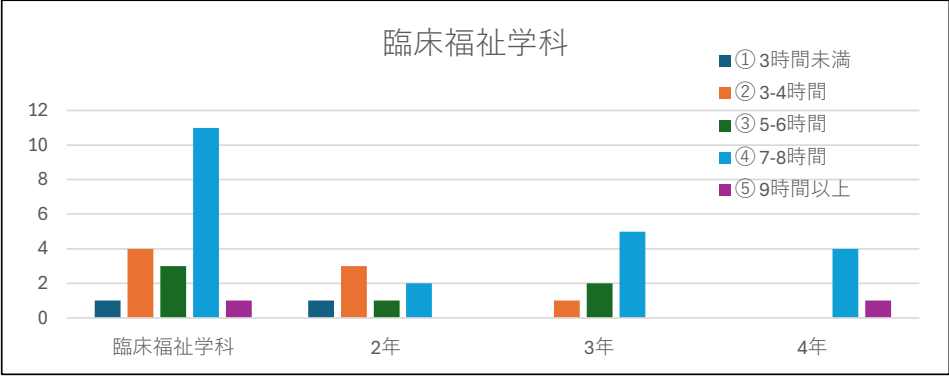
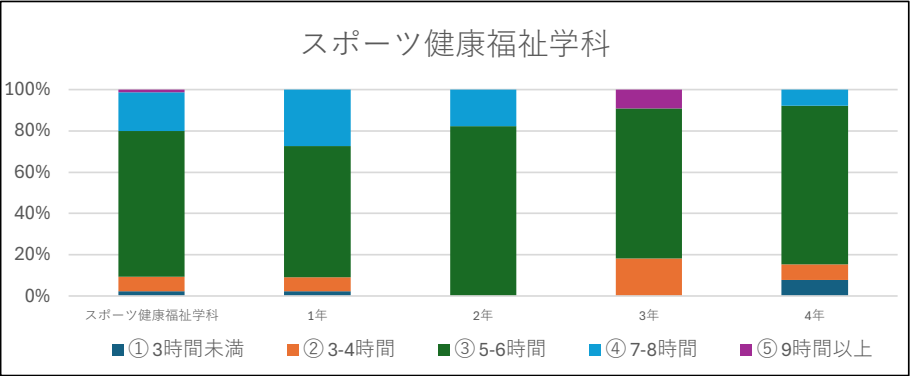
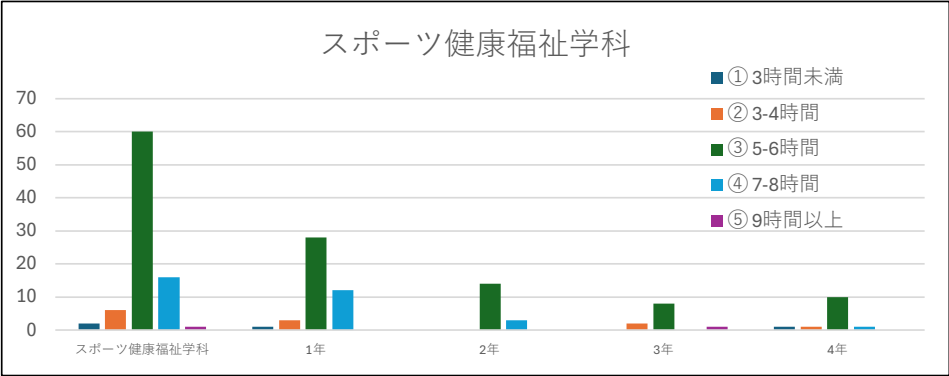


設問Ⅱ－3．授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
スポーツ健康福祉学科	2	6	60	16	1
1年	1	3	28	12	0
2年	0	0	14	3	0
3年	0	2	8	0	1
4年	1	1	10	1	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
臨床福祉学科	1	4	3	11	1
2年	1	3	1	2	0
3年	0	1	2	5	0
4年	0	0	0	4	1
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
動物生命薬科学科	1	3	28	5	0
1年	1	2	12	1	0
2年	0	0	7	1	0
3年	0	1	5	2	0
4年	0	0	4	1	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
生命医科学科	3	15	76	21	1
1年	0	4	20	1	0
2年	2	3	19	7	0
3年	0	4	18	6	0
4年	1	4	19	7	1
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
臨床心理学科	0	4	21	11	1
1年	0	1	6	4	1
2年	0	1	5	1	0
3年	0	0	4	3	0
4年	0	2	6	3	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
薬学科	6	20	146	38	2
1年	0	3	24	7	0
2年	2	5	23	3	1
3年	1	3	19	3	0
4年	1	5	32	7	0
5年	0	3	14	8	1
6年	2	1	34	10	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
大学全体	13	52	334	102	6
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
薬学科以外	7	32	188	64	4
1年	2	10	66	18	1
2年	3	7	46	14	0
3年	0	8	37	16	1
4年	2	7	39	16	2

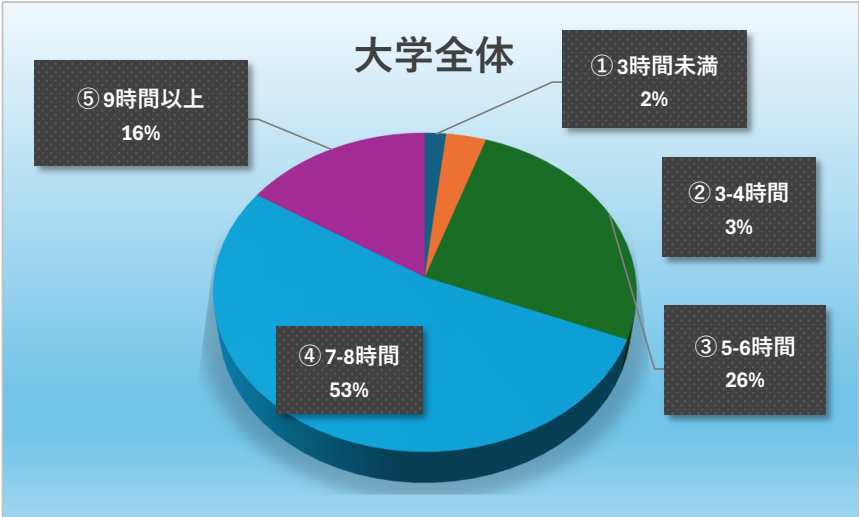
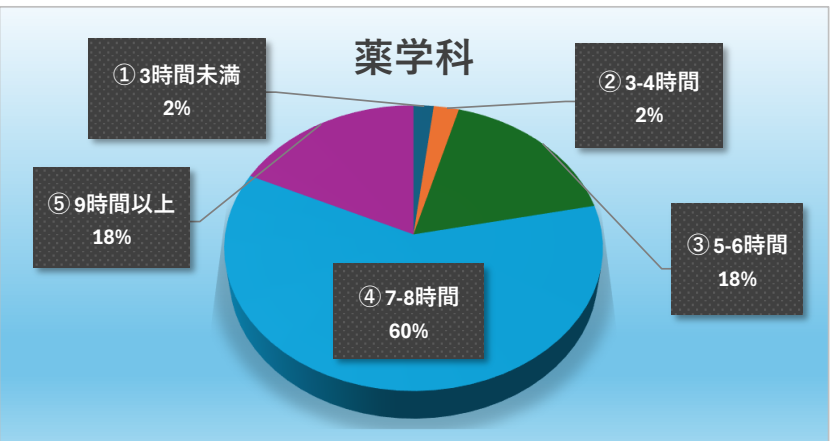
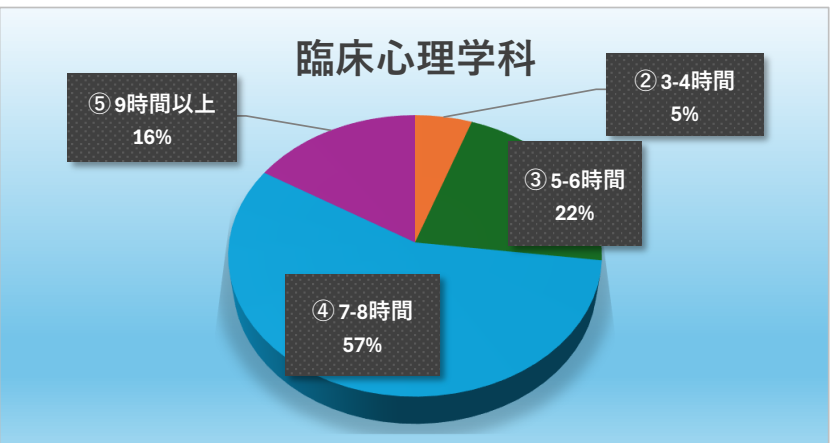
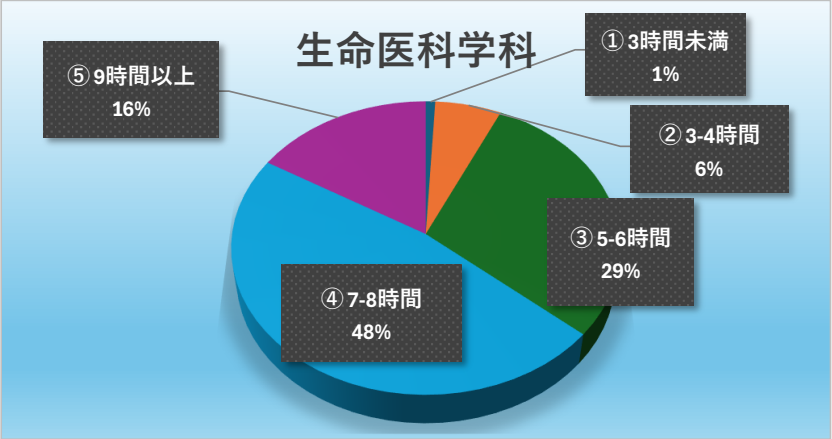
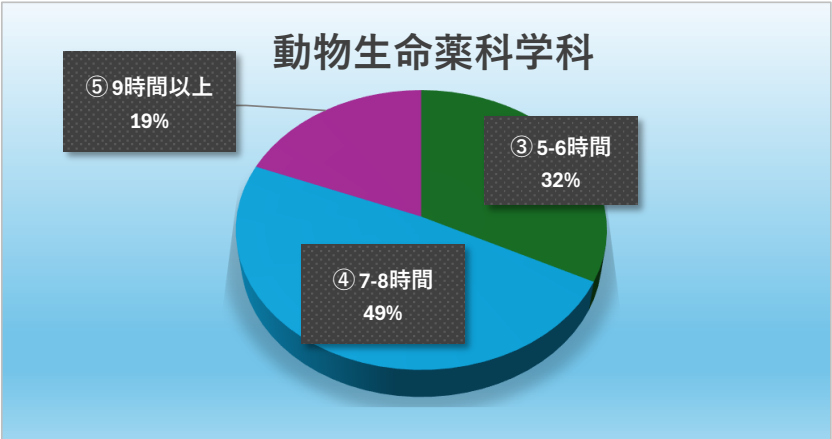
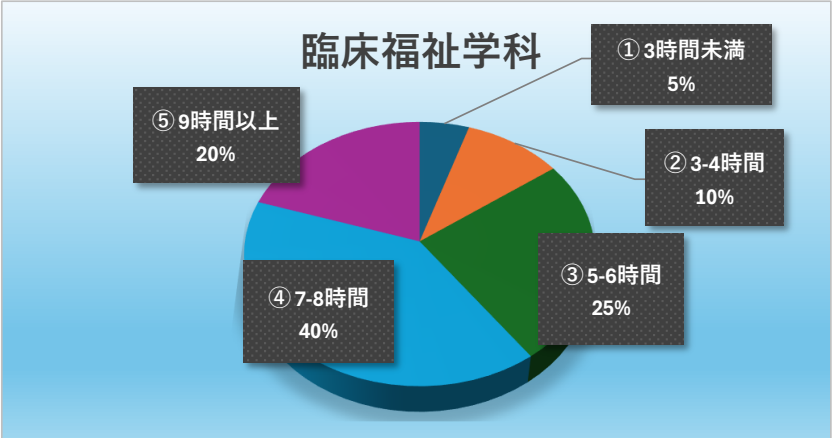
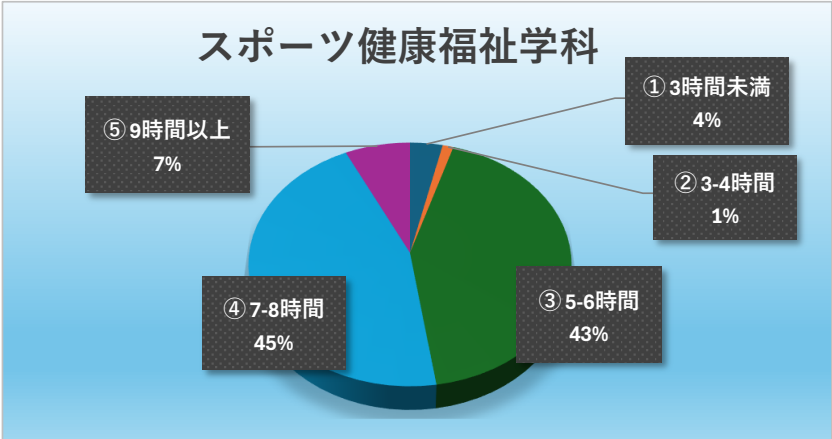


設問Ⅱ－3．授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

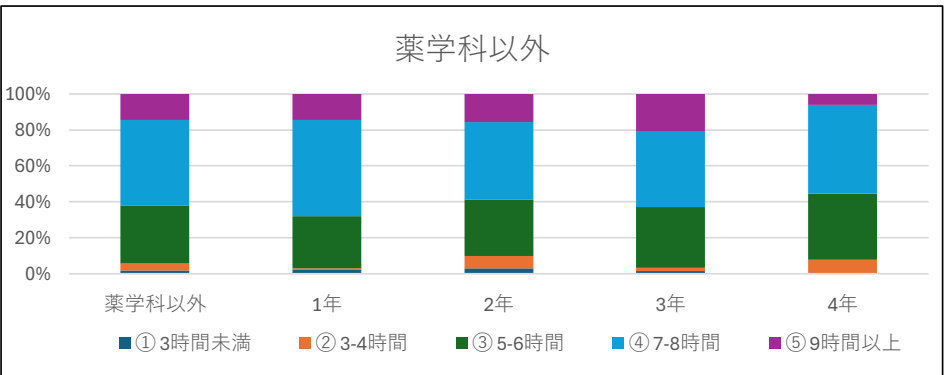
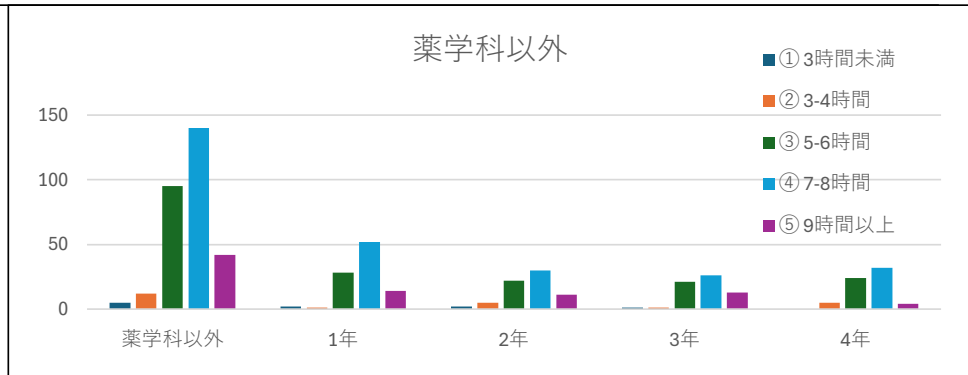
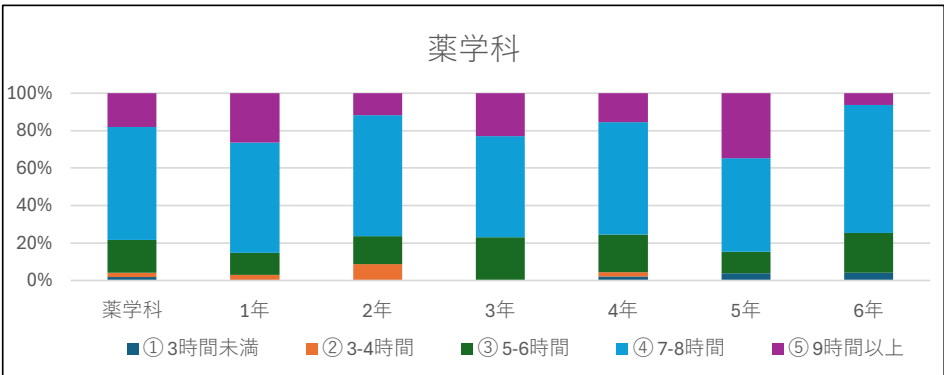
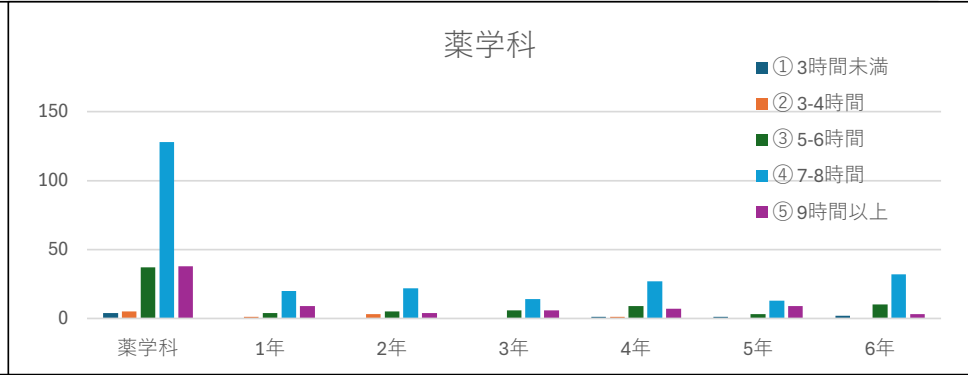
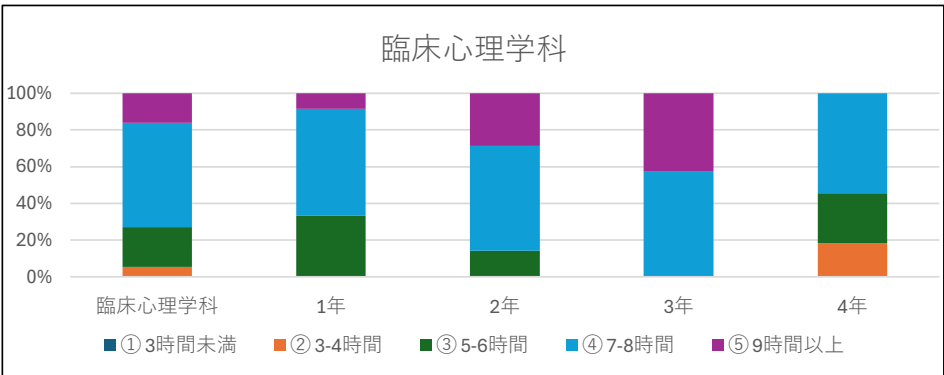
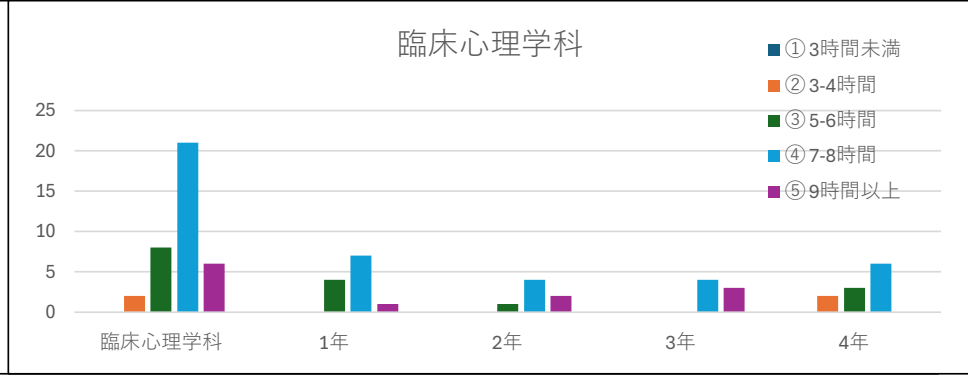
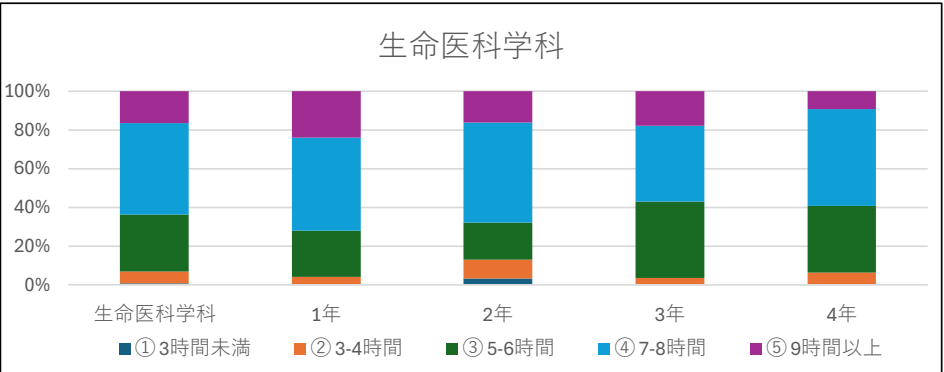
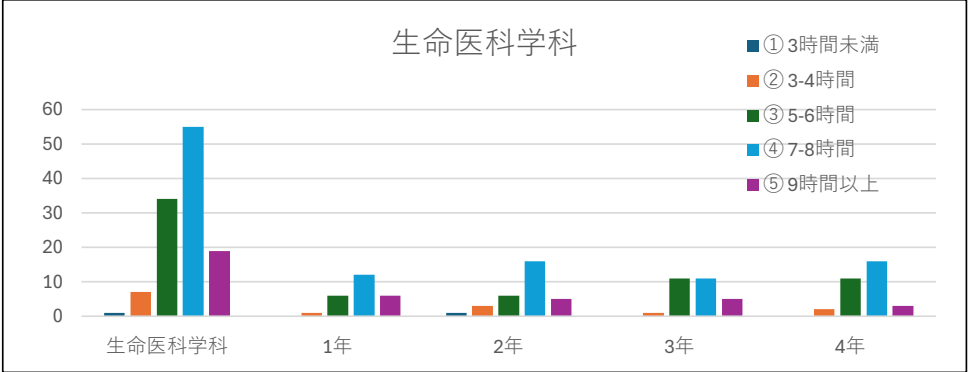
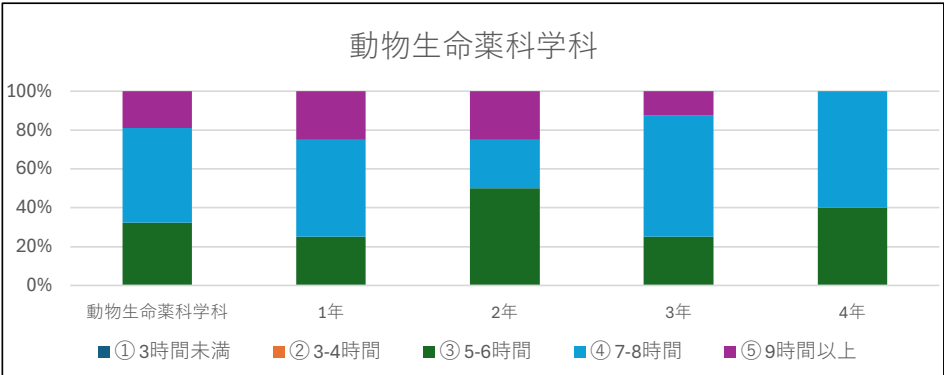
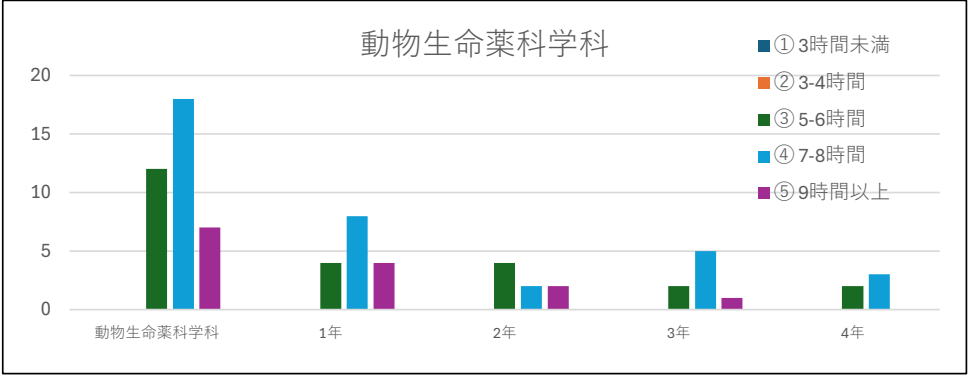
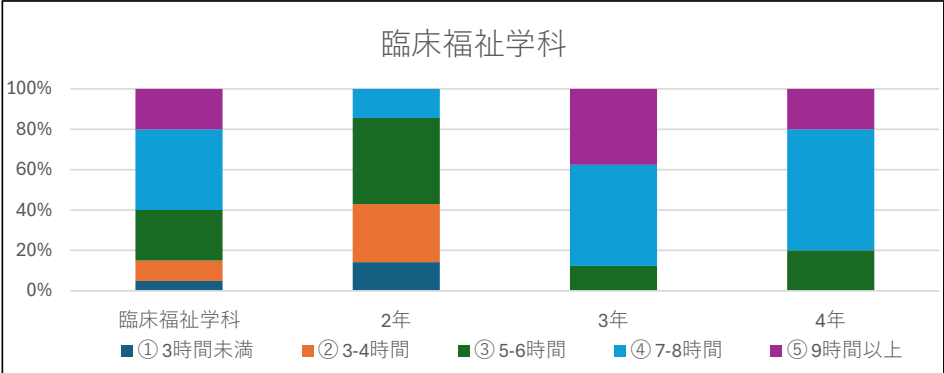
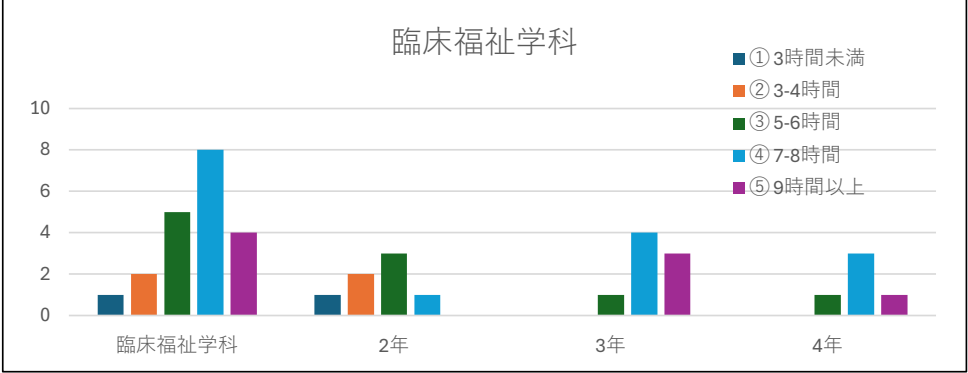
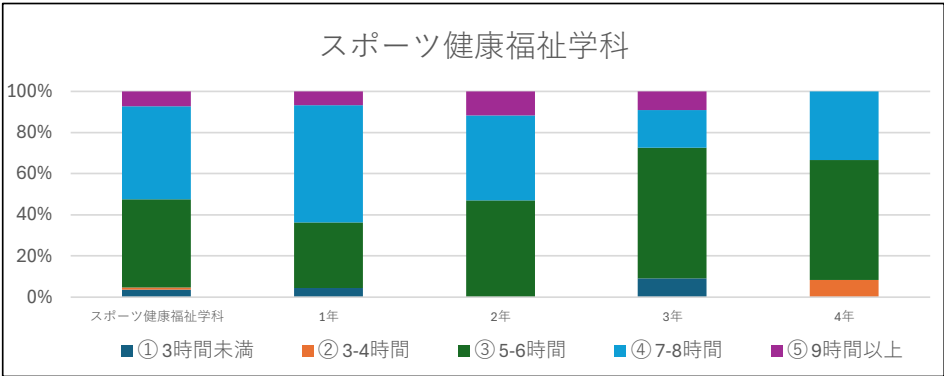
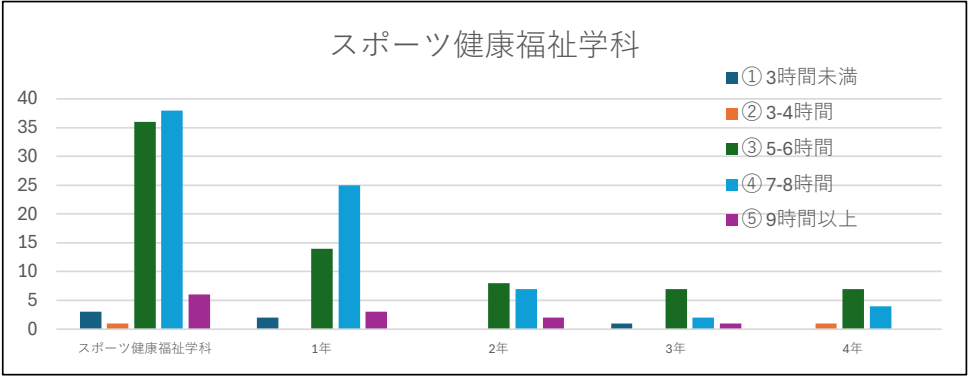


設問Ⅱ－4．授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
スポーツ健康福祉学科	3	1	36	38	6
1年	2	0	14	25	3
2年	0	0	8	7	2
3年	1	0	7	2	1
4年	0	1	7	4	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
臨床福祉学科	1	2	5	8	4
2年	1	2	3	1	0
3年	0	0	1	4	3
4年	0	0	1	3	1
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
動物生命薬科学科	0	0	12	18	7
1年	0	0	4	8	4
2年	0	0	4	2	2
3年	0	0	2	5	1
4年	0	0	2	3	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
生命医科学科	1	7	34	55	19
1年	0	1	6	12	6
2年	1	3	6	16	5
3年	0	1	11	11	5
4年	0	2	11	16	3
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
臨床心理学科	0	2	8	21	6
1年	0	0	4	7	1
2年	0	0	1	4	2
3年	0	0	0	4	3
4年	0	2	3	6	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
薬学科	4	5	37	128	38
1年	0	1	4	20	9
2年	0	3	5	22	4
3年	0	0	6	14	6
4年	1	1	9	27	7
5年	1	0	3	13	9
6年	2	0	10	32	3
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
大学全体	9	17	132	268	80
行ラベル	① 3時間未満	② 3-4時間	③ 5-6時間	④ 7-8時間	⑤ 9時間以上
薬学科以外	5	12	95	140	42
1年	2	1	28	52	14
2年	2	5	22	30	11
3年	1	1	21	26	13
4年	0	5	24	32	4

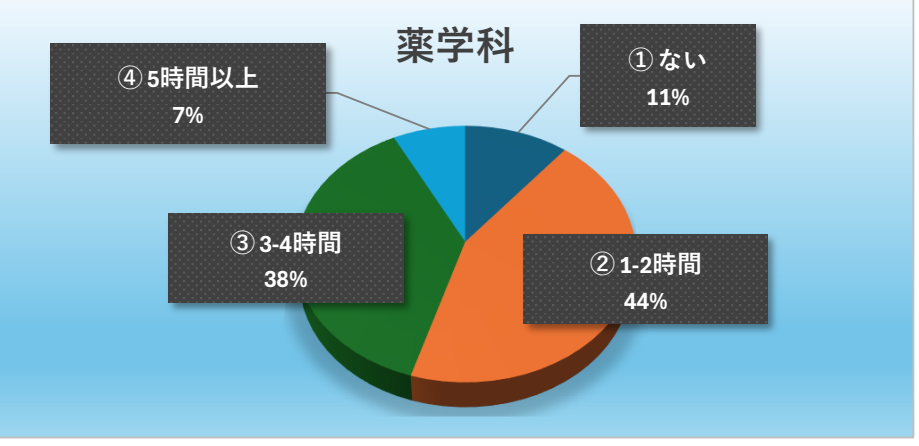
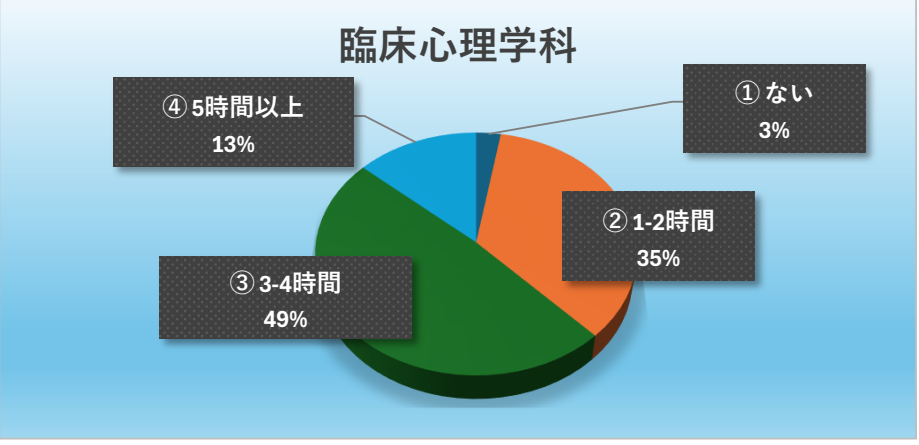
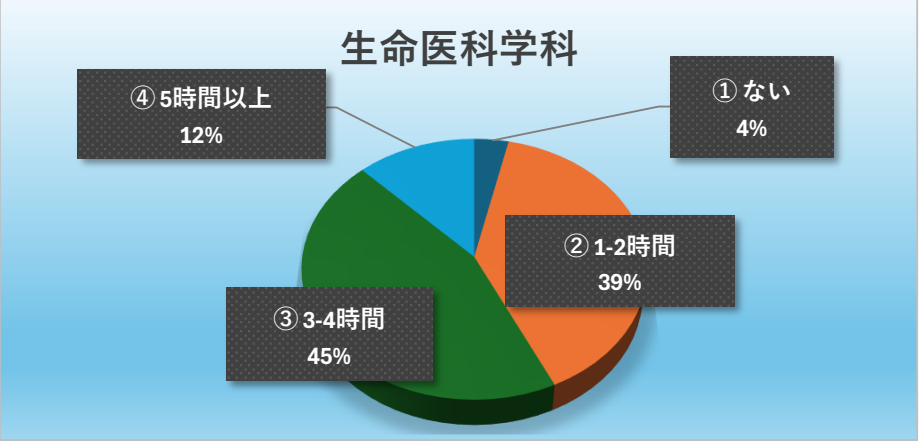
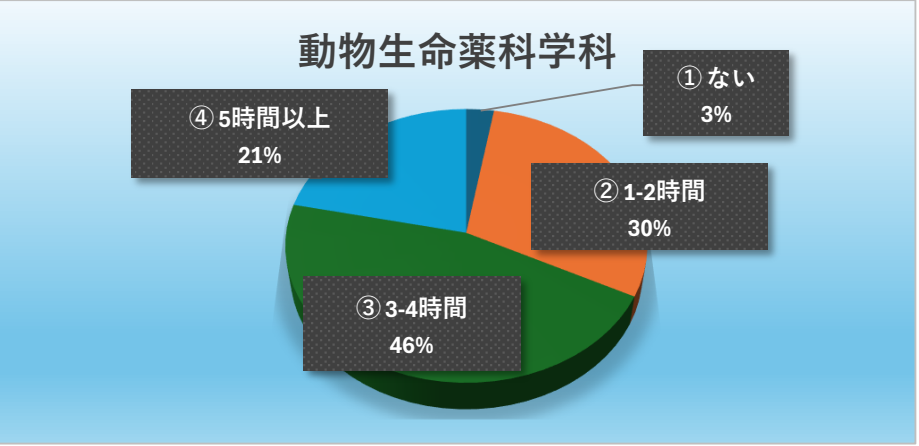
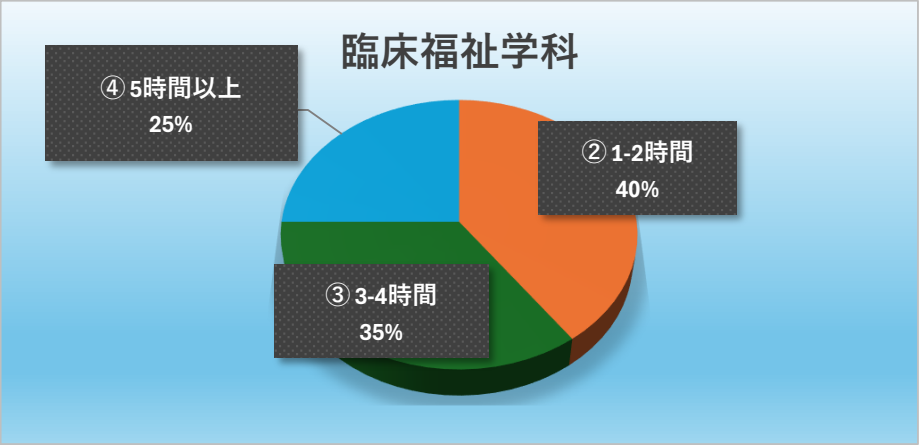
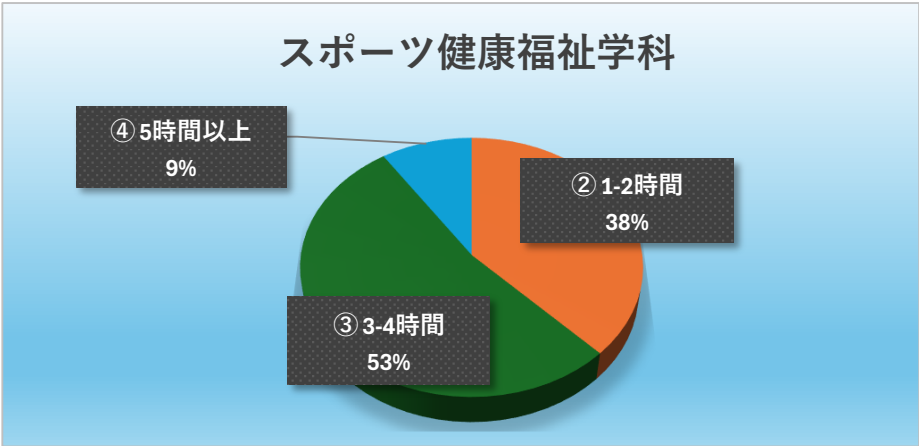
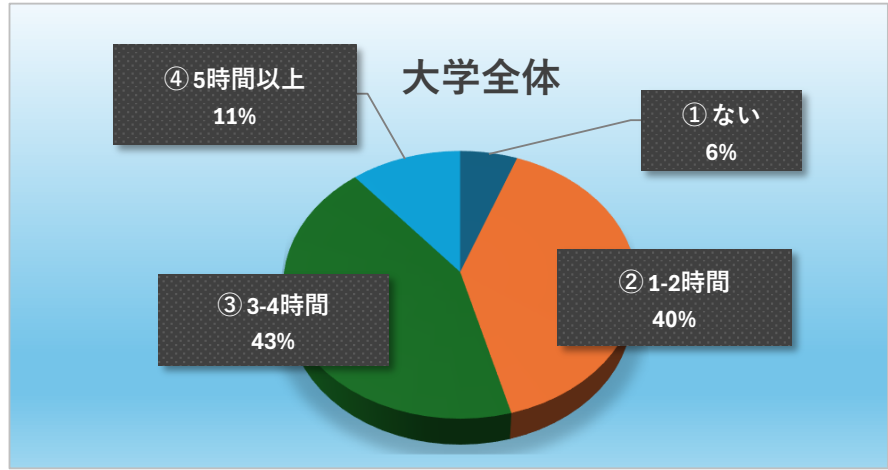


設問Ⅱ－４．授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？



設問Ⅱ－5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？

行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
スポーツ健康福祉学科	0	32	45	8
1年	0	12	25	7
2年	0	8	8	1
3年	0	6	5	0
4年	0	6	7	0
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
臨床福祉学科	0	8	7	5
2年	0	2	4	1
3年	0	3	2	3
4年	0	3	1	1
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
動物生命薬科学科	1	11	17	8
1年	0	7	4	5
2年	0	2	5	1
3年	0	2	5	1
4年	1	0	3	1
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
生命医科学科	4	45	51	14
1年	0	12	10	3
2年	3	9	14	4
3年	1	10	14	3
4年	0	14	13	4
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
臨床心理学科	1	13	18	5
1年	1	5	6	0
2年	0	3	3	1
3年	0	3	2	2
4年	0	2	7	2
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
薬学科	23	93	80	16
1年	1	16	14	3
2年	3	19	11	1
3年	4	10	9	3
4年	4	21	18	2
5年	4	11	9	2
6年	7	16	19	5
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
大学全体	29	202	218	56
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
薬学科以外	6	109	138	40
1年	1	36	45	15
2年	3	24	34	8
3年	1	24	28	9
4年	1	25	31	8

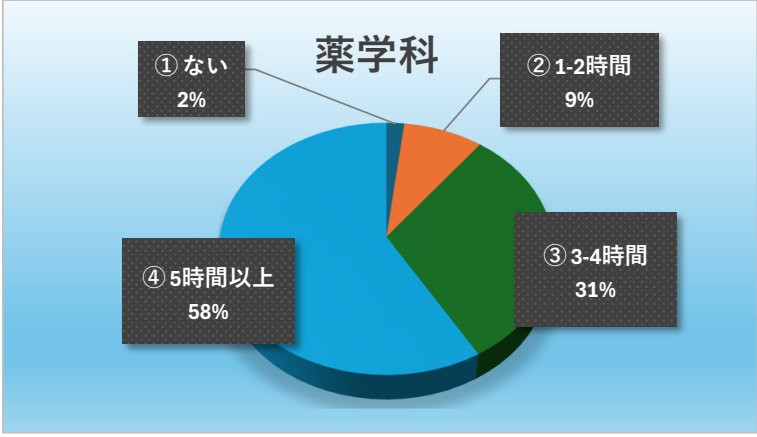
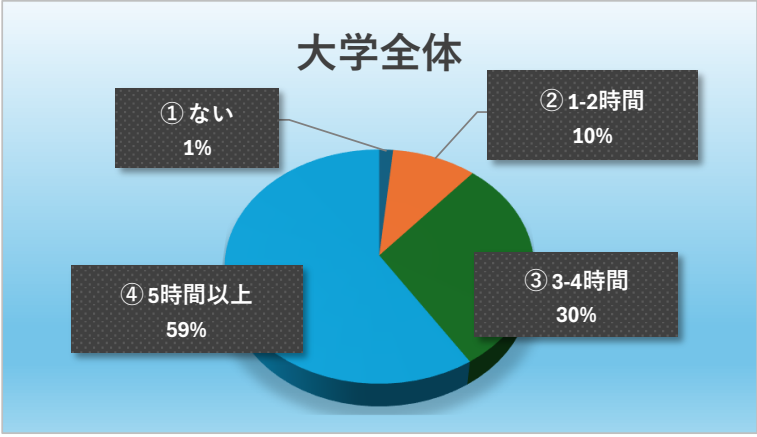
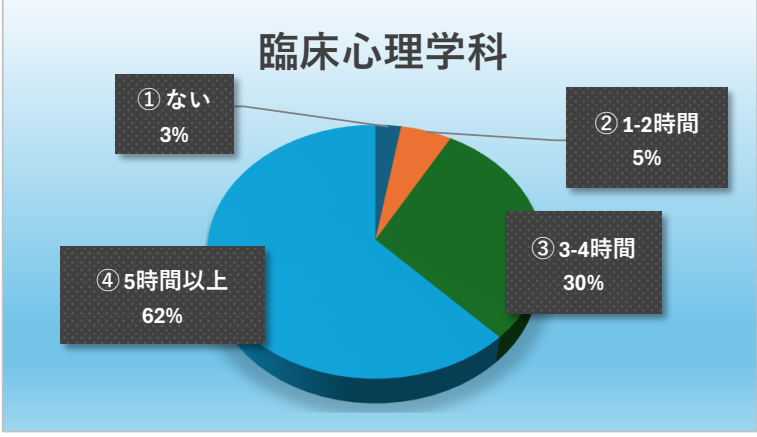
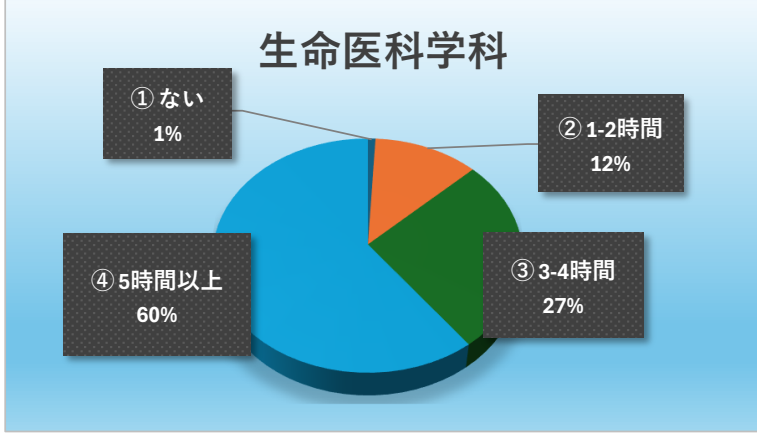
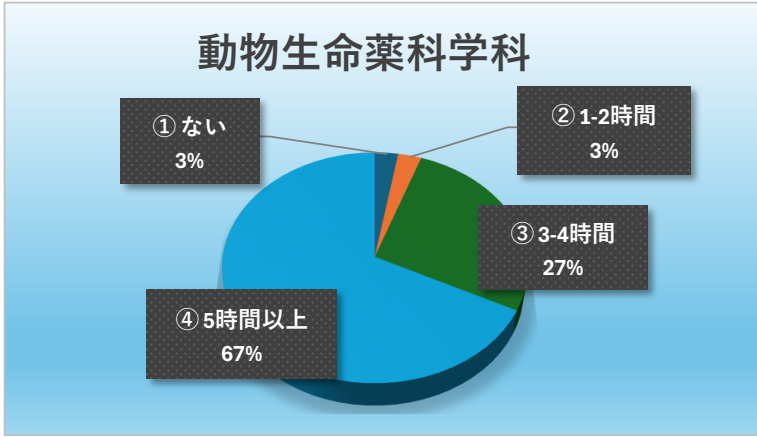
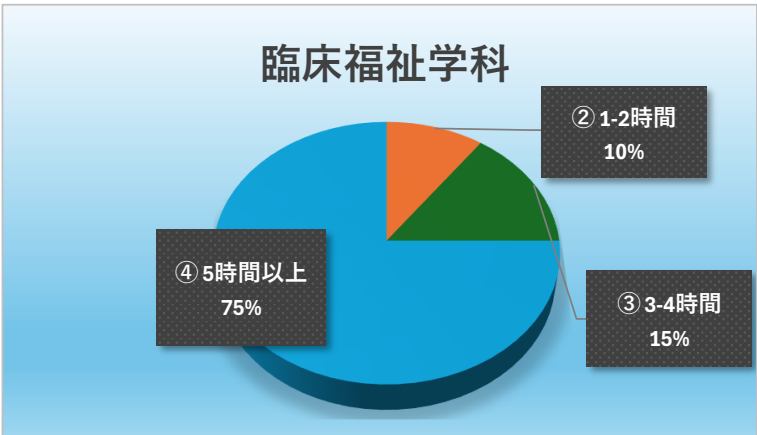
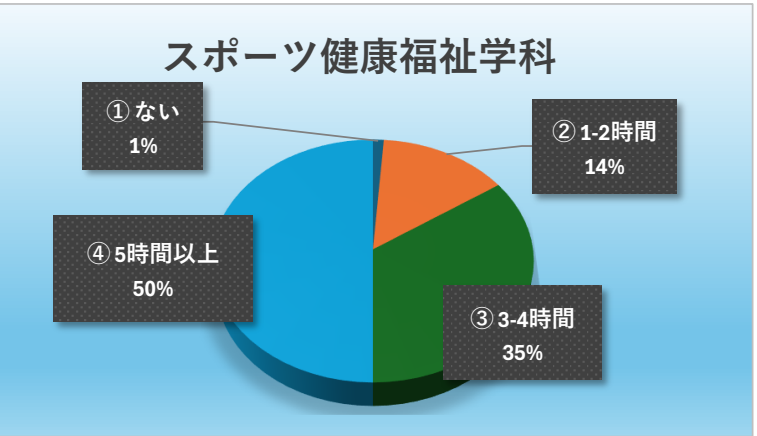


設問Ⅱ－5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？

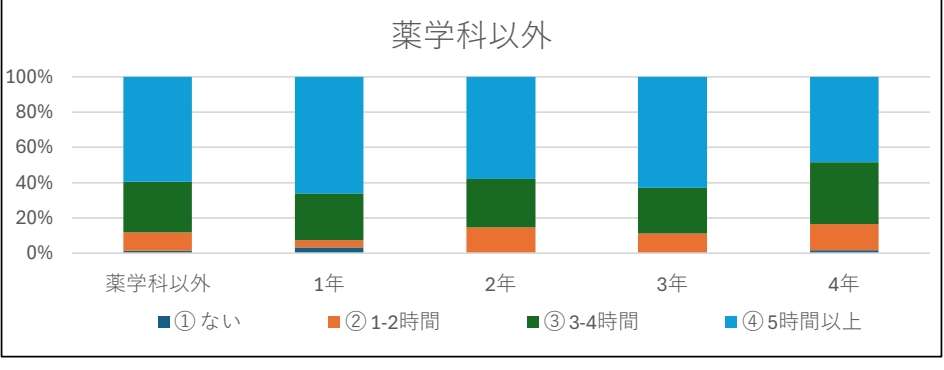
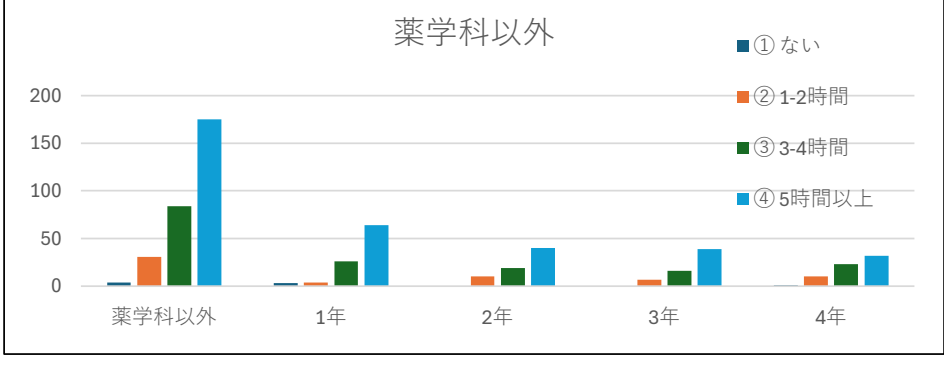
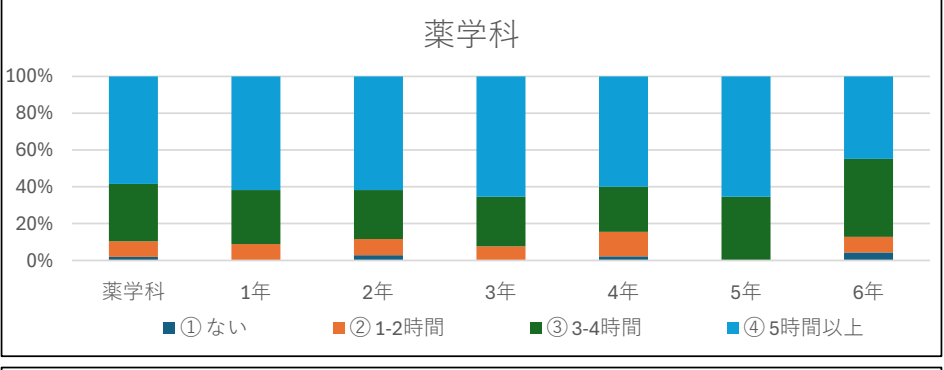
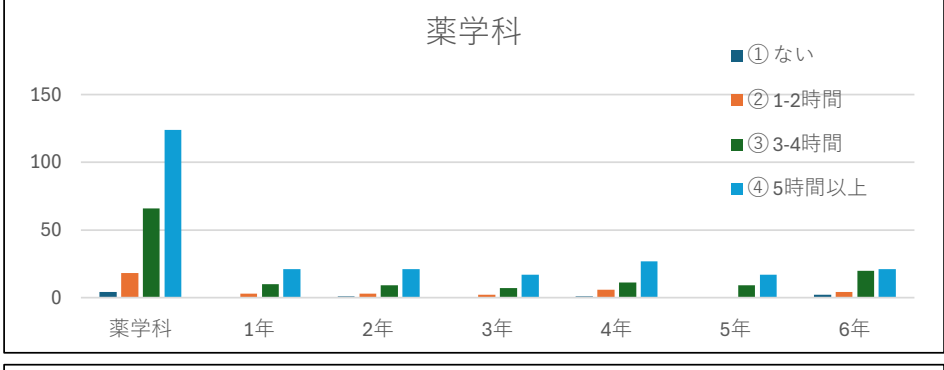
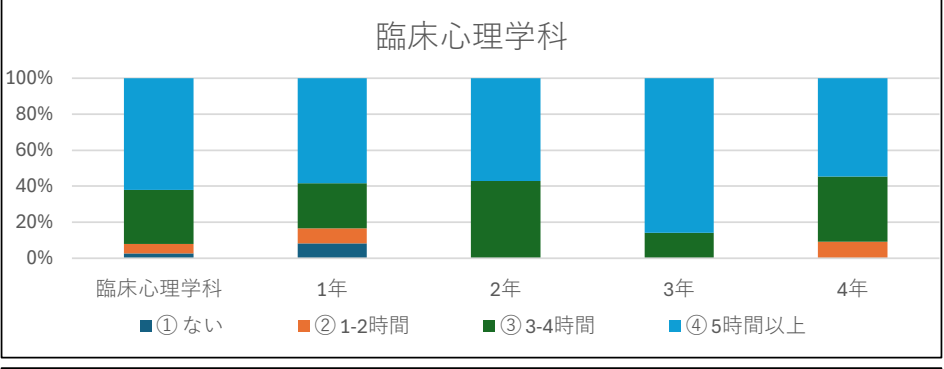
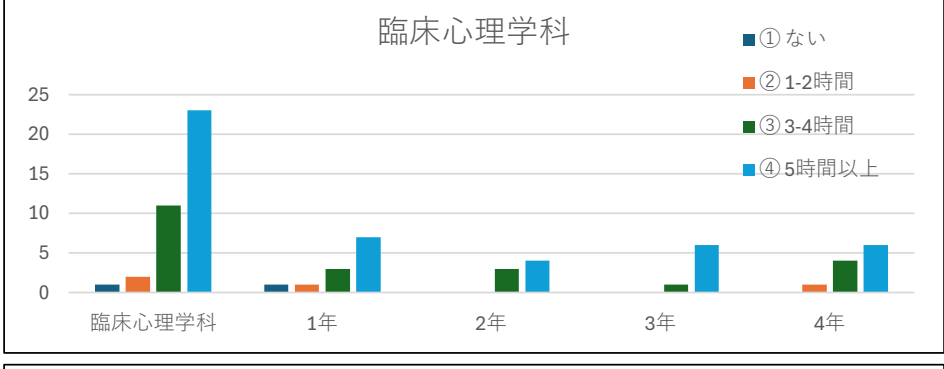
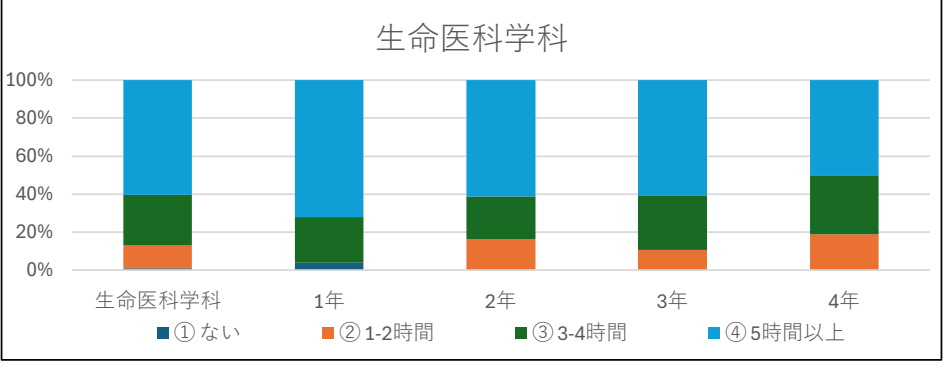
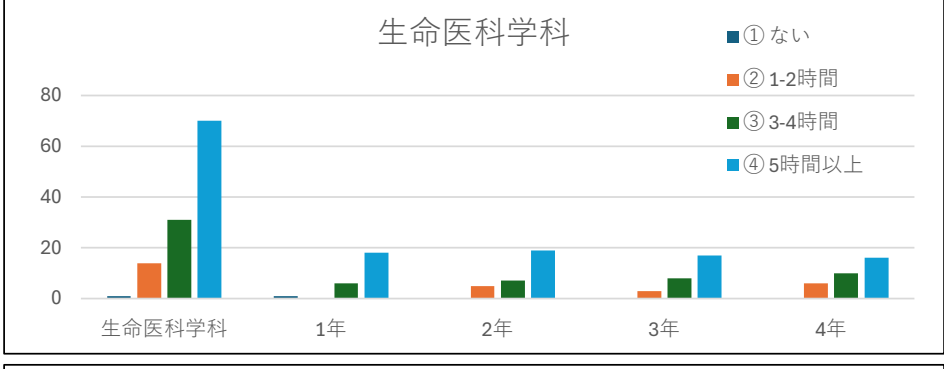
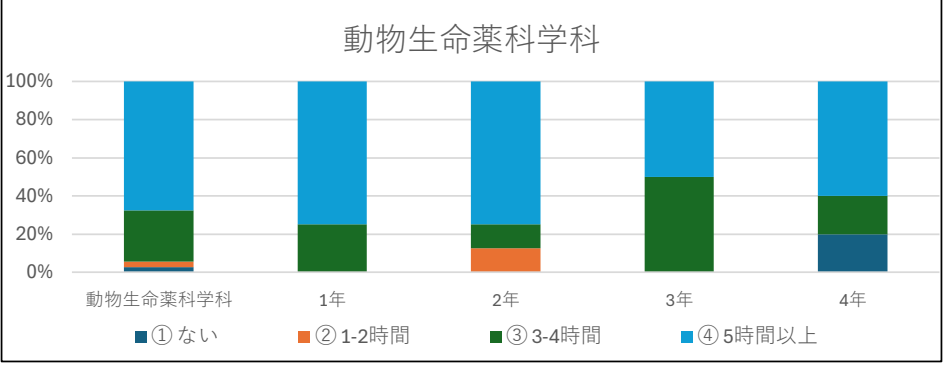
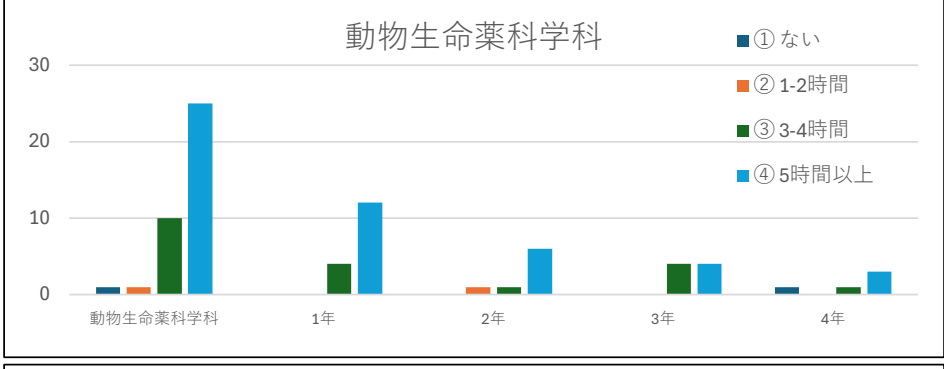
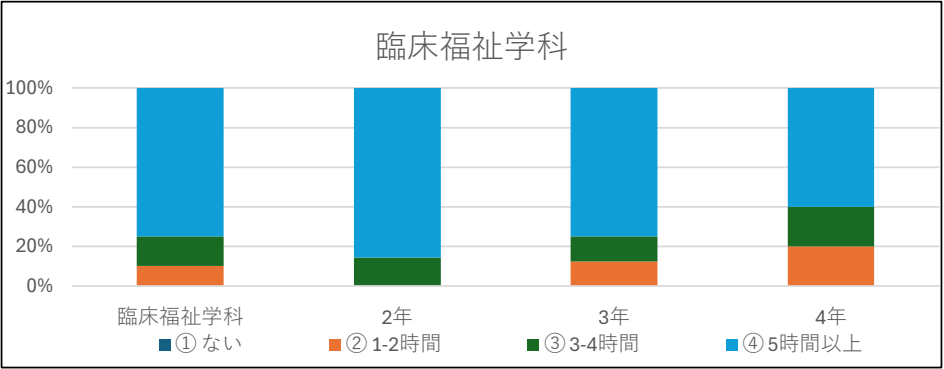
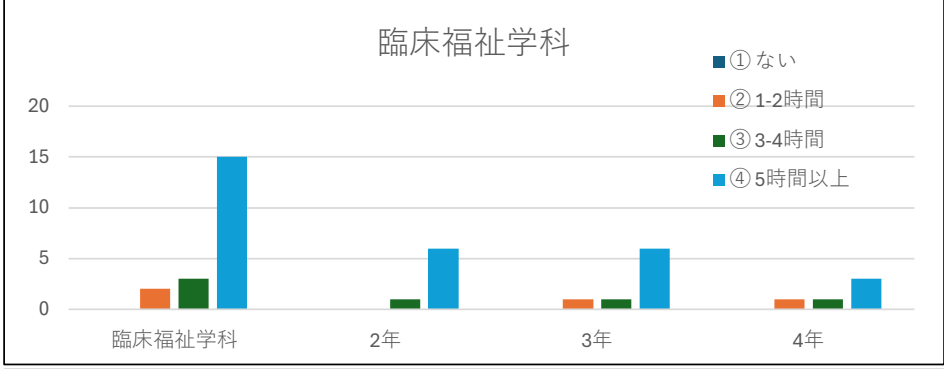
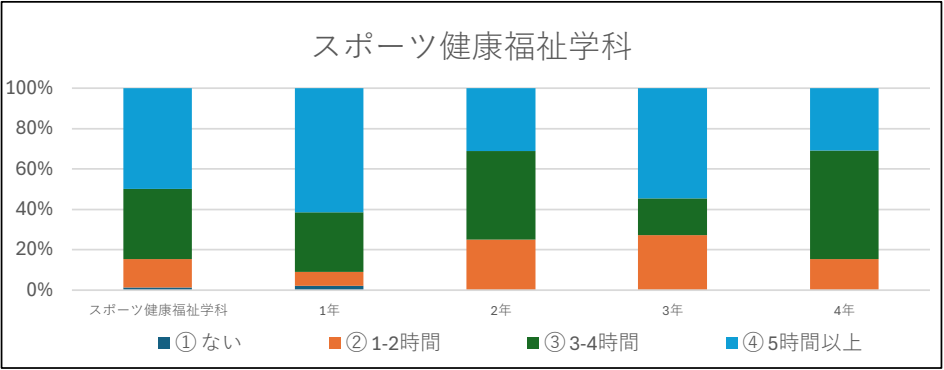
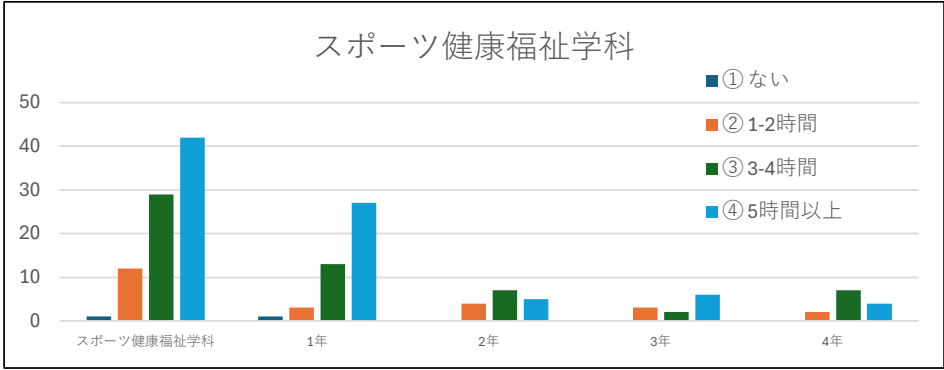


設問Ⅱ－6．授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？

行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
スポーツ健康福祉学科	1	12	29	42
1年	1	3	13	27
2年	0	4	7	5
3年	0	3	2	6
4年	0	2	7	4
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
臨床福祉学科	0	2	3	15
2年	0	0	1	6
3年	0	1	1	6
4年	0	1	1	3
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
動物生命薬科学科	1	1	10	25
1年	0	0	4	12
2年	0	1	1	6
3年	0	0	4	4
4年	1	0	1	3
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
生命医科学科	1	14	31	70
1年	1	0	6	18
2年	0	5	7	19
3年	0	3	8	17
4年	0	6	10	16
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
臨床心理学科	1	2	11	23
1年	1	1	3	7
2年	0	0	3	4
3年	0	0	1	6
4年	0	1	4	6
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
薬学科	4	18	66	124
1年	0	3	10	21
2年	1	3	9	21
3年	0	2	7	17
4年	1	6	11	27
5年	0	0	9	17
6年	2	4	20	21
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
大学全体	8	49	150	299
行ラベル	① ない	② 1-2時間	③ 3-4時間	④ 5時間以上
薬学科以外	4	31	84	175
1年	3	4	26	64
2年	0	10	19	40
3年	0	7	16	39
4年	1	10	23	32

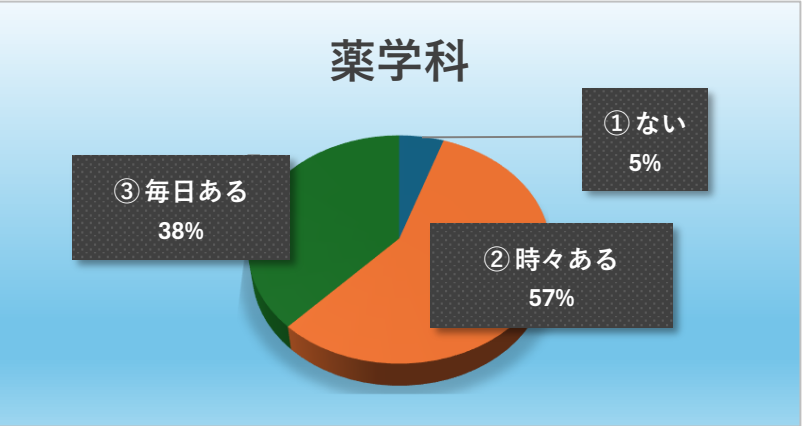
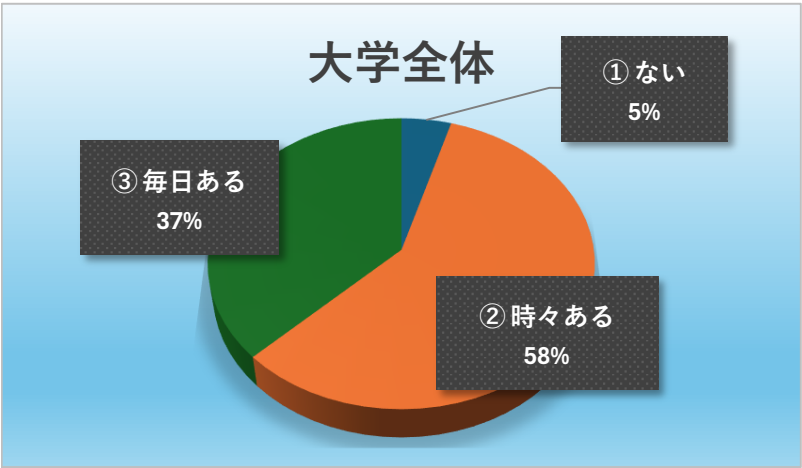
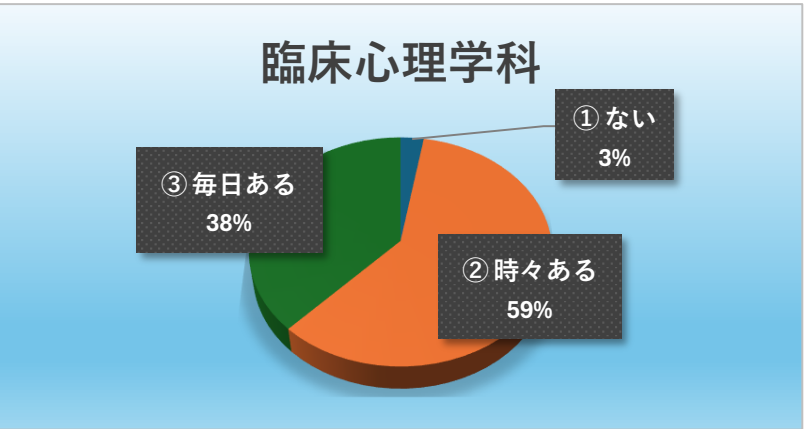
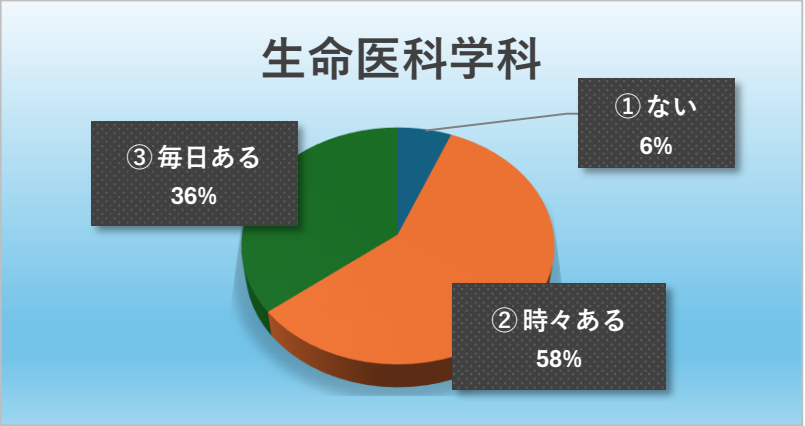
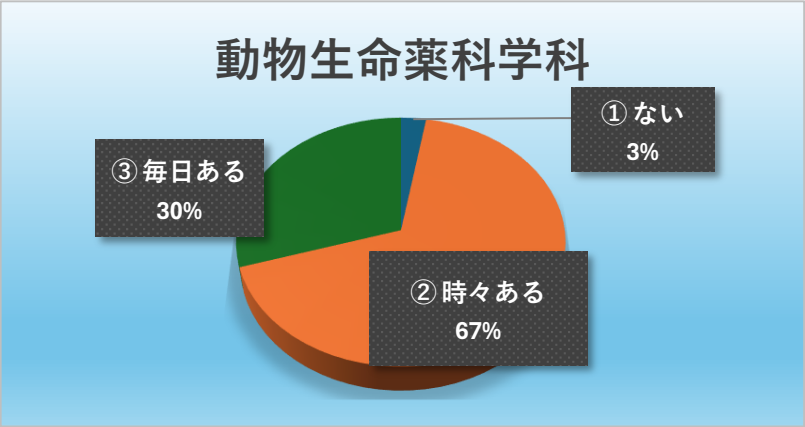
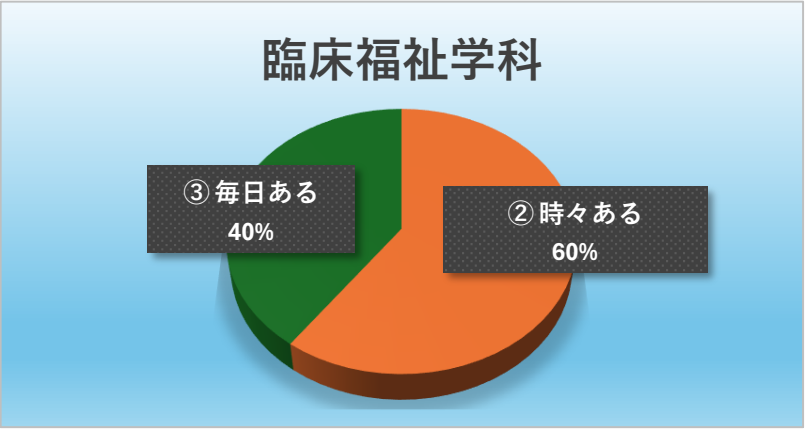
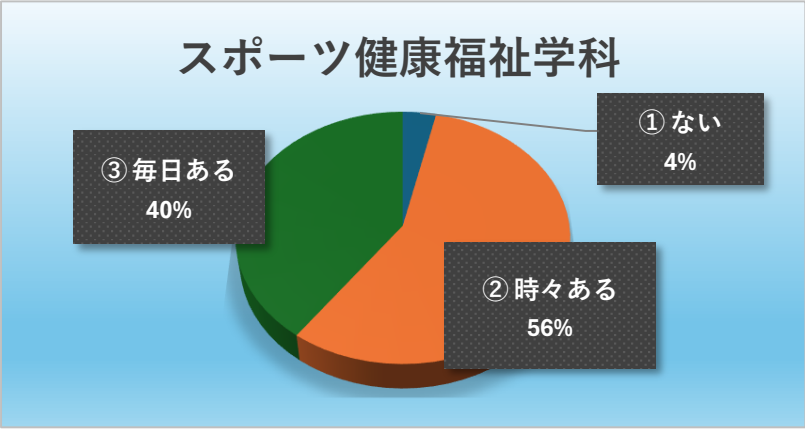


設問Ⅱ－6．授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？



設問Ⅱ－7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
スポーツ健康福祉学科	3	48	34
1年	1	24	19
2年	1	14	2
3年	0	5	6
4年	1	5	7
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
臨床福祉学科	0	12	8
2年	0	5	2
3年	0	3	5
4年	0	4	1
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
動物生命薬科学科	1	25	11
1年	0	11	5
2年	0	8	0
3年	1	4	3
4年	0	2	3
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
生命医科学科	7	67	41
1年	1	13	10
2年	2	19	10
3年	3	18	7
4年	1	17	14
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
臨床心理学科	1	22	14
1年	1	7	4
2年	0	5	2
3年	0	4	3
4年	0	6	5
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
薬学科	11	120	80
1年	0	21	13
2年	2	23	9
3年	2	16	8
4年	4	25	16
5年	0	13	12
6年	3	22	22
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
大学全体	23	294	188
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある
薬学科以外	12	174	108
1年	3	55	38
2年	3	51	16
3年	4	34	24
4年	2	34	30

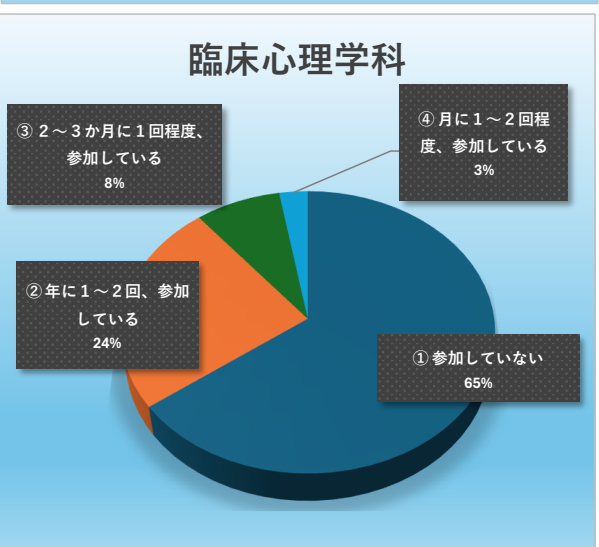
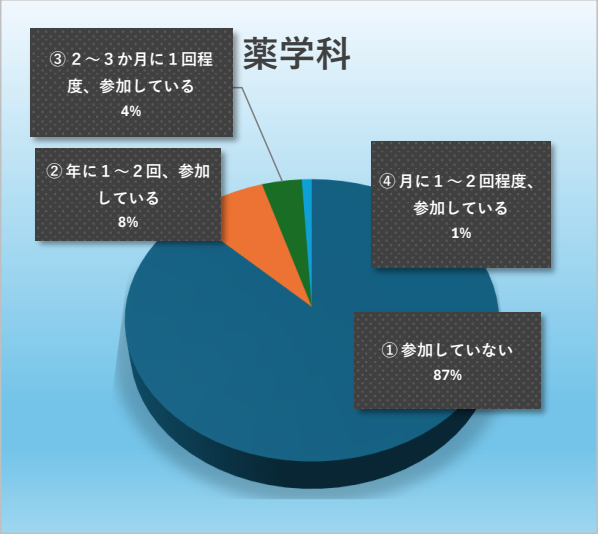
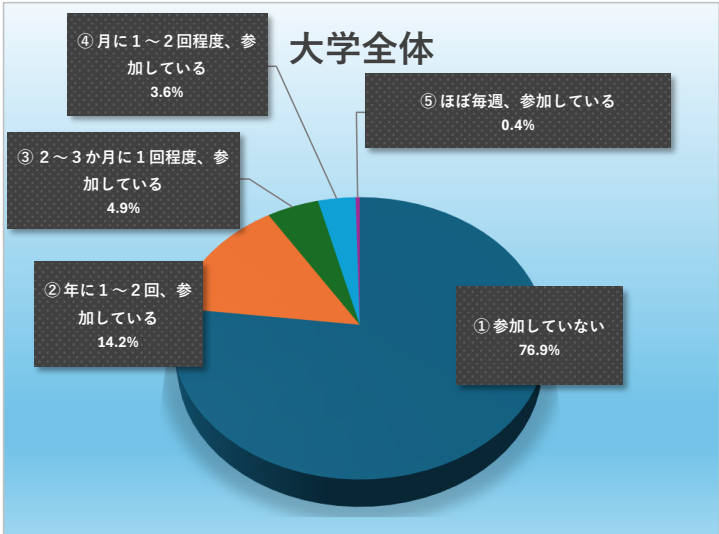
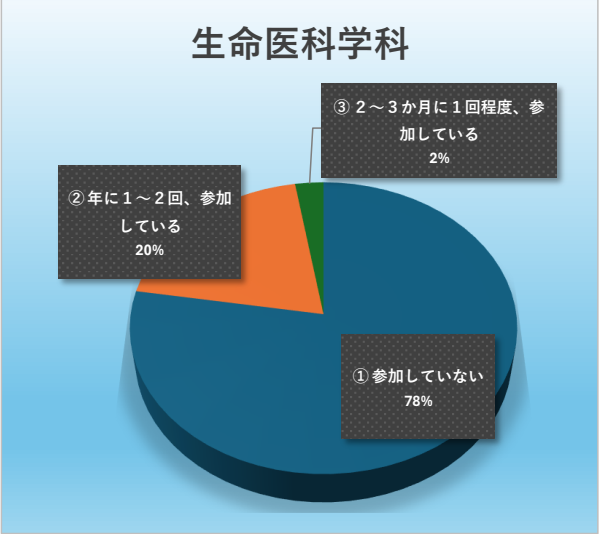
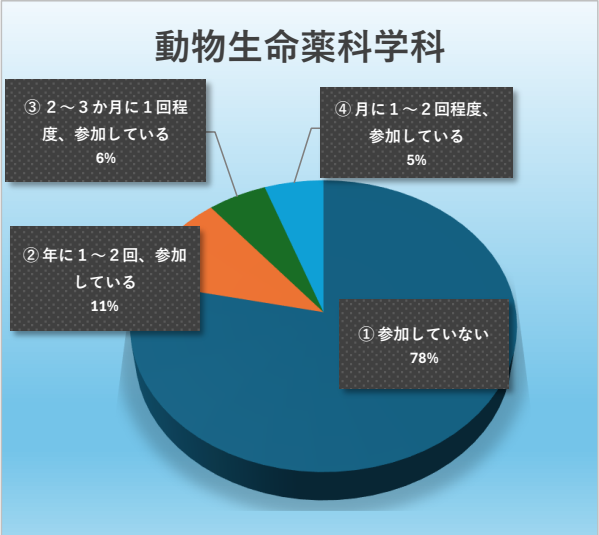
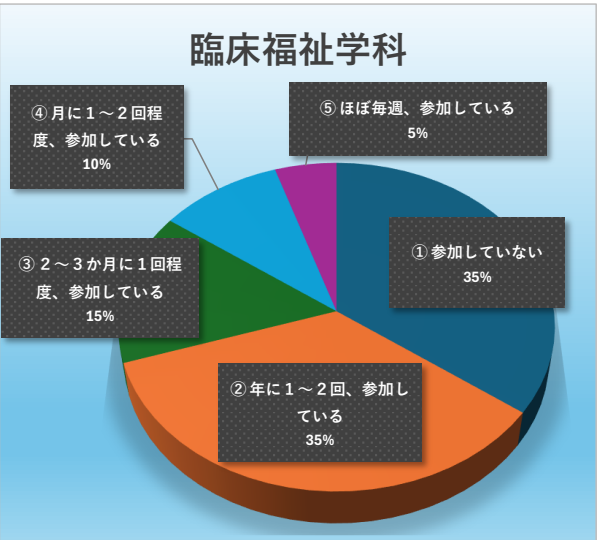
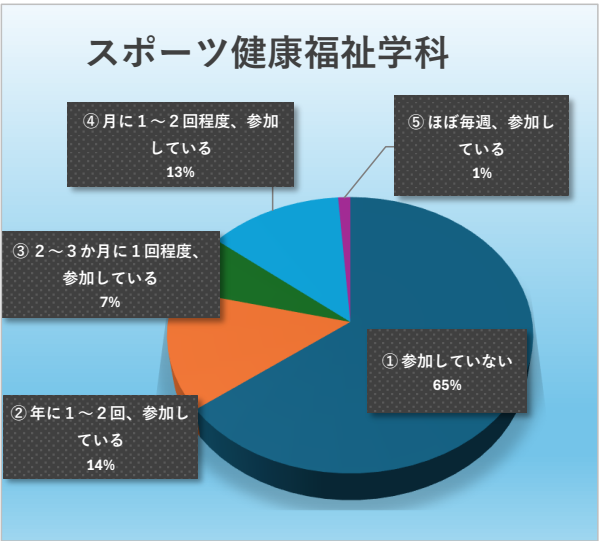


設問Ⅱ－7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

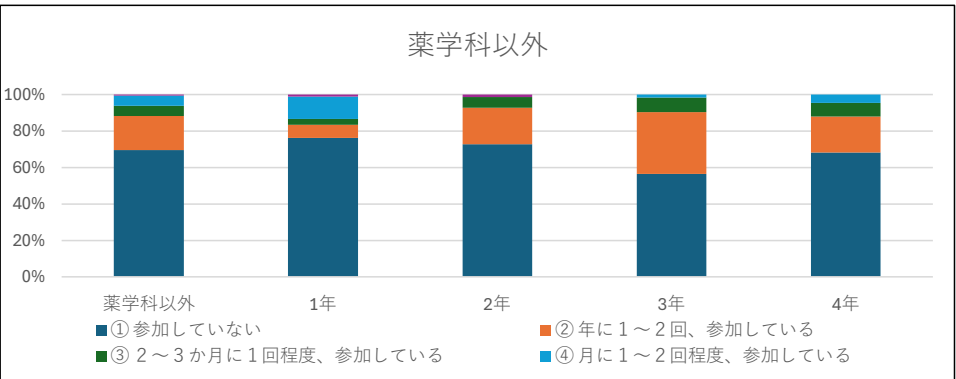
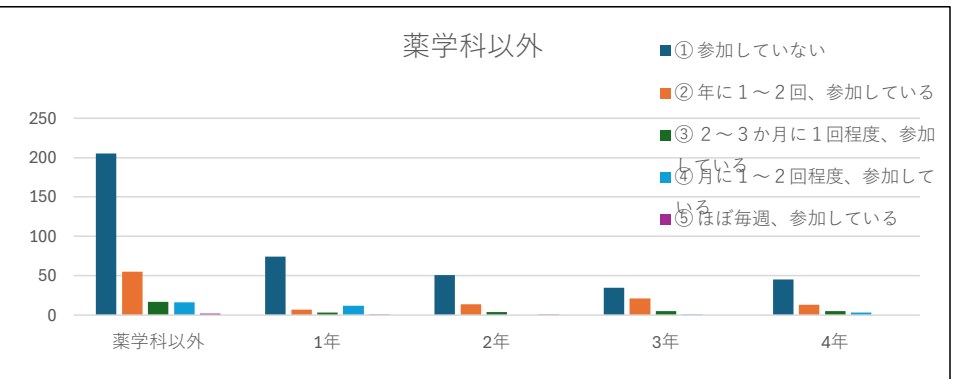
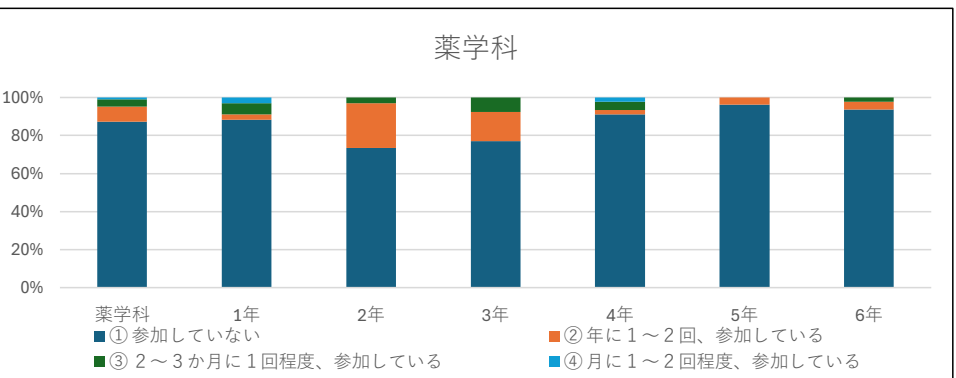
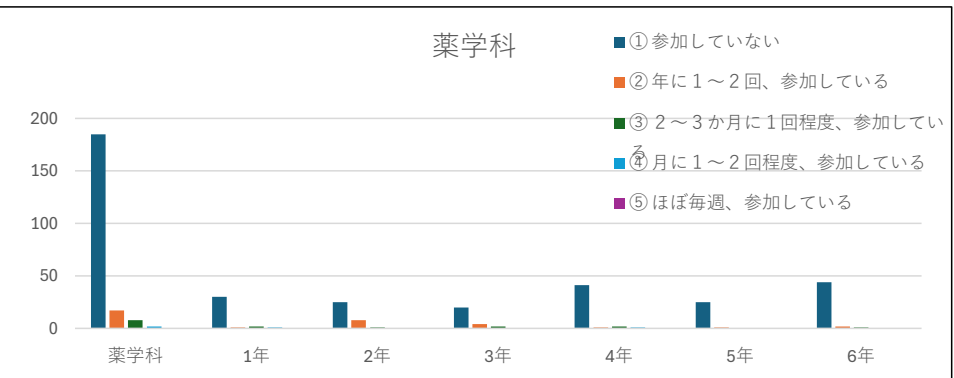
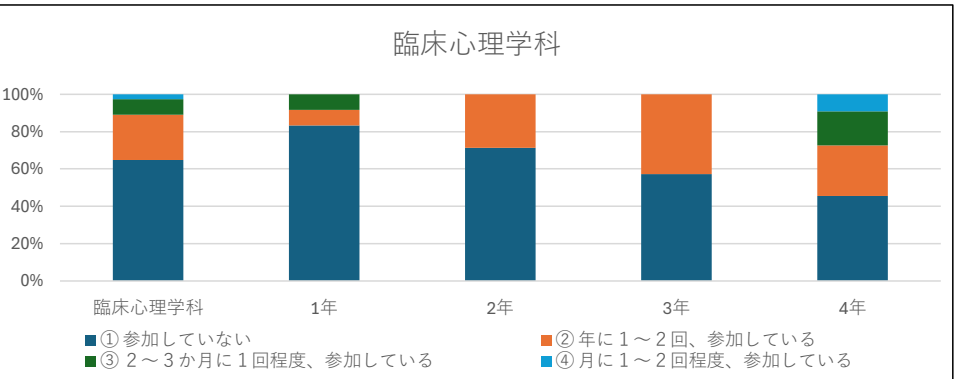
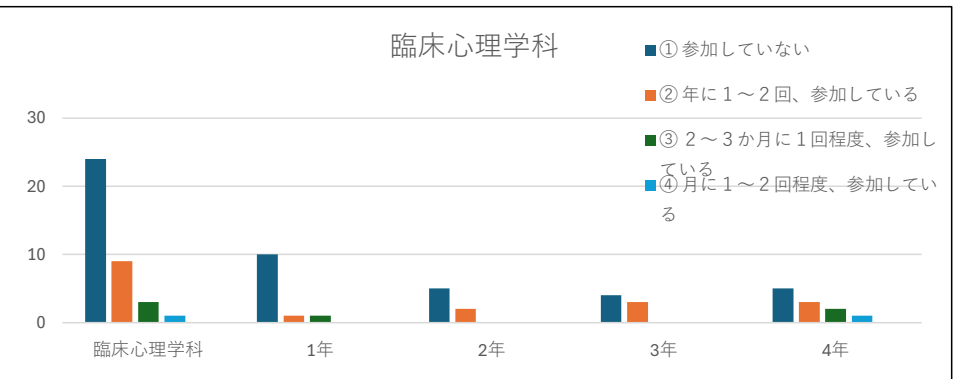
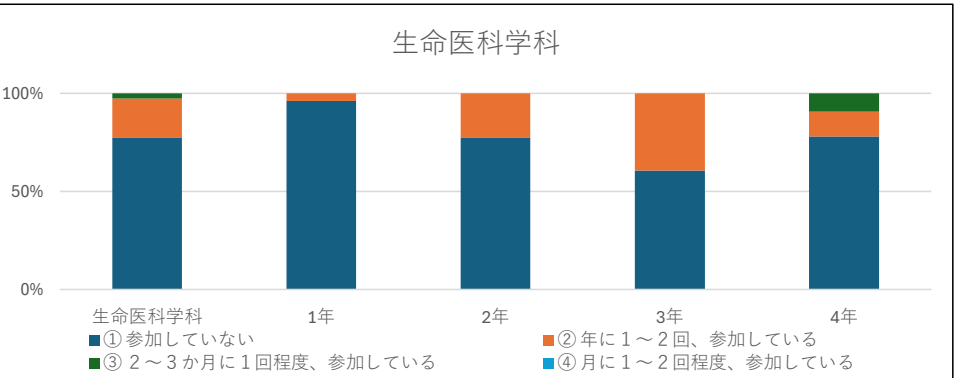
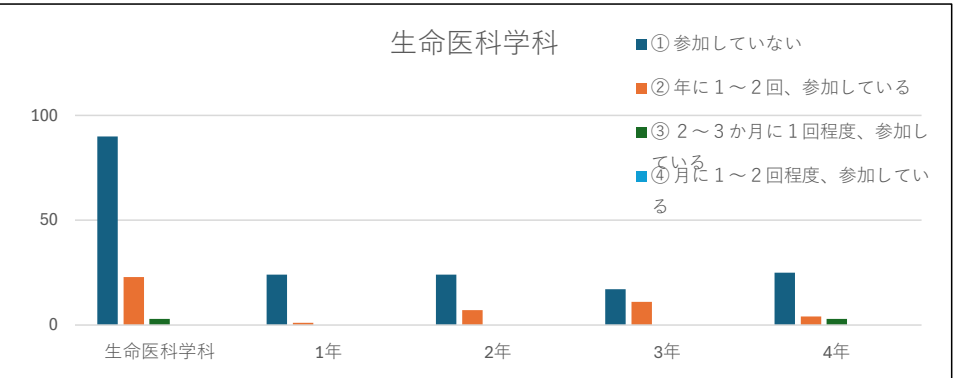
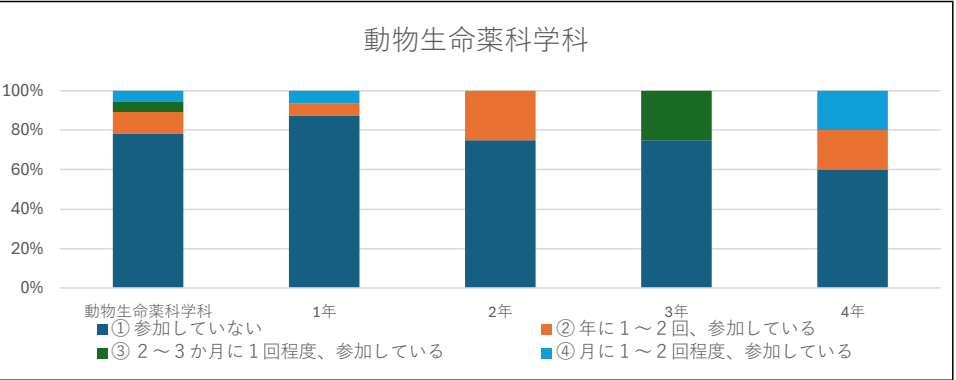
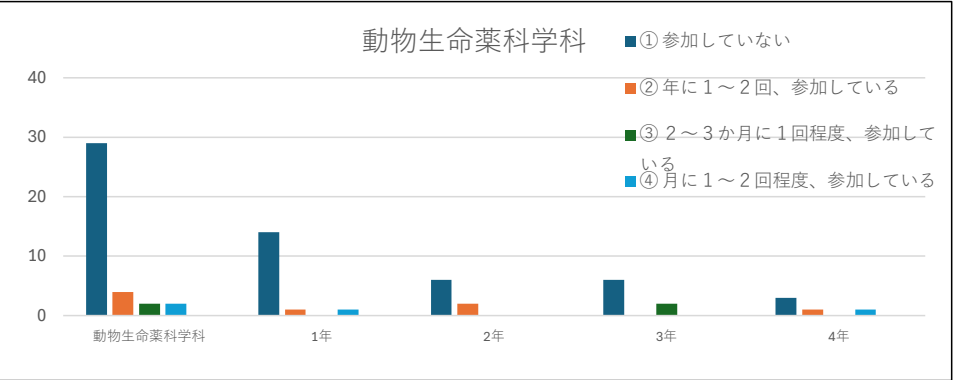
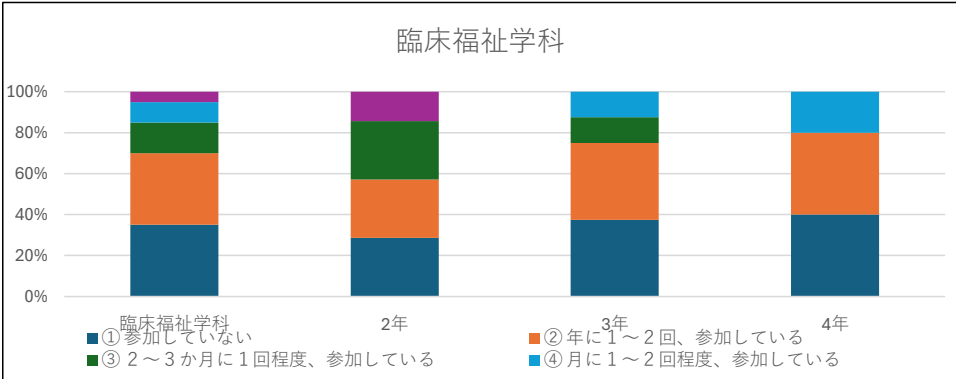
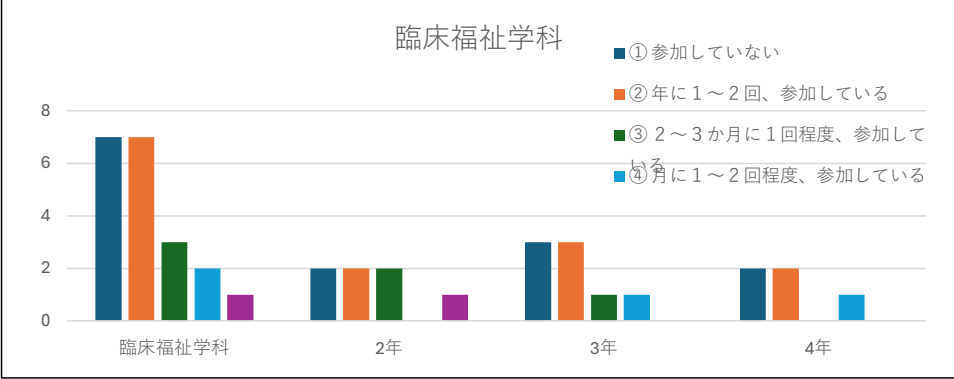
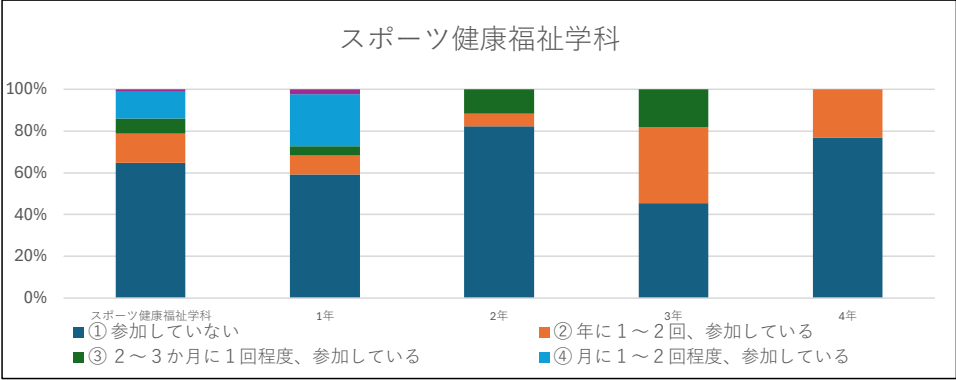
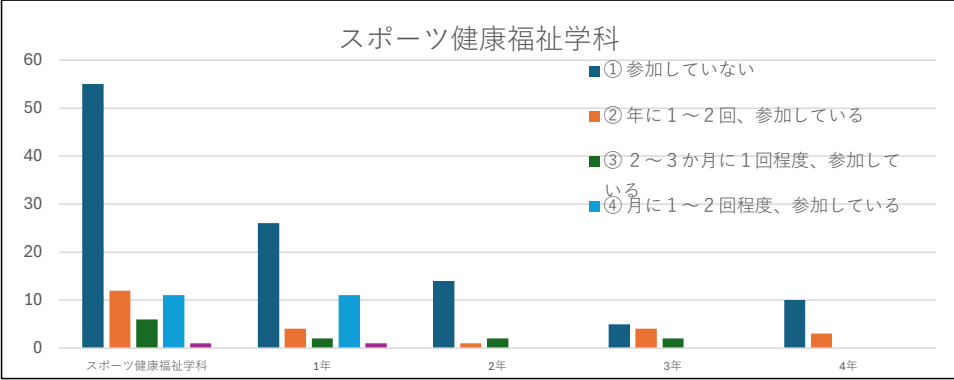


設問Ⅱ－8. ボランティア活動に参加していますか？

行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
スポーツ健康福祉学科	55	12	6	11	1
1年	26	4	2	11	1
2年	14	1	2	0	0
3年	5	4	2	0	0
4年	10	3	0	0	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
臨床福祉学科	7	7	3	2	1
2年	2	2	2	0	1
3年	3	3	1	1	0
4年	2	2	0	1	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
動物生命薬科学科	29	4	2	2	0
1年	14	1	0	1	0
2年	6	2	0	0	0
3年	6	0	2	0	0
4年	3	1	0	1	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
生命医科学科	90	23	3	0	0
1年	24	1	0	0	0
2年	24	7	0	0	0
3年	17	11	0	0	0
4年	25	4	3	0	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
臨床心理学科	24	9	3	1	0
1年	10	1	1	0	0
2年	5	2	0	0	0
3年	4	3	0	0	0
4年	5	3	2	1	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
薬学科	185	17	8	2	0
1年	30	1	2	1	0
2年	25	8	1	0	0
3年	20	4	2	0	0
4年	41	1	2	1	0
5年	25	1	0	0	0
6年	44	2	1	0	0
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
大学全体	390	72	25	18	2
行ラベル	① 参加していない	② 年に1～2回、参加している	③ 2～3か月に1回程度、参加している	④ 月に1～2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
薬学科以外	205	55	17	16	2
1年	74	7	3	12	1
2年	51	14	4	0	1
3年	35	21	5	1	0
4年	45	13	5	3	0

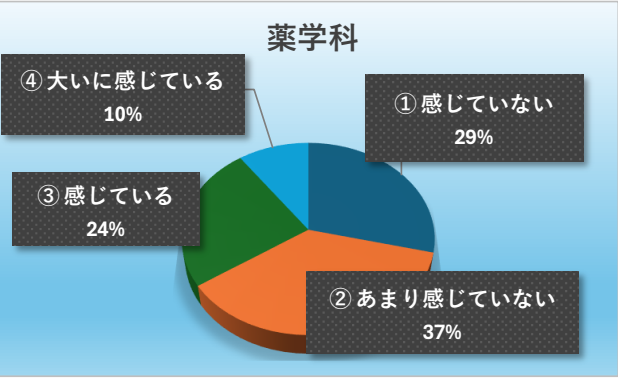
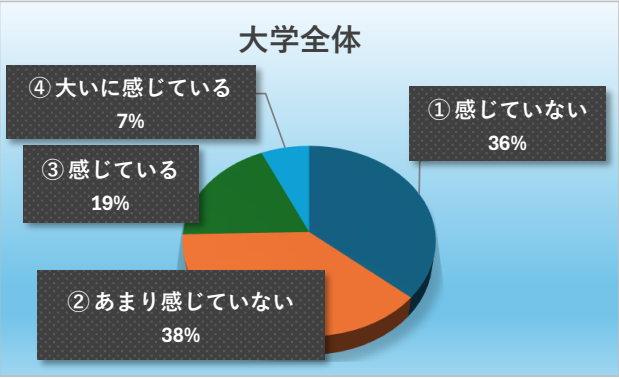
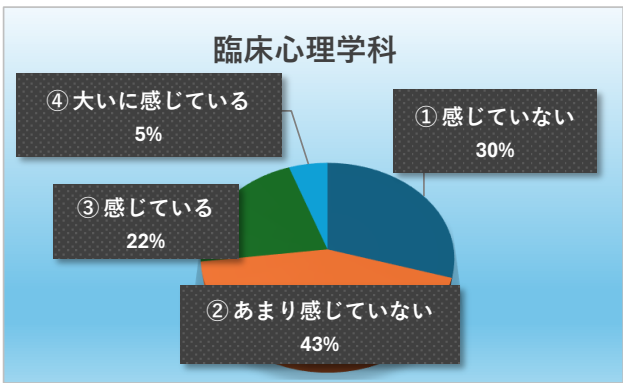
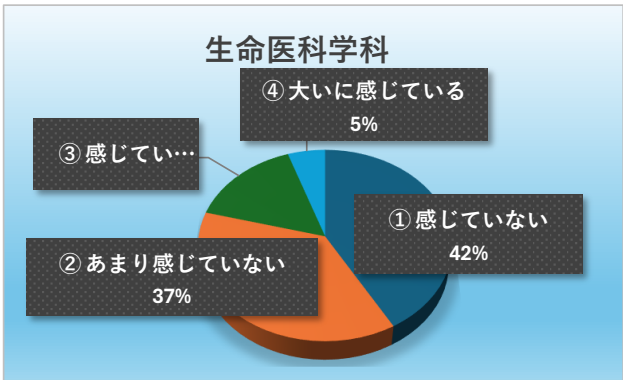
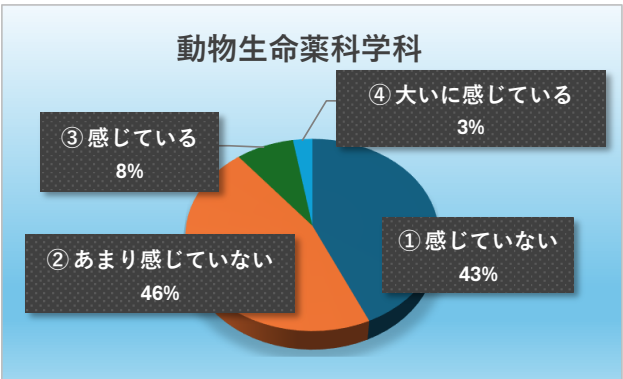
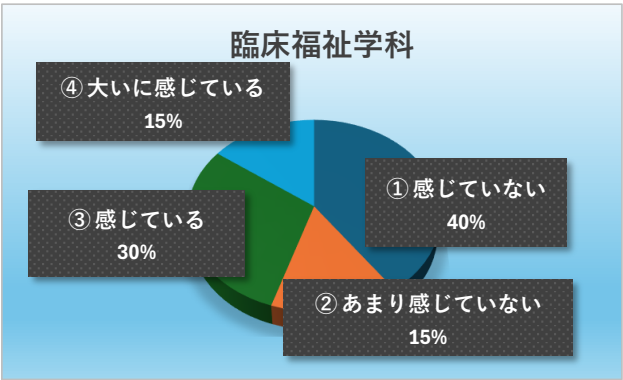
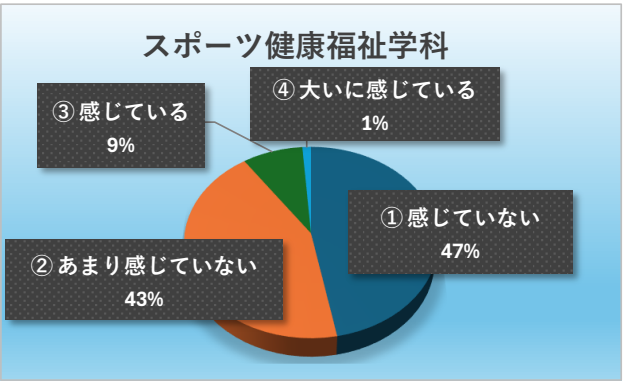


設問Ⅱ－8. ボランティア活動に参加していますか？



設問Ⅱ－9．現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？

行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
スポーツ健康福祉学科	39	36	7	1
1年	21	19	4	0
2年	8	5	3	1
3年	1	8	0	0
4年	9	4	0	0
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
臨床福祉学科	8	3	6	3
2年	3	1	2	1
3年	4	1	2	1
4年	1	1	2	1
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
動物生命薬科学科	16	17	3	1
1年	8	7	1	0
2年	3	5	0	0
3年	3	2	2	1
4年	2	3	0	0
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
生命医科学科	48	43	18	6
1年	10	6	7	1
2年	10	13	5	3
3年	9	16	3	0
4年	19	8	3	2
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
臨床心理学科	11	16	8	2
1年	3	7	2	0
2年	0	5	1	1
3年	2	2	2	1
4年	6	2	3	0
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
薬学科	61	78	52	21
1年	10	16	5	3
2年	9	15	6	4
3年	7	11	8	0
4年	14	17	8	6
5年	3	7	9	7
6年	18	12	16	1
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
大学全体	183	193	94	34
行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
薬学科以外	122	115	42	13
1年	42	39	14	1
2年	24	29	11	6
3年	19	29	9	3
4年	37	18	8	3



【学生生活における不安・悩み】回答者36名

○学業や進路に関する不安

- ・卒業や資格取得への不安
- ・留年の可能性への心配
- ・国家試験、CBTの勉強が難しく、継続できるか不安
- ・授業内容が難しいと感じる
- ・将来の進路、就職活動への悩み

○生活習慣・学習環境への悩み

- ・生活リズムが整わず、勉強習慣も身につけていない
- ・アルバイトとの両立が心配
- ・学費の負担
- ・病院実習に関する不安

○健康・精神面の問題

- ・ストレスによる体調不良
- ・通院と授業の両立が困難
- ・体調不良（精神・神経系の複合的な疾患、薬の副作用等）や通院による欠席時の対応

○人間関係のストレス

- ・友人・人間関係の問題
- ・グループ活動によるストレス

○大学設備に対する不満

- ・薬学棟側の駐車場に関すること
- ・大学内での学修環境について

※不安や悩みを感じていない学生も一部存在していた。

設問Ⅱ－9．現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？



設問Ⅱ－10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答）

行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
スポーツ健康福祉学科	43	51	11	0	2	29	3	1
1年	22	22	4	0	0	15	2	1
2年	11	12	0	0	1	8	1	0
3年	4	9	3	0	1	3	0	0
4年	6	8	4	0	0	3	0	0
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
臨床福祉学科	13	11	9	1	3	7	3	0
2年	5	4	3	1	2	3	0	0
3年	5	4	4	0	1	4	2	0
4年	3	3	2	0	0	0	1	0
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
動物生命薬科学科	23	21	4	1	0	11	4	1
1年	10	9	2	1	0	9	1	0
2年	4	4	0	0	0	1	1	1
3年	4	5	0	0	0	1	2	0
4年	5	3	2	0	0	0	0	0
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
生命医科学科	67	64	19	0	0	35	10	4
1年	17	14	0	0	0	11	3	1
2年	16	15	6	0	0	7	4	1
3年	15	16	2	0	0	11	2	1
4年	19	19	11	0	0	6	1	1
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
臨床心理学科	26	27	13	2	0	15	0	2
1年	5	10	3	1	0	7	0	0
2年	6	5	3	1	0	3	0	0
3年	6	5	1	0	0	3	0	1
4年	9	7	6	0	0	2	0	1
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
薬学科	129	126	23	3	0	68	17	2
1年	21	19	3	0	0	9	3	0
2年	21	24	4	0	0	11	3	1
3年	20	18	5	0	0	10	1	0
4年	23	27	3	0	0	13	5	1
5年	17	11	3	0	0	10	3	0
6年	27	27	5	3	0	15	2	0
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
大学全体	301	300	79	7	5	165	37	10
行ラベル	① 保護者や 兄弟姉妹等の 家族	② 学内の友 人	③ ゼミ・ チューターの 教員	④ 健康管理 センター	⑤ 事務の窓 口	⑥ 学外の友 人や知り合い	⑦ 相談する相 手がない	⑧ その他 (以下に記 入)
薬学科以外	172	174	56	4	5	97	20	8
1年	54	55	9	2	0	42	6	2
2年	42	40	12	2	3	22	6	2
3年	34	39	10	0	2	22	6	2
4年	42	40	25	0	0	11	2	2

【学生が悩みや不安を感じた際の相談相手】回答者6名

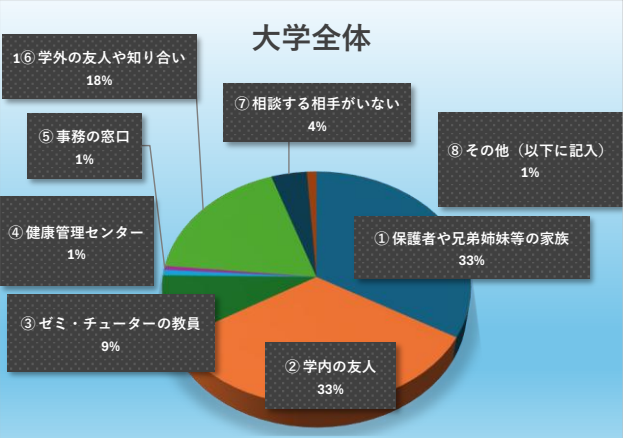
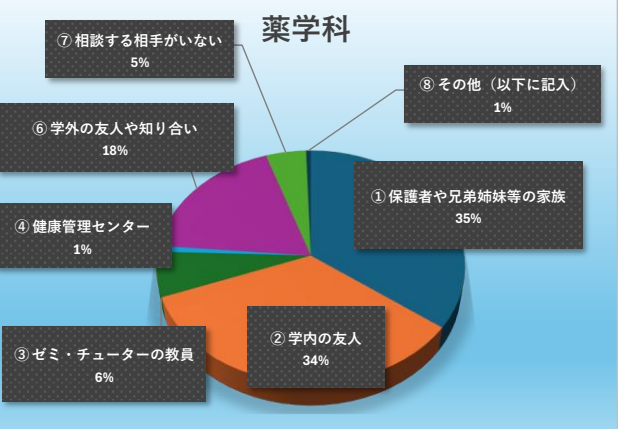
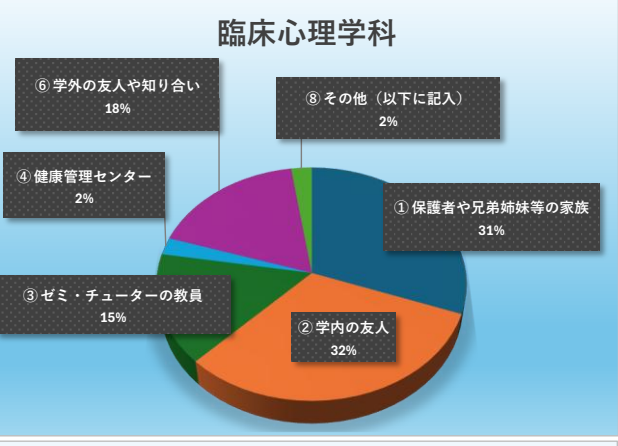
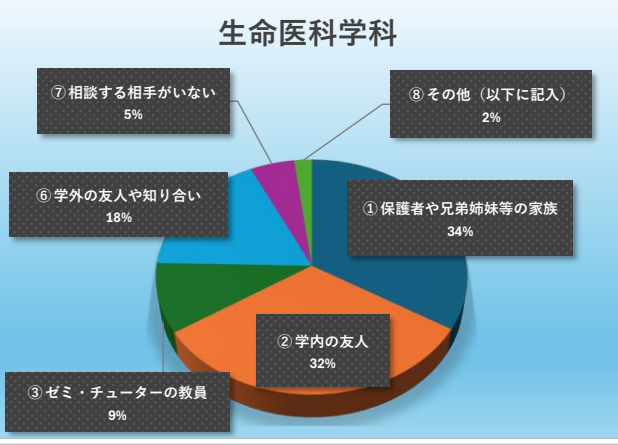
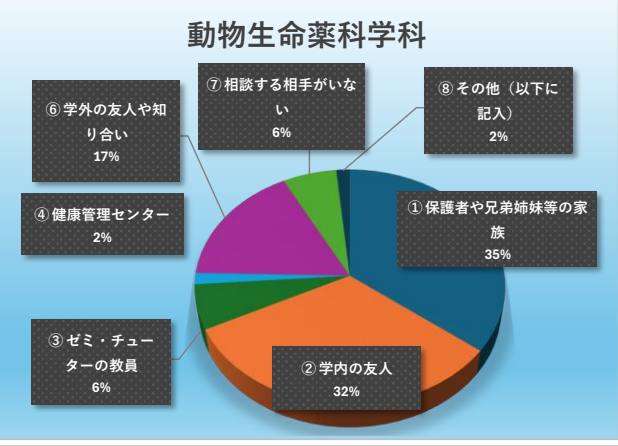
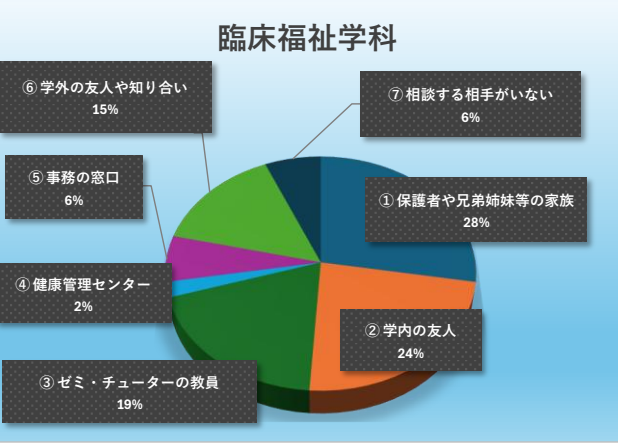
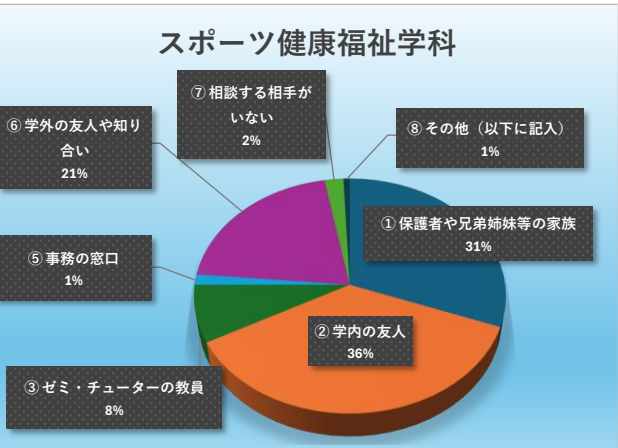
1. 相談していない・できていない
- ・悩みを感じていない

・打ち明けてよいか分からず、相談できていない
2. 医療機関・専門家
- ・かかりつけの病院

・病院の心理士
3. 大学の教職員
- ・英語村の先生

・よく話す先生

・キャリアサポートセンター
4. 学外の支援機関
- ・ヤングJOBサポート



設問Ⅱ－10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答）

